RICOH

GR DIGITAL

GR DIGITAL Ⅳ

使用説明書 カメラ編

本製品のシリアル番号は、本体底面に記載されています。

準備編

お使いになる前に必ずお読みください。
カメラの各部の名称や準備について説明しています。

基本編

はじめてお使いのときは必ずお読みください。
電源を入れる、撮影する、再生するなど、はじめてこのカメラをお使いの方でもひととおり操作できるようになります。

応用編

目的に応じて必要なときにお読みください。
いろいろな撮影機能や再生機能の他、カメラのカスタマイズ、プリント方法、パソコンを利用する方法など、すべての機能が記載されています。

パッケージを確認する

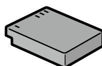
パッケージを開けたら同梱品を確認してください。



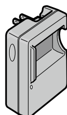
GR DIGITAL IV



ホットシューカバー
（カメラ装着）



リチャージャブルバッテリー（DB-65）



バッテリーチャージャー（BJ-6）

- **USB ケーブル**
- **ハンドストラップ**
- **使用説明書（カメラ編）（本書）**

お客様登録のお願い

この度は、リコー製品をお買い求めいただきありがとうございます。リコーは、ご購入商品に関する適切なサポートやサービスを提供するために、お客様登録をお願いしております。

お客様登録は、以下の弊社 Web サイトからお願いいたします。

http://www.ricoh.co.jp/dc/regist/

なお、ご登録いただいた方には、E メール（ファームウェアなどのサポート情報）の配信を行っております。

はじめに

この使用説明書には、本カメラを使って撮影や再生機能を利用する方法や使用上の注意について記載してあります。
本カメラの機能を十分にご活用いただくため、ご使用の前に、本書を最後までお読みください。本書が必要になったとき、すぐに利用できるよう、お読みになった後は、必ず保管してください。

株式会社リコー

安全上のご注意について	安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「安全上のご注意」をお読みください。
テスト撮影について	必ず事前にテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してください。
著作権について	著作権の目的になっている書籍、雑誌、音楽などの著作物は、個人的または家庭内およびこれに準ずる限られた範囲内で使用する以外、著作者に無断で複写、改変などすることは禁じられています。
ご使用に際して	万一、本カメラなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
保証書について	本カメラは国内仕様です。保証書は日本国内において有効です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
電波障害について	他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、以下のようにしてください。 ・テレビやラジオなどからできるだけ離す ・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える ・コンセントを別にする 〈電波障害自主規制について〉 この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 使用説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って発生する可能性がある内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

❗	❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
⃠	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 ⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。 ●表示例 意味：接触禁止　意味：分解禁止

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠ 危険

（分解禁止）	● カメラを分解、修理、改造しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険があります。
（分解禁止）	● 電池を分解、改造、直接ハンダ付けしたりしないでください。
⃠	● 電池を火の中に投入したり、加熱したり、火のそばや車の中など温度が高くなる場所で使用したり、放置しないでください。また、水や海水などにつけたり、濡らさないでください。
⃠	● 電池に釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
⃠	● 外傷、変形の著しい電池は使用しないでください。
⃠	● 電池の（＋）と（－）を針金等の金属で接続しないでください。また、金属製のボールペンやネックレスなどと一緒に携帯したり、保管しないでください。



●電池は、弊社専用充電器で充電してください。また、弊社の DB-65 対応デジタルカメラ以外にはご使用にならないでください。



●異臭、発煙、過熱などの異常が発生したときは、すぐに使用をやめてください。修理は、お買い上げ店またはリコーサービス窓口にご依頼ください。



●電池が漏液して液が目に入った時には、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告



●万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態がみられる場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り外してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてリコー修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。



●万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池とメモリーカードを取り出してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてリコー修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。



●画像モニターが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一、次の状況になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合は、付着物を拭き取り、水を流しせっけんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分洗浄した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を与えて吐き出させた後、医師の手当てを受けてください。



●電池の液漏れ、発熱、発火、破裂の防止のため、次のことをお守りください。

- この製品で指定している電池以外は、使用しないでください。
- 金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
- 使用中や充電中、液漏れしたり、異臭がする、変色するなどの異常がある場合は、ただちにカメラや充電器から取り外し、火気から遠ざけてください。

⊘	● 電池の充電による火災、感電、破裂の防止のため、次のことをお守りください。 ・ 表示された電源電圧以外の電圧を使用しないでください。また、タコ足配線や延長コードの使用は避けてください。 ・ 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。 ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。また、電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグをもって抜いてください。 ・ 布などに包んで使用しないでください。
❗	● この製品で使用している電池や SD メモリーカードを誤って飲み込むことがないよう、特に幼児・子供の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合は、人体に有害です。ただちに医師と相談してください。
⊘	● この製品を幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。幼児・子供には「安全上のご注意」や「使用上のご注意」の内容が理解できずに事故発生の原因となります。
	● 落下や損傷により内部が露出したときは、内部には手を触れないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り出してください。破損したときは、お買い上げの店またはリコー修理受付センターに連絡してください。
	● 台所などの湯煙や湿気の当たるところ、水気のあるところでは使用しないでください。火災や感電の原因となります。
⊘	● 引火性ガスやガソリン、ベンジン、シンナー等の近くで使用しないでください。爆発や火災、火傷の原因となります。 ● 航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故等の原因となります。
❗	● 電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。火災の原因となります。 ● 家庭用コンセントをご利用になるときは、必ず専用の AC アダプターをご利用ください。指定以外の AC アダプターでは、火災・感電・故障の原因になります。
⊘	● 海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などに充電器や AC アダプターを接続しないでください。火災・感電・故障の原因になります。
⊘	● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。
⊘	● 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものを載せたり引っ張ったり、無理に曲げたりすると、電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
	●電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
	●万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店に連絡してください。火災や感電の原因になります。 ●使用中に異常な音がするとき、煙が出るときなどの不具合がある場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてお買い上げ店またはリコーサービス窓口まで連絡してください。機器が故障したり、不具合のまま使用しないでください。
	●自分で分解しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。
	●風呂場では使用しないでください。火災や感電の原因になります。
	●雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
	●電池は幼児の手の届く場所に置かないでください。
	●充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。
	●電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。
	●電池が漏液したり異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。

⚠ 注意

	●電池から漏れた液が肌に触れると、火傷の原因になります。破損した電池に触れた場合は、すぐに水で洗い流してください。（せっけんは使用しないでください） また、液漏れが起こったときは、液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。
	●電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。火災の原因となります。
	●カメラを濡らさないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
	●車両（自転車、車、列車等）の運転者に向けてフラッシュを発光しないでください。交通事故等の原因となります。

	●お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。 ●ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

	●布などに包んで使用しないでください。火災の原因になります。 ●端子部や電源コードの金属部をショートさせないでください。火災の原因になります。 ●台所などの油煙や湿気の当たるところ、水気のあるところでは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

別売り品について	別売り品をお使いになるときには、各製品の使用説明書を操作の前に必ずお読みください。

使用説明書の構成

GR DIGITAL IV には、以下の 2 種類の使用説明書が付属しています。

	『使用説明書（カメラ編）』（本書）
	カメラの使い方や機能を説明しています。また、カメラに内蔵のソフトウェアをパソコンにインストールする方法についても説明しています。
	『使用説明書（ソフトウェア編）』（PDF ファイル）
	カメラの画像をパソコンに取り込む方法について説明しています。 『使用説明書（ソフトウェア編）』は、本カメラの内蔵メモリー内の「MANUAL」フォルダに収録されています。 各言語の『使用説明書（ソフトウェア編）』が収録されています。 使用説明書をパソコンにコピーするには、カメラとパソコンを USB ケーブルで接続します。詳細は P.139 を参照してください。

本カメラの内蔵メモリーには、パソコン内の画像を表示したり、編集したりできるソフトウェア MediaBrowser（Windows 用）が収録されています。MediaBrowser の使い方については、MediaBrowser のヘルプを参照してください。
MediaBrowser についてのご質問・ご相談は、下記ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

株式会社ピクセラ　ユーザーサポートセンター

フリーダイヤル：0120-727-231
TEL：06-6633-2990（携帯・PHS 等フリーダイヤルが利用できない方用）
FAX：06-6633-2992
〒 556-0011
大阪府大阪市浪速区難波中 2-10-70 パークスタワー 25F
受付時間：月曜日～日曜日　10：00 ～ 18：00
（年末年始、祝日、弊社指定休日は除く）
また以下のホームページで、MediaBrowser の最新情報が閲覧できます。
http://www.pixela.co.jp/oem/mediabrowser/j/

もくじ

はじめに........1
使用説明書の構成........7
もくじ........8

準備編 13

各部の名称........14
ダイヤル／レバーの使い方........16
画像モニターの表示........18
準備をする........23

基本編 31

撮影する........32
　オート設定で撮影する........32
　デジタルズームを使って撮影する........34
　接写する（マクロ撮影）........35
　フラッシュを使う........36
　セルフタイマーで撮影する........37
　カメラの傾きを確認する........38
再生する........41
メニュー一覧........42
　メニューの操作方法........50

応用編 53

1 いろいろな撮影 54

絞り値・シャッタースピードを設定して撮影する........54
SCENE モードを利用する........58
　ダイナミックレンジモードで撮影する........60
　インターバル合成モードで撮影する........61
　斜め補正モードで撮影する........63
　動画モードで撮影する........64
静止画の画質・サイズを設定する........65
フォーカスを設定する........68
　フォーカスモードを選択する........68
　AE/AF ターゲットを移動する........71
　シャッター一気押しで撮影する（フルプレススナップ）........73

測光モードを選択する 74
露出に関する設定 75
露出を補正する 75
ISO 感度を設定する 76
ホワイトバランスを設定する 78
ホワイトバランスを手動設定する 80
ホワイトバランスを詳細設定する 80
ホワイトバランスの色調を補正する 81
画質・色を設定する 82
連続して撮影する 85
連写で撮影する 85
設定を変化させて連続撮影する（オートブラケット） 88
画像を合成しながら撮影する（多重露光撮影） 90
一定間隔で自動撮影する（インターバル撮影） 91
フラッシュに関する設定 93
フラッシュの光量を調整する 93
マニュアル発光の発光量を設定する 94
フラッシュ発光のタイミングを設定する 95
画像を補正して撮影する 95
ダイナミックレンジを補正する 95
ノイズを軽減する 96
静止画に日付を入れる 97
2 いろいろな再生 98
一覧表示する 98
スライドショーで表示する 99
動画を再生する 99
拡大表示する 100
ファイルを整理する 102
削除する 102
プロテクトを設定する 104
内蔵メモリーの画像をカードへコピーする 106
補正・加工する 106
画像サイズを縮小する 106
トリミングする 107
斜めから撮影した画像を補正する 108

明度・コントラストを補正する......109
ホワイトバランスを補正する......111
AV 機器で再生する......112
ビデオ端子に接続する......112
HDMI 端子に接続する......113

3 写真を印刷する 114

DPOF を設定する......114
複数の静止画に DPOF を設定する......115
プリンターに接続して印刷する......115
カメラとプリンターを接続する......116
静止画を印刷する......117

4 カメラの設定を変更する 120

カメラをカスタマイズする......120
撮影設定を登録する（マイセッティング）......120
マイセッティングモードで撮影する......123
マイセッティングを編集する......124
ADJ. レバーに機能を登録する......126
Fn1／Fn2 ボタンに機能を登録する......128
ズームボタンに機能を登録する......130
その他の設定を変更する......131
画像モニターの明るさを調節する......131
操作音を設定する......132
ファイル NO. を設定する......133
ファームウェアのバージョンを確認する......134

5 画像をパソコンに取り込む 135

Windows をご使用の場合......135
ソフトウェアの動作環境......136
ソフトウェアのインストール......137
画像をパソコンに取り込む......140
Macintosh をご使用の場合......141
画像をパソコンに取り込む......141

6 付録 143

お困りのときは......143
エラーメッセージ......143
カメラ本体のトラブル......144

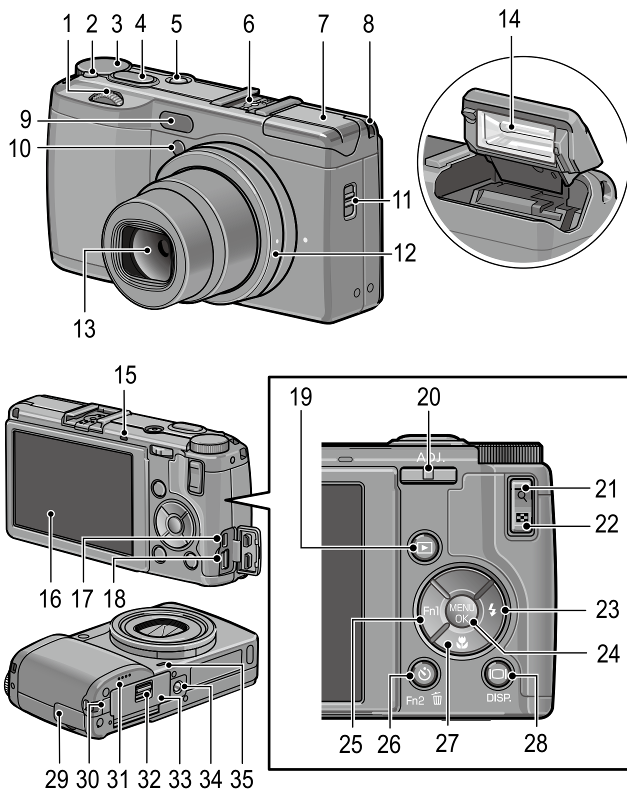
主な仕様......149
記録可能枚数......152
別売り品......153
システム構成図......156
AC アダプターを使う......157
外部フラッシュを使う......158
海外でお使いのときは......160
使用上のご注意......161
お手入れと使用／保管場所について......164
アフターサービスについて......165
索引......166
リコーフォトギャラリー RING CUBE......170
リコーデジタルカメラ活用サイト PHOTO STYLE......170
保証規定......171

準備編

カメラの各部名称や準備を説明します

各部の名称 14
ダイヤル／レバーの使い方 16
画像モニターの表示.................. 18
準備をする 23

各部の名称


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
ADJ.
Fn1
MENU
OK
Fn2
DISP.

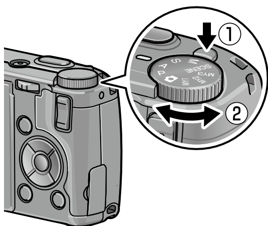
1	アップダウンダイヤル........P.17
2	ロックボタン...........................P.16
3	モードダイヤル.......................P.16
4	シャッターボタン..................P.32
5	POWER（電源）ボタン.....P.27
6	ホットシュー........................P.158
7	フラッシュカバー..................P.37
8	ストラップ取り付け部............ −
9	外部 AF センサー...................P.69
10	AF 補助光.........................P.37、48
11	⚡OPEN（フラッシュオープン）スイッチ............P.36
12	リングキャップ....................P.155
13	レンズ.. −
14	フラッシュ発光部..................P.36
15	オートフォーカス／フラッシュランプ............P.27、32、36
16	画像モニター...........................P.18
17	USB・AV OUT 兼用端子..............P.112、116、137、141
18	HDMI マイクロ出力端子（Type D）...............................P.113
19	▶（再生）ボタン...P.41
20	ADJ. レバー..................P.17、126
21	🔍（拡大表示）ボタン....................P.34、98、100、130
22	▦（サムネイル表示）ボタン....................P.34、98、100、130
23	⚡（フラッシュ）／▶ボタン...P.36
24	MENU/OK ボタン..................P.50
25	Fn（ファンクション）1／◀ ボタン................................P.128
26	⏲（セルフタイマー）／Fn2 ボタン／🗑（削除）...............................P.37、102、128
27	✿（マクロ）／▼ ボタン...P.35
28	IOI／DISP. ボタン...P.21、38
29	端子カバー.....P.112、116、137
30	電源（DC 入力）ケーブルカバー.....................................P.157
31	スピーカー.................................. −
32	解除レバー...............................P.25
33	バッテリー／カードカバー...P.25
34	三脚ネジ穴.................................. −
35	マイク.. −

ダイヤル／レバーの使い方

モードダイヤル

撮影モードはモードダイヤルで切り替えます。

モードダイヤルはロックボタン（①）を押しながら回します（②）。



A：絞り優先モード（P.54）

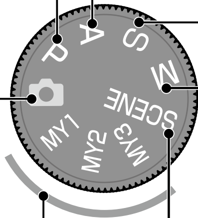
絞り値を手動で設定し、絞り値に合わせて自動的にシャッタースピードが設定されます。

P：プログラムシフトモード（P.54）

絞り値とシャッタースピードの組み合わせを変更できます。

S：シャッター優先モード（P.54）

シャッタースピードを手動で設定し、シャッタースピードに合わせて自動的に絞り値が設定されます。



📷：オート撮影モード（P.32）

被写体によって、最適な絞り値とシャッタースピードをカメラが自動的に決めます。

M：マニュアル露光モード（P.54）

絞り値とシャッタースピードを手動で設定できます。

MY1 ／ MY2 ／ MY3：マイセッティングモード（P.123）

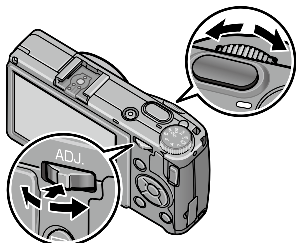
［マイセッティング登録］で登録した設定で撮影します。

SCENE：シーンモード（P.58）

ダイナミックレンジ／インターバル合成／斜め補正／動画撮影ができます。

アップダウンダイヤル／ ADJ. レバー

アップダウンダイヤル／ ADJ. レバーは、▲▼◀▶ ボタンの代わりに使用したり、露出を設定するときに使用します。



ADJ. レバー

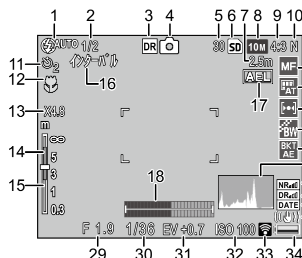
	操作	機能
アップダウンダイヤル	左右に回す	▲▼ ボタンの代用 絞り値／シャッタースピードの変更
ADJ. レバー	左右に倒す	◀▶ ボタンの代用 シャッタースピードの変更
	中央を押す	登録した機能の呼び出し（☞P.127）

 *メモ*

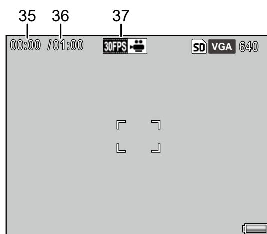
- アップダウンダイヤルと ADJ. レバーの機能を変更することができます。（☞P.57、P.101）

画像モニターの表示

撮影画面



静止画モード



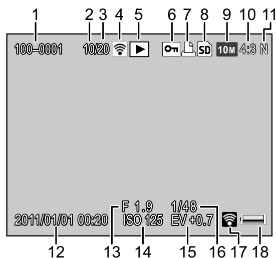
動画モード

1	フラッシュモード	P.36
2	フラッシュ調光補正／フラッシュマニュアル発光量	P.93、94
3	SCENEモード／連写	P.58、85
4	撮影モードの種類／＋通常撮影	P.54、60
5	残り記録枚数	P.152
6	記録先	P.27
7	スナップ時フォーカス距離	P.73
8	画像サイズ	P.65
9	アスペクト比	P.65
10	画質	P.65
11	セルフタイマー	P.37
12	マクロ撮影	P.35
13	デジタルズームの倍率	P.34
14	被写界深度／外部AF測距表示	P.69
15	フォーカスバー	P.69
16	インターバル撮影／多重露光撮影	P.91、90
17	AEロック	P.128
18	水準器インジケーター	P.39
19	フォーカスモード	P.68
20	ホワイトバランスモード	P.78
21	測光モード	P.74
22	画像設定	P.82
23	オートブラケット	P.88
24	ヒストグラム表示	P.21
25	ノイズリダクション	P.96
26	ダイナミックレンジ補正	P.95
27	日付入れ撮影	P.97
28	手ブレ補正	P.33
29	絞り値	P.55
30	シャッタースピード	P.55
31	露出補正	P.75
32	ISO感度	P.76
33	Eye-Fi通信	P.20
34	電池マーク	P.20
35	記録時間	－
36	残り記録時間	P.64
37	フレームレート	P.64

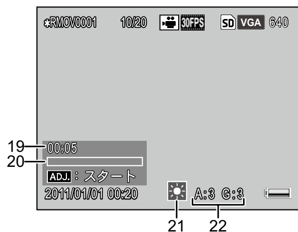
 メモ

- 記録可能枚数／記録時間は、記録先（内蔵メモリーまたはメモリーカード）の容量や撮影条件などによって異なります。
- 残り記録枚数の最大表示は「9999」です。

再生画面



静止画モード



動画モード

1	ファイル番号	P.133
2	再生ファイル数	―
3	総ファイル数	―
4	Eye-Fi 転送済み	P.20
5	モードの種類	―
6	プロテクト	P.104
7	DPOF	P.114
8	再生元	P.27
9	画像サイズ	P.65
10	アスペクト比	P.65
11	画質	P.65
12	撮影した日付	P.29
13	絞り値	P.55
14	ISO 感度	P.76
15	露出補正	P.75
16	シャッタースピード	P.55
17	Eye-Fi 通信	P.20
18	電池マーク	P.20
19	記録時間または経過時間	P.99
20	インジケーター	P.99
21	ホワイトバランスモード	P.78
22	ホワイトバランス補正	P.81

電池残量

電池マーク	説明
緑色	電池の残量は十分あります。
緑色	電池の残量が減り始めました。充電するか新しい電池に交換することをお勧めします。
オレンジ	電池の残量がわずかになりました。充電するか新しい電池に交換してください。

 *メモ* ---

- 単 4 形ニッケル水素電池をご使用の場合、電池の種類や条件によっては残量が正しく表示されないことがあります。

Eye-Fi 通信

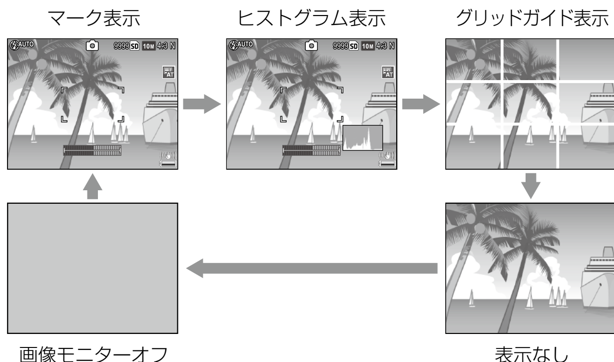
Eye-Fi カード（☞P.26）を使用しているときは、撮影画面と再生画面に通信状態が表示されます。

マーク	状態
	未接続
	接続中
	転送待機中
	転送中
	中断
	転送済み画像
	Eye-Fi カード情報取得エラー • 電源を入れ直してください。繰り返し表示される場合は、カードの異常が考えられます。

画面表示を切り替える

DISP. ボタンで、画面の表示方法を変更できます。

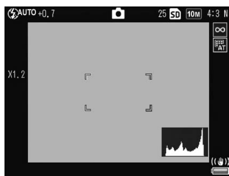
撮影モード



マーク表示	撮影モードや設定等のマークが表示されます。［セットアップ］メニューの［水準器設定］が表示する設定になっている場合は、インジケーターが表示されます。（☞P.38）
ヒストグラム表示	マーク表示に加えてヒストグラムが表示されます。動画モードでは表示できません。
グリッドガイド表示	撮影のためのガイド線を表示します。 グリッドの種類は［セットアップ］メニューの［グリッドガイド表示設定］で選択できます。
表示なし	マークを表示しません。
画像モニターオフ	画像モニターをオフにします。バッテリーの消費を抑えたり、別売りの外部ファインダーを使用するときに選択します。 以下の操作を行うと、画像モニターがオンになります。 • ADJ. レバー／MENU/OK ボタン／DISP. ボタン／▶ ボタン／Q/▦ ボタンのいずれかを押したとき • マニュアルフォーカス中に ▲▼ ボタンを押したとき

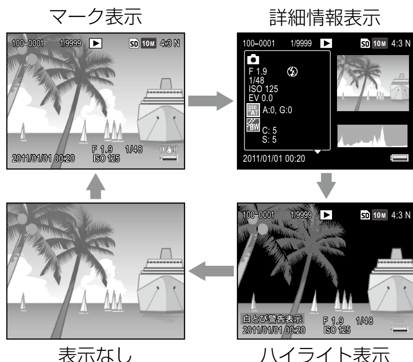


メモ --



- ［セットアップ］メニューの［撮影情報表示フレーム］を［ON］に設定すると、マーク表示とヒストグラム表示のときに、撮影情報フレームを表示できます。撮影情報表示フレームでは、撮影情報が被写体と重ならないため、撮影時に構図どりがしやすくなります。動画撮影時は表示できません。
- 動画モードで撮影中は、表示モードの設定に関わらず「● REC」が点滅し、記録時間と残り記録時間が表示されます。
- ［セットアップ］メニューの［情報表示モード］を［ON］に設定すると、画像モニターオフ時でも、以下の場合には画像モニターに情報が表示されます。情報表示後に数秒間操作をしなかったとき、またはシャッターボタンを半押ししたときは情報表示が消えます。
  - Fn1ボタン／🌷ボタン／⏲ボタンを押したとき
  - モードダイヤル／アップダウンダイヤルを回したとき
  - ADJ. レバーを左右に倒したとき
  - ⚡OPEN スイッチを押して、フラッシュをポップアップしたとき

再生モード



 *メモ*

- ハイライト表示は、[セットアップ]メニューの[白とび警告表示]を[ON]に設定した場合にハイライト部分を黒く点滅表示します。[白とび警告表示]が[OFF](初期設定)のときは、ハイライト表示は表示されません。
- 詳細情報表示では、撮影時の設定の詳細が表示され、▲▼ボタンでページを切り替えることができます。

準備をする

電源を入れて撮影できるように準備します。

バッテリーを充電する

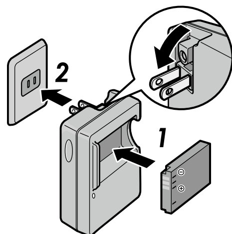
付属のリチャージャブルバッテリー(リチウムイオン電池)は、使用する前に充電する必要があります。ご購入時のバッテリーは充電されていません。

1 バッテリーとバッテリーチャージャーの⊕⊖印を合わせてセットする

バッテリーの印刷面が上になります。

充電には専用バッテリーチャージャー(BJ-6)を使用してください。

⊕⊖を逆にセットしないでください。



2 コンセントにバッテリーチャージャーを差し込む

充電が始まります。

充電ランプ	状態
点灯	充電開始
消灯	充電完了
点滅	バッテリーチャージャーまたはバッテリーに異常があります。バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーを取り外してください。

充電時間はバッテリーの残量によって異なります。バッテリーが空の場合、約 2.5 時間で充電が完了します（25℃の場合）。

充電が終了したら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜いてください。



使用できるバッテリー／電池

- 本カメラでは、以下のバッテリー／電池が使用できます。
  - リチャージャブルバッテリー DB-65（付属）
  - リチャージャブルバッテリー DB-60
  - 市販の単 4 形アルカリ乾電池／単 4 形ニッケル水素電池



記録可能枚数

- 記録可能枚数の目安

電池の種類	静止画撮影枚数
リチャージャブルバッテリー（DB-65）	約 390 枚
単 4 形アルカリ乾電池	約 30 枚

- 撮影枚数は CIPA 規格に準拠した測定条件によるものです（温度 23℃、画像モニターオン、30 秒ごとに撮影、2 回に 1 回フラッシュ発光、10 枚撮影するごとに電源をオフ／オンを繰り返し）。
- 撮影枚数は目安です。長時間ご使用になる場合は、予備電池を用意することをお勧めします。



注意

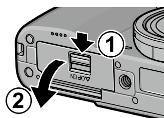
- リチャージャブルバッテリーは、純正品（DB-65／DB-60）をご使用ください。
- ニッケル水素電池は、購入直後や 1 ヶ月以上使用しないと不活性状態となっている場合があり、電池本来の性能が発揮されません。2 ～ 3 回充電を繰り返してから使用してください。
- 単 4 形アルカリ乾電池は、電池の銘柄、保存期間によって電池寿命が短い場合があります。また、アルカリ乾電池は特性上、低温時には使用時間が極端に短くなります。
- マンガン乾電池／ニッカド電池は、使用できません。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、温度が下がるのを待ってから行ってください。

バッテリー／メモリーカードをセットする

バッテリーとメモリーカードのセット／取り出し時は、カメラの電源がオフになっていることを確認してください。

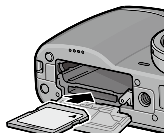
本カメラでは、市販の SD メモリーカード、または SDHC メモリーカードが使用できます（本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します）。

1 カメラ底面の解除レバーを「OPEN」側にスライドさせ、バッテリー／カードカバーを開ける



2 メモリーカードの向きに注意し、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを奥へ挿入する

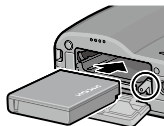
取り出すときは、メモリーカードを押し込んで手を離します。



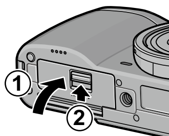
3 バッテリーを挿入する

バッテリー側面でロックツメを押しながら奥まで入れます。

取り出すときは、ロックツメを押してずらします。



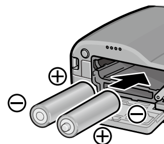
4 バッテリー／カードカバーを閉じ、解除レバーを「OPEN」と反対側にスライドさせてロックする





単4形電池を使用する場合

電池の向きに注意し、図のように挿入します。電池をバッテリー／カードカバーで押さえながら、解除レバーをスライドさせてバッテリー／カードカバーを閉じます。





注意

- 長時間カメラを使用しない場合は、電池を抜いてカメラを保管してください。抜いた電池は涼しい場所に保管してください。



Eye-Fi カード

- 本カメラでは、無線 LAN 機能を内蔵した SD メモリーカード「Eye-Fi カード」（X2 シリーズ）が使用できます。Eye-Fi カードの詳細は、Eye-Fi のホームページ（http://www.eyefi.co.jp）を参照してください。
- Eye-Fi カードを使用している場合は、［セットアップ］メニューに以下の項目が表示されます。

Eye-Fi 接続設定	［OFF］に設定すると、無線 LAN 機能を停止し、通常の SD メモリーカードと同じように動作します。
Eye-Fi 接続先表示	Eye-Fi カードが接続している無線 LAN の SSID を表示します。

- 本製品は、Eye-Fi カードの機能（無線送信を含む）を保障するものではありません。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、Eye-Fi カードが使用できるのは、購入した国の国内のみです。使用が認められているか不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。

データの記録先

撮影したデータは、カメラ本体の内蔵メモリーかメモリーカードに記録されます。メモリーカードがセットされていないときは、内蔵メモリーに記録・再生されます。

内蔵メモリーのデータはメモリーカードにコピーすることができます。(☞P.106)

 **注意** ---

- メモリーカードがセットされているときは、メモリーカードの容量がいっぱいになっても内蔵メモリーには記録されません。

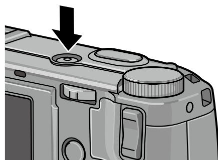
 **メモ** ---

- 記録可能枚数/記録時間は、メモリーカードの容量によって異なります。(☞P.152)
- 新しいメモリーカードや他の機器で使用したメモリーカードを使用する場合は、本カメラで初期化してからお使いください。初期化は[セットアップ]メニューの[初期化[カード]]で行ってください。

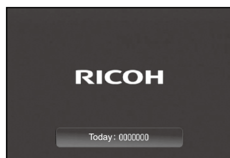
電源をオン/オフする

POWER ボタンを押します。

オンにすると POWER ボタンが点灯し、起動音が鳴ってオートフォーカス/フラッシュランプが数秒間点滅します。



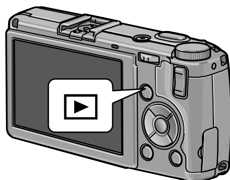
再度 POWER ボタンを押すと、その日の記録枚数が表示されたあと電源がオフになります(日時設定をしていない場合は、[0]と表示されます)。



再生モードで使うとき

▶ ボタンを約 1 秒以上押し続けると、再生モードの状態で電源がオンになります。

もう一度 ▶ ボタンを押すと電源がオフになります。



 *メモ* --

- 電池の消耗を抑えるため、［セットアップ］メニューで以下の機能が設定できます。

	動作	設定が無効になるとき
オートパワーオフ	一定時間カメラを操作しないと、自動的に電源をオフにします。［OFF］［1 分］［5 分］［30 分］から選択できます。 復帰するときは、電源を入れ直します。	• Eye-Fi カードで画像転送中 • SCENE モードの［インターバル合成］／インターバル撮影時 • パソコン／プリンター接続時
スリープ	一定時間カメラを操作しないと、画像モニターの輝度を落とします。［OFF］［10 秒］［1 分］［3 分］から選択できます。	• SCENE モードの［インターバル合成］撮影時 • AV ケーブル／ HDMI ケーブル接続時
画像モニター節電	カメラを約 5 秒間操作しなかったときに、画像モニターの輝度を落とします。［ON］［OFF］から選択できます。	

［スリープ］［画像モニター節電］は、どちらかが有効になります。

- POWER ボタンのランプは、［キーカスタム設定］メニューの［電源ボタンランプ］で［ON］［OFF］が切り替えられます。

日時を合わせる

はじめて電源をオンにしたときは、［日時設定］画面が表示されます。



1 年／月／日／時／分／表示形式を設定する

◀▶ で項目を移動し、▲▼ で数値を変更します。

DISP. ボタンを押すと、設定をキャンセルします。

2 MENU/OK ボタンを押す

確認画面が表示されます。

3 MENU/OK ボタンを押す

日時が設定されます。



メモ --

- 電池を取り出してから約 1 週間経過すると、設定した日時がリセットされます。日時を保持させるためには、十分に残量のある電池を 2 時間以上セットしてから電池を取り出してください。
- 設定した日時は［セットアップ］メニューの［日時設定］で変更できます。
- メニューやメッセージなどの表示言語（日本語／英語）は、［セットアップ］メニューの［Language/ 言語］で変更できます。

基本編

はじめてお使いのときは必ずお読みください

撮影する 32
再生する 41
メニュー一覧 42

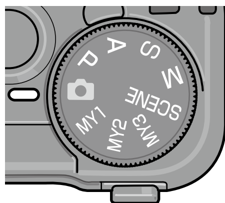
撮影する

準備ができたら、さっそく撮影してみましょう。

オート設定で撮影する

1 モードダイヤルを 📷 に合わせる

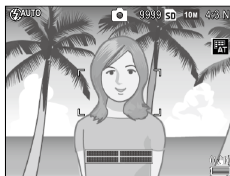
ロックボタンを押しながらモードダイヤルを回します。



2 シャッターボタンを半押しする

ピント合わせが行われ、露出が固定されます。

最大 9 点で測距し、ピントが合っている位置を緑の枠で表示します。

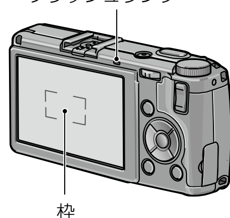


3 シャッターボタンをそのまま静かに押しきる

撮影した画像が画像モニターに表示され、記録されます。

 *ピント合わせについて*

- ピント合わせの状態は、画像モニター中央の枠の色とオートフォーカス／フラッシュランプで確認できます。



ピント合わせの状態	枠の色	オートフォーカス／フラッシュランプ
ピント合わせ前	白	消灯
ピントが合った時	緑	緑点灯
ピントが合わなかったとき	赤（点滅）	緑点滅

- 以下のような被写体は、ピントを合わせられないことや、枠の色が緑になっていてもピントが合っていないことがあります。
  - コントラストのないもの（空、白壁、自動車のボンネットなど）
  - 横線だけで、凹凸のないもの
  - 動きの速いもの
  - 暗いところのもの
  - 強い逆光や反射光があるもの
  - 蛍光灯などのちらつきのあるもの
  - 光源が点状のもの（電球、スポットライト、点光源 LED など）
  - 暗い場所、被写体のコントラストがないとき

  このような被写体を撮影するときは、撮影したい被写体と同じ距離にある違う被写体にピントを固定してから撮影してください。

 *手ブレについて*

- ［撮影設定］メニューの［手ブレ補正］で、撮影時の手ブレを補正することができます。初期設定は［ON］に設定されています。
  - M モードでシャッタースピードが 1 秒以上／B／T のとき、セルフタイマーが［カスタムセルフ］に設定されているとき、ケーブルスイッチ（別売り）を接続しているときは、手ブレ補正は動作しません。
  - 被写体ブレには効果はありません。
  - 撮影状況によって、手ブレ補正の効果は異なります。
- 手ブレしやすい状態のときは、以下の方法を試してください。
  - フラッシュを［AUTO］［強制発光］にする（☞P.36）
  - ISO 感度を上げる（☞P.76）
  - セルフタイマーを使う（☞P.37）

 *メモ*

- 撮影直後に画像を表示する時間は、［セットアップ］メニューの［画像確認時間］で［OFF］［0.5 秒］［1 秒］［2 秒］［3 秒］［HOLD］から選択できます。［HOLD］に設定すると、次にシャッターボタンを半押しするまで画像が表示されます。

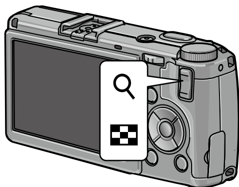
デジタルズームを使って撮影する

⊞/Q ボタンでデジタルズームが使用できます。まず最初に ⊞/Q ボタンにデジタルズームの機能を設定します。

1 ［キーカスタム設定］メニューの［ズームボタン設定］を［デジタルズーム］に設定する

メニューの操作は P.50 を参照してください。

2 撮影できる状態で、Q/⊞ ボタンを押す



画像モニターにデジタルズームの倍率が表示されます。

Qボタンを押すと、範囲を狭めて被写体を大きく撮影できます（最大 4.0倍まで）。⊞ ボタンを押すと、被写体を小さくして広い範囲を撮影できます。

3 撮影する



メモ ---

- ［撮影設定］メニューの［画質・サイズ］（☞P.65）を［10M 4:3 F］［10M 4:3 N］に設定しているときは、［セットアップ］メニューの［デジタルズーム切替］で［オートリサイズ］を選択することもできます。（☞P.130）



注意 ---

- 以下の場合は、デジタルズームは使用できません。
  - SCENE モードの［ダイナミックレンジ］［インターバル合成］
  - 画質・サイズの RAW
  - 多重露光撮影

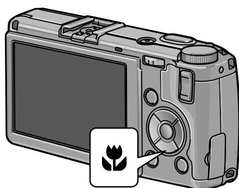
基本編

接写する（マクロ撮影）

レンズ先端より最短約 1cm（撮影範囲：約 26 × 19mm）まで近づけて撮影することができます。

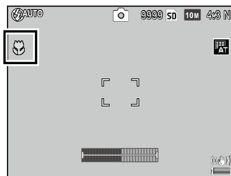
1 撮影モードで 🌷（▼）ボタンを押す

画像モニターに 🌷 が表示され、マクロモードになります。



2 撮影する

マクロモードを解除するときは、もう一度 🌷 ボタンを押します。



 *メモ* --

- マクロモードでは、フォーカスモードは［スポット AF］で動作します。

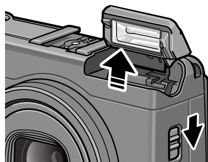
フラッシュを使う

以下のフラッシュモードがあります。

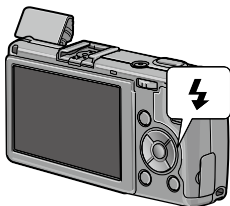
強制発光	常にフラッシュを発光します。
AUTO	逆光や被写体が暗いときに、自動的にフラッシュを発光します。［初期設定］
赤目軽減	人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。
スローシンクロ	シャッタースピードを遅くして発光します。人物を入れた夜景の撮影に適します。手ブレしやすいので、三脚の使用をお勧めします。
マニュアル発光	フラッシュの発光量を［撮影設定］メニューの［フラッシュマニュアル発光量］で設定します。（☞P.94）
発光禁止	フラッシュを発光しません。

1 OPEN スイッチを下側にスライドする

フラッシュがポップアップします。



2 （▶）ボタンを押す



3 ◀▶ ボタンでフラッシュモードを切り替える

画像モニターにフラッシュモードマークが表示されます。

フラッシュ充電中は、オートフォーカス／フラッシュランプが点滅します。充電が完了すると消灯し、撮影が可能になります。

 ***メモ***

- フラッシュを使用しないときは、フラッシュカバーを閉じておきます。
- ISO感度が［AUTO］の場合、フラッシュ光が届く範囲はレンズ先端より約20cm～3.0mです。
- 単4形電池を使用している場合、フラッシュ充電中は画像モニターがオフになります。
- フラッシュ発光時は、AEの精度を補助するために予備発光が行われます。
- フラッシュ光量は、［撮影設定］メニューの［フラッシュ調光補正］で調整できます。（☞P.93）

 ***注意***

- 以下の場合は、発光禁止になります。
  - SCENEモードの[ダイナミックレンジ][インターバル合成][動画]
  - 連写
  - オートブラケット
- 外部フラッシュ／コンバージョンレンズ／フードを使用する場合は、フラッシュをポップアップしないでください。

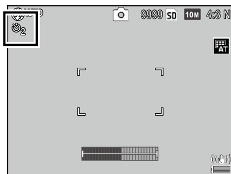
セルフタイマーで撮影する

セルフタイマーは、2秒／カスタムセルフが選択できます。手ブレを防ぎたいときには2秒に設定すると便利です。[カスタムセルフ]では、撮影枚数と撮影間隔を設定して撮影できます。

1 ⏱ボタンを押す

セルフタイマーのマークが表示されます。

⏱ボタンを押すと、［2秒］→［カスタムセルフ］→［セルフオフ］の順に設定が切り替わります。



2 撮影する

セルフタイマーがスタートすると、AF補助光が発光します。

 *メモ*

- 撮影後もセルフタイマーは解除されません。セルフタイマーを解除するときは、ⓢ ボタンで［セルフオフ］に切り替えます。
- ［2 秒］の場合は AF 補助光は発光しません。
- ［カスタムセルフ］を選択したときは、［撮影設定］メニューの［カスタムセルフ］で以下の項目を設定します。

撮影枚数	1 〜 10 枚［初期値：2 枚］
撮影間隔	5 〜 10 秒［初期値：5 秒］

  - 撮影枚数が 2 枚以上の場合、フォーカスは 1 枚目の位置で固定されます。
- ⓢ ボタンは Fn2 ボタンとしても使用します。［キーカスタム設定］メニューの［Fn ボタンペア設定］（☞P.128）でセルフタイマー以外の機能を登録している場合は、セルフタイマーは使用できません。

 *注意*

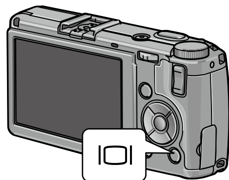
- 以下の場合は、［カスタムセルフ］は選択できません。
  - SCENE モードの［インターバル合成］
  - 多重露光撮影

カメラの傾きを確認する

本カメラは水準器を内蔵しており、カメラの傾きを画像モニターで確認できます。水平方向と前後方向（アオリ）の確認ができます。

1 |□|（DISP.）ボタンを長押しする

メニューが表示されます。



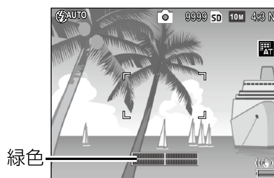
2 ▲▼ ボタンで設定を選択する

OFF	インジケーターを表示しません。
水平+アオリ	水平・アオリインジケーターを表示します。［初期設定］
水平	水平インジケーターだけ表示します。
水平+音	水平インジケーターを表示し、カメラが水平のときに一定間隔で音を鳴らします。
音のみ	カメラが水平のときに一定間隔で音を鳴らします。インジケーターは表示されません。

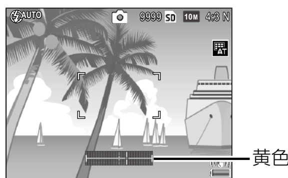
3 MENU/OK ボタンを押す

インジケーターが画面下側に表示されます。

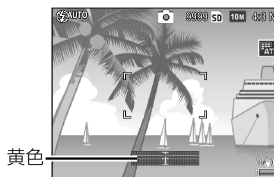
水平方向は縦線、前後方向は横線で表示され、傾いているときは黄色、傾いていないときは緑色になります。



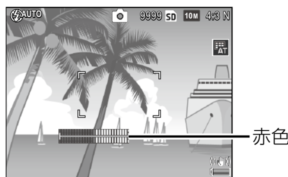
傾きなし



右に傾いているとき



前に傾いているとき



検知できなかったとき、または傾きすぎているとき

 *メモ* --

- インジケーターは、画像モニターの表示がマーク表示／ヒストグラム表示のときだけ表示されます。（☞P.21）
- インジケーターの表示は、［セットアップ］メニューの［水準器設定］でも設定できます。また、［セットアップ］メニューの［水準器（アオリ方向）キャリブレーション］で、現在のカメラのアオリ方向の状態を基準として記憶させることもできます。
- ［セットアップ］メニューの［操作音音量設定］（☞P.132）を［OFF］に設定している場合、水準器音は鳴りません。

 *注意* --

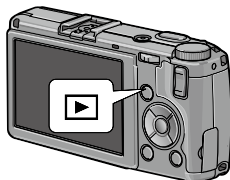
- カメラを上下逆にしている場合や、動画記録中、インターバル撮影中は、水準器は動作しません。
- 乗り物の中などのゆれている場所にいる場合や、カメラがゆれている場合は、水準器の精度が低くなります。
- この機能は、撮影する画像が水平かどうかを確認するための目安として使用してください。カメラ自体を水準器として使用した場合の精度は保証できません。

再生する

撮影した静止画を確認しましょう。

1 ▶ ボタンを押す

再生モードに切り替わり、最後に撮影した画像が表示されます。



2 ▲▼◀▶ ボタンで画像を切り替える

以下の操作ができます。

◀ ボタン	1 コマ前
▶ ボタン	1 コマ後ろ
▲ ボタン	10 コマ前
▼ ボタン	10 コマ後ろ
◀▶ ボタン	高速切り替え

撮影モードに戻るときは、もう一度 ▶ ボタンを押します。



メモ --

- 再生される順番は、［セットアップ］メニューの［再生順序設定］で［ファイル番号］［撮影日時］から選択できます。



縦横自動回転再生 ---

- ［セットアップ］メニューの［縦横自動回転再生］を［ON］に設定している場合、カメラの向きに応じて画像が自動回転されます。
- 連写／AF 連写／オートブラケットで撮影した画像は、1 枚目の画像の向きに合わせて自動回転されます。
- 以下の場合は、自動回転されません。
  - 動画
  - S 連写／M 連写で撮影した画像
  - 一覧表示の場合
  - カメラを前後に傾けすぎた状態で撮影した画像
  - カメラを上下逆にして撮影または再生した場合
  - 拡大再生中にカメラの向きを変えた場合
  - 再生モードで斜め補正処理中（補正エリアが表示されている状態）の画像
  - スライドショー／テレビ再生中

メニュー一覧

各機能は主にメニューで設定します。以下のメニューがあります。(「設定値」内の太字は初期値)

[撮影設定]メニュー

撮影時の設定を行います。撮影モードのときに表示されます。モードダイヤルの位置によって選択できる項目が異なります。



項目	設定値	参照先
画質・サイズ	RAW 4:3／RAW 3:2／RAW 16:9／RAW 1:1／10M 4:3 F／**10M 4:3 N**／9M 3:2 F／9M 3:2 N／7M 16:9 F／7M 16:9 N／7M 1:1 F／7M 1:1 N／8M 4:3 F／5M 4:3 F／3M 4:3 F／1M 4:3 F／VGA 4:3 F	P.65
フォーカス	**マルチ AF**／スポット AF／被写体追尾 AF／MF／スナップ／∞	P.68
スナップ時フォーカス距離	**AUTO**／1m／1.5m／2.5m／5m／∞	P.73
フルプレススナップ	OFF／**ON**／ON ISO AUTO-HI	P.73
プレ AF	**OFF**／ON	P.70
測光	**マルチ**／中央／スポット	P.74
画像設定	ビビッド／**スタンダード**／設定 1／設定 2／白黒／白黒 TE／ハイコントラスト白黒／クロスプロセス／ポジフィルム調／ブリーチバイパス	P.82
連写	**OFF**／連写／AF 連写／S 連写／M 連写	P.85

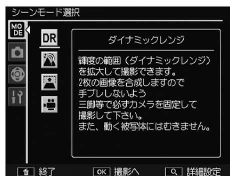
項目	設定値	参照先
オートブラケット	**OFF**／ON ±0.3 ／ON ±0.5 ／WB-BKT／画像設定 BKT／DR-BKT／CONTRAST-BKT	P.88
多重露光撮影	自動露出：OFF／**ON** 1 枚ずつ保存：**OFF**／ON 途中経過保存：**OFF**／ON	P.90
フラッシュ調光補正	+2.0／+1.7／+1.3／+1.0／+0.7／+0.3／**0.0**／-0.3／-0.7／-1.0／-1.3 ／-1.7／-2.0	P.93
フラッシュマニュアル発光量	FULL／1/1.4／**1/2**／1/2.8／1/4／1/5.6／1/8／1/11／1/16／1/22／1/32／1/64	P.94
フラッシュシンクロ設定	**先幕**／後幕	P.95
ダイナミックレンジ補正	**OFF**／弱／中／強	P.95
ノイズリダクション	**OFF**／弱／強／MAX	P.96
ノイズリダクション ISO 設定	すべて／ISO 201 以上／**ISO 401 以上**／ISO 801 以上／ISO 1601 以上	P.96
ターゲット移動設定	AE/AF／**AF**／AE	P.71
手ブレ補正	OFF／**ON**	P.33
カスタムセルフ	撮影枚数：1 ～ 10 枚［**2 枚**］ 撮影間隔：5 ～ 10 秒［**5 秒**］	P.38
インターバル撮影	**00 時間 00 分 00 秒**～ 01 時間 00 分 00 秒	P.91
日付入れ撮影	**OFF**／日付／日時	P.97
露出補正	+2.0／+1.7／+1.3／+1.0／+0.7／+0.3／**0.0**／-0.3／-0.7／-1.0／-1.3／-1.7／-2.0	P.75
ホワイトバランス	AUTO／**マルチパターン AUTO**／屋外／曇天／白熱灯 1／白熱灯 2／蛍光灯／手動設定／詳細設定	P.78
ホワイトバランス補正	A:0 ／G:0	P.81

項目	設定値	参照先
ISO 感度	**AUTO**／AUTO-HI／ISO 80／ISO 100／ISO 200／ISO 400／ISO 800／ISO 1600／ISO 3200	P.76
拡大表示倍率（MF）	**2 倍**／4 倍	P.71
撮影設定初期化[*1]	−	P.51
絞り自動シフト[*2]	**OFF**／ON	P.56
シャッタースピード自動シフト[*3]	**OFF**／ON	P.56
撮影モード切替[*4]	オート撮影モード／プログラムシフトモード／絞り優先モード／シャッター優先モード／マニュアル露光モード	P.123
ダイナミックレンジ拡大効果[*5]	**弱**／中／強	P.60
＋通常撮影[*5]	**OFF**／ON	P.60
インターバル合成時間[*6]	**0 時間 00 分 01 秒** ～ 1 時間 00 分 00 秒	P.61
インターバル合成画像保存[*6]	**OFF**／1 枚ずつ保存／途中経過保存	P.61
動画サイズ[*7]	**VGA 640**／QVGA 320	P.64
フレームレート[*7]	**30 コマ / 秒**／15 コマ / 秒	P.64

＊1 モードダイヤルが 📷 のときのみ表示されます。
＊2 モードダイヤルが A のときのみ表示されます。
＊3 モードダイヤルが S のときのみ表示されます。
＊4 モードダイヤルが MY1／MY2／MY3 のときのみ表示されます。
＊5 モードダイヤルが SCENE で［ダイナミックレンジ］に設定されているときのみ表示されます。
＊6 モードダイヤルが SCENE で［インターバル合成］に設定されているときのみ表示されます。
＊7 モードダイヤルが SCENE で［動画］に設定されているときのみ表示されます。

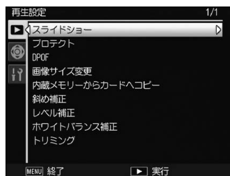
[シーンモード選択] メニュー

シーンモードを選択します。撮影モードでモードダイヤルが SCENE のときだけ表示されます。（☞P.58）



[再生設定] メニュー

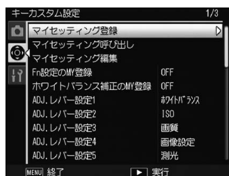
再生モードのときに表示されます。画像の管理や補正を行います。



項目	参照先
スライドショー	P.99
プロテクト	P.104
DPOF	P.114
画像サイズ変更	P.106
内蔵メモリーからカードへコピー	P.106
斜め補正	P.108
レベル補正	P.109
ホワイトバランス補正	P.111
トリミング	P.107

［キーカスタム設定］メニュー

よく使用する撮影設定の登録や、ボタン／レバーの機能が変更できます。



項目	設定値	参照先
マイセッティング登録	MY1／MY2／MY3／マイセッティング BOX［1］～［12］／カード［1］～［6］	P.120
マイセッティング呼び出し	－	P.122
マイセッティング編集	－	P.124
Fn 設定の MY 登録	ON／**OFF**	P.121
ホワイトバランス補正の MY 登録	ON／**OFF**	P.121
ADJ. レバー設定 1／ADJ. レバー設定 2／ADJ. レバー設定 3／ADJ. レバー設定 4／ADJ. レバー設定 5	OFF／露出補正／**ホワイトバランス**［ADJ. レバー設定 1］／WB 補正／**ISO**［ADJ. レバー設定 2］／**画質**［ADJ. レバー設定 3］／フォーカス／**測光**［ADJ. レバー設定 5］／**画像設定**［ADJ. レバー設定4］／連写／オートブラケット／調光補正／マニュアル発光／D レンジ補正	P.126

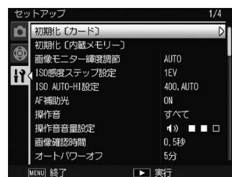
項目	設定値	参照先
ADJ シャッターボタン確定	ON／**OFF**	P.127
Fn ボタンペア設定	OFF／AF/MF／AF/ スナップ／AF/ 被写体追尾／AE ロック／JPEG → RAW／カラー→白黒／カラー→ TE／カラー→ハイ白黒／カラー→クロスプロセス／カラー→ P フィルム調／カラー→ B バイパス／露出補正／ホワイトバランス／WB 補正／ISO ／画質／フォーカス／測光／画像設定／連写／多重露光／**オートブラケット**［Fn1 ボタン設定］／マクロターゲット／調光補正／マニュアル発光／D レンジ補正／**セルフタイマー**［Fn2 ボタン設定］	P.128
Fn ボタンペア切替	**Fn ボタンペア[1]**／Fn ボタンペア[2]／Fn ボタンペア［3］／Fn ボタンペア［4］	P.129
ズームボタン設定	OFF／デジタルズーム／**露出補正**／ホワイトバランス	P.130
電源ボタンランプ	**ON**／OFF	P.28
再生モードダイヤル設定	**設定 1**／設定 2	P.101
M モードダイヤル設定	**設定 1**／設定 2	P.57
M モードワンプッシュ動作	**絞り優先**／シャッター優先／プログラム	P.57
ADJ. ISO ダイレクト変更	ON／**OFF**	P.77
マイセッティング削除	－	P.126
キーカスタム設定初期化	－	P.47

 ***メモ*** --

- ［キーカスタム設定］メニューで設定した内容は、［キーカスタム設定初期化］で初期値に戻すことができます。［マイセッティング登録］の内容は初期化されません。

［セットアップ］メニュー

カメラの全般的な動作を設定します。



項目	設定値	参照先
初期化［カード］	－	P.27
初期化［内蔵メモリー］	－	－
画像モニター輝度調節	**AUTO**／MANUAL	P.131
ISO 感度ステップ設定	**1EV**／1/3 EV	P.76
ISO AUTO-HI 設定	上限 ISO 感度：AUTO 200／**AUTO 400**／AUTO 800／AUTO 1600／AUTO 3200 切り替えシャッタースピード：**AUTO**／1/2／1/4／1/8／1/15／1/30／1/60／1/125／1/250	P.76
AF 補助光	**ON**／OFF	－
操作音	**すべて**／水準器音／シャッター音	P.132
操作音音量設定	OFF／小（■□□）／**中**（■■□）／大（■■■）	P.132
画像確認時間	OFF／**0.5 秒**／1 秒／2 秒／3 秒／HOLD	P.33
オートパワーオフ	OFF／1 分／**5 分**／30 分	P.28
スリープ	**OFF**／10 秒／1 分／3 分	P.28
画像モニター節電	ON／**OFF**	P.28
外部 AF 測距表示	ON／**OFF**	P.69
水準器設定	OFF／**水平＋アオリ**／水平／水平＋音／音のみ	P.40

項目	設定値	参照先
水準器（アオリ方向）キャリブレーション	設定初期化／キャリブレーション	P.40
グリッドガイド表示設定	**グリッド 1**／グリッド 2／グリッド 3	P.21
撮影情報表示フレーム	ON／**OFF**	P.22
情報表示モード	ON／**OFF**	P.22
ワンプッシュ拡大表示倍率	5.7 倍／**9.8 倍**／16 倍	P.100
縦横自動回転再生	**ON**／OFF	P.41
白とび警告表示	ON／**OFF**	P.23
再生順序設定	ファイル番号／**撮影日時**	P.41
RAW 同時記録設定	**FINE**／NORMAL／VGA／RAW のみ	P.67
色空間設定	**sRGB**／AdobeRGB	ー
WB 手動設定取込エリア	全域／**スポット**	P.80
デジタルズーム切替	**通常**／オートリサイズ	P.130
メニューカーソル位置保持	ON／**OFF**	P.51
カード連続 NO.	**ON**／OFF	P.133
日時設定	ー	P.29
Language/ 言語 [*1]	**日本語**／英語	P.29
ビデオ方式 [*1]	**NTSC**／PAL	P.112
USB 接続	**マスストレージ**／PTP	P.137
HDMI 出力	**AUTO**／1080i／720P／480P	P.113
ファームウェアバージョン確認	ー	P.134
Eye-Fi 接続設定 [*2]	**ON**／OFF	P.26
Eye-Fi 接続先表示 [*2]	ー	P.26

＊1　初期設定は、国や地域によって異なります。

＊2　Eye-Fi カードを使用しているときのみ表示されます。

メニューの操作方法

1 MENU/OK ボタンを押す

メニューが表示されます。

ボタンを押したときのモードによって、最初に表示されるメニューが異なります。

メニューを切り替えるときは、◀ ボタンを押してから ▲▼ ボタンでタブを選択し、▶ ボタンを押します。



2 ▲▼ ボタンで項目を選択する

/ ボタンでページが切り替えられます。



3 ▶ ボタンを押す

選択肢が表示されます。

4 ▲▼ ボタンで選択肢を選択する



5 MENU/OK ボタンを押すまたは ◀ ボタンを押してから MENU/OK ボタンを押す

設定が確定します。

基本編

 メモ

- インターバル撮影／セルフタイマーは、電源をオフにすると設定値が初期値に戻ります。それ以外の機能は、設定値が保持されます。
- ［撮影設定］メニューで設定した項目は、［撮影設定］メニューの［撮影設定初期化］で初期値に戻すことができます。
- ［セットアップ］メニューの［メニューカーソル位置保持］を［ON］に設定すると、最後に選択していた項目のカーソル位置が記憶され、次にメニューを表示したときにその項目が最初に表示されます。

応用編

目的に応じてお読みください

1 いろいろな撮影 54
2 いろいろな再生 98
3 写真を印刷する 114
4 カメラの設定を変更する 120
5 画像をパソコンに
取り込む 135
6 付録 143

撮影の状況に応じて、撮影モードを選択してください。

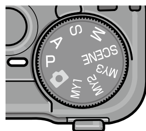
モード	目的	参照先
(カメラアイコン)	簡単に撮影したいとき	P.32
P／A／S／M	絞り値やシャッタースピードを設定して撮影するとき	P.54
SCENE	ダイナミックレンジ／インターバル合成／斜め補正／動画撮影をしたいとき	P.58
MY1／MY2／MY3	自分好みの設定を登録して撮影するとき	P.123

絞り値・シャッタースピードを設定して撮影する

絞り値またはシャッタースピードを調整して撮影します。それぞれ以下の値が調整できます。

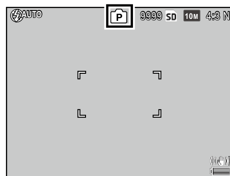
モード	調整できる値
P：プログラムシフトモード	絞り値・シャッタースピードの組み合わせ
A：絞り優先モード	絞り値
S：シャッター優先モード	シャッタースピード（1/2000 ～ 180 秒）
M：マニュアル露光モード	絞り値／シャッタースピード

1 モードダイヤルを P／A／S／M に合わせる



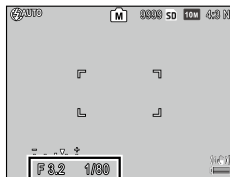
画像モニターに選択したモードのマークが表示されます。

A モードでは絞り値、S モードではシャッタースピードがオレンジ色で表示されます。M モードでは、絞り値・シャッタースピード・露出値インジケーターが表示されます。



2 アップダウンダイヤルを回して値を変更する

M モードの場合は、絞り値が変更されます。シャッタースピードは ADJ. レバーで変更します。インジケーターが中央にあるときは、適正露出です。



露出値が –2EV ～ +2EV の範囲にあるときは、露出値に応じて画像モニターが変化します。その範囲を超えると、インジケーターがオレンジ色になり、画像モニターは変化しません。

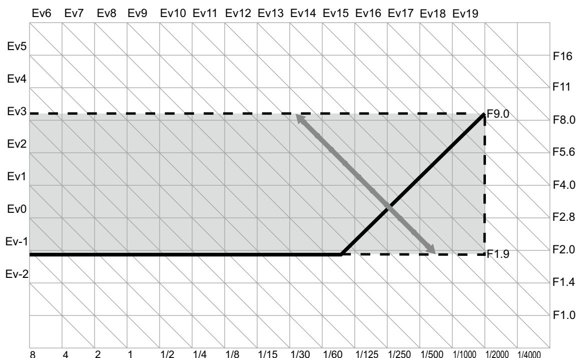
3 シャッターボタンを半押しする

決定した露出値が表示されます。

4 撮影する

 *メモ*

- P モードのプログラム線図は以下のとおりです（フラッシュ［発光禁止］、ISO 感度［ISO 100］に設定した場合）。
  - グレーの部分はシフト可能な範囲の目安です。Ev（露出値）によって変化します。



- A モードのときに［撮影設定］メニューの［絞り自動シフト］を［ON］に設定すると、露出オーバーのときにカメラが自動的に適正露出が得られるよう絞り値を調整します。
- S モードでシャッタースピードを遅く設定しているときは、被写体が暗くても、絞り値が開放F値にならない場合があります。［撮影設定］メニューの［シャッタースピード自動シフト］を［ON］に設定すると、露出オーバーまたはアンダーのときでも適正露出になるようシャッタースピードを自動的に調整します。
- シャッタースピードを遅く設定した場合、撮影中は画像モニターがオフになります。
- M モードで ISO 感度を［AUTO］［AUTO-HI］に設定した場合は、ISO 100 ～ 400 になります。

・M モードのときのダイヤル／レバー／ボタンの動作は、［キーカスタム設定］メニューで設定できます。

M モードダイヤル設定	アップダウンダイヤルと ADJ. レバーの機能を入れ替えます。
M モードワンプッシュ動作	Q/⊞ ボタンでの露出補正操作（☞P.130）または Fn1／Fn2 ボタンでの AE ロック操作（☞P.128）を行ったときに、絞り値／シャッタースピードを適正露出に近付けます。適正露出付近から露出値を変更したい場合などに便利です。［絞り優先］［シャッター優先］［プログラム］が選択できます。

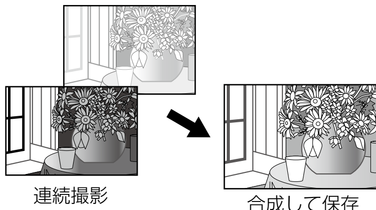
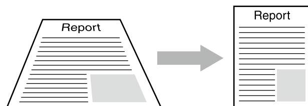
・M モードのときは、シャッタースピードで B（バルブ）／T（タイム）が選択できます。B はシャッターボタンを押し続けると露光され、離すと露光が終了します。T はシャッターボタンを押すと露光が始まり、もう一度押すと露光が終了します。どちらも 180 秒経過すると、強制的に撮影が終了します。別売り品のケーブルスイッチ（CA-2）でも操作できます。
B／T に設定したときは、以下の機能は使用できません。
  ・セルフタイマー
  ・インターバル撮影
  ・オートブラケット
  ・M モードワンプッシュ動作
また、B／T に設定しているときに［撮影設定］メニューの［連写］を設定すると、シャッター速度は 180 秒になります。先に［連写］が設定されているときは、B／T は設定できません。

 ***注意*** --

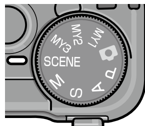
・シャッタースピードを 10 秒以上に設定した場合は、ノイズリダクションが働きます。そのため、画像の記録完了までに、設定したシャッタースピードの約 2 倍の時間がかかります。

SCENE モードを利用する

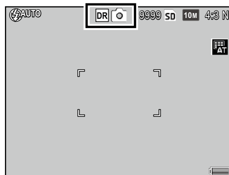
SCENE モードでは、以下の撮影ができます。

DR ダイナミックレンジ	露出を変化させて 2 枚の静止画を連続撮影し、それぞれの適正露出部分を合成して記録します。 明暗差の大きい日向と日陰を同時に撮影する場合などに、明るい部分から暗い部分までなめらかに再現し、人の目で見た印象と近い画像が記録できます。(☞P.60)  連続撮影　合成して保存
 インターバル合成	設定した撮影間隔で連続撮影した各画像の明るい部分を合成します。定位置で星や月の動きを記録したいときなどに使用します。（☞P.61）
 斜め補正	掲示板や名刺などの四角い被写体を斜め方向から撮影した場合に、撮影した画像を正面から撮影したように補正します。(☞P.63) 
 動画	音声付き動画を撮影します。(☞P.64)

1 モードダイヤルを SCENE に合わせる



選択されているシーンモードの種類が表示されます。

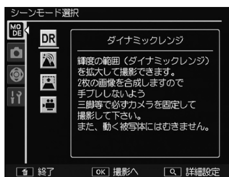


2 MENU/OK ボタンを押す

［シーンモード選択］メニューが表示されます。

3 ▲▼ ボタンでシーンモードを選択する

Q ボタンを押すとシーンモードを確定し、選択したモードで必要な詳細設定の項目が表示されます。



4 MENU/OK ボタンを押す

選択したシーンモードの種類が表示されます。

ダイナミックレンジモードで撮影する

1 カメラを三脚に固定する

2 撮影モードを SCENE モードの［ダイナミックレンジ］に設定して撮影する

2 枚連続で撮影され、合成された画像のみが保存されます。

 *メモ* --

- ダイナミックレンジモードは、他のモードと比べて撮影時間が長くなります。三脚を使用するか、セルフタイマー（☞P.37）やケーブルスイッチ CA-2（別売り品）のご使用をお勧めします。
- ダイナミックレンジモードでは、［撮影設定］メニューで以下の設定ができます。

ダイナミックレンジ拡大効果	ダイナミックレンジの効果を［弱］［中］［強］から選択します。効果を強くするほど、処理する輝度の範囲が広がります。
＋通常撮影	ダイナミックレンジを拡大した画像と、通常モードでの画像を同時に記録します。撮影後に 2 つの画像とヒストグラムを表示します。

- SCENE モード以外の撮影モードでは、［撮影設定］メニューの［ダイナミックレンジ補正］を設定してダイナミックレンジを補正した画像が撮影できます。（☞P.95）

 *注意* --

- ダイナミックレンジモードでは、以下の機能は使用できません。
  - 画質・サイズの RAW
  - デジタルズーム
  - フラッシュ
- 撮影場所が明るすぎたり暗すぎたりする場合、ダイナミックレンジの効果が出ない場合があります。
- 動きのある被写体は、鮮明に撮影できません。
- 蛍光灯の下で撮影する場合、ちらつき（フリッカー）によって色や明るさが正しく記録できない場合があります。

インターバル合成モードで撮影する

設定した撮影間隔で連続撮影した各画像の明るい部分を残すように合成します。定位置の夜景の撮影で、星や月の光跡を記録したいときなどに使用します。

1 カメラを三脚に固定する

2 モードダイヤルを M に合わせて試し撮りを行う

絞り／シャッタースピード／ ISO 感度／ホワイトバランス／フォーカスモードを設定し、構図を確認します。この露出を維持して合成されます。

3 撮影モードを SCENE モードの［インターバル合成］に設定する

M モードの設定が引き継がれます。

4 ［撮影設定］メニューの［インターバル合成時間］［インターバル合成画像保存］を設定する

インターバル合成時間	撮影の間隔を1秒〜1時間で設定します。シャッタースピードより長い間隔で設定します。
インターバル合成画像保存	画像の保存方法を設定します。 ［OFF］最終的な合成画像のみを保存します。 ［1 枚ずつ保存］合成されていない各画像と最終的な合成画像を保存します。 ［途中経過保存］各合成段階の画像を保存します。

5 シャッターボタンを全押しする

1 枚目の画像が撮影され、設定した間隔で連続撮影されます。

合成中の画像を確認するときは、シャッターボタンを半押しします。

シャッターボタンを全押しすると、インターバル合成を継続したままその時点の合成画像を保存し、新たに合成を開始します。

6 撮影を終了するときは、MENU/OK ボタンを押す

合成された画像が保存されます。

注意 --

- インターバル合成モードでは、以下の機能は使用できません。
  - フラッシュ
  - デジタルズーム
- 露光途中に MENU/OK ボタンを押した場合は、その画像は合成されません。

メモ --

- 以下の設定は、1 枚目撮影時の値で固定されます。
  - ISO 感度［AUTO］［AUTO-HI］時の ISO 感度
  - ホワイトバランス［AUTO］時のホワイトバランス値
- AF 動作は、1 枚目の撮影時のみ行われます。
- セルフタイマーは、1 枚目撮影時のみ使用できます。
- 星の光跡を撮影する場合は、フォーカスモードを［∞］、［インターバル合成時間］を［1 秒］に設定すると、きれいに仕上がります。また、試し撮りのときに星が点で撮影されていることを確認してください。合成されることで、点が光跡となって記録されます。
- 暗い場所での撮影は、別売りの外部ファインダー（GV-1／GV-2）を使用すると便利です。

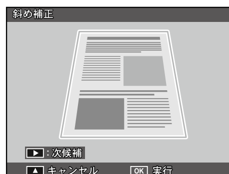
斜め補正モードで撮影する

1 撮影モードを SCENE モードの［斜め補正］に設定して撮影する

処理中のメッセージが表示され、補正対象として最大 5 つのエリアがオレンジ色の枠で表示されます。

エリアが検出できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

2 ▶ ボタンで補正エリアを選択する



枠を移動して、補正エリアを選択します。

補正をキャンセルする場合は ▲ ボタンを押します。

3 MENU/OK ボタンを押す

選択した枠のエリアの斜め補正が行われ、枠外の部分はトリミングされます。

注意 --

- 被写体全体がなるべく大きく入るような構図で撮影してください。
- 以下のときには被写体を認識できないことがあります。
  - ピンボケの画像
  - 被写体の 4 辺がはっきり見えないとき
  - 被写体と背景の区別がつきにくいとき
  - 背景が複雑な構図
- 斜め補正された画像は、別画像として記録されます。記録可能枚数が 2 枚未満の場合は、撮影できません。
- 斜め補正モードでは、AE/AF ターゲット移動はできません。

メモ --

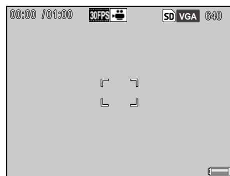
- 撮影済みの静止画を斜め補正することもできます。（☞P.108）
- 斜め補正モードで選択できる［画質・サイズ］は、［1M 4:3 F］［VGA 4:3 F］のみです。

動画モードで撮影する

音声付きの動画を撮影します。
撮影した動画は、AVI ファイルで記録されます。

1 撮影モードを SCENE モードの［動画］に設定する

2 シャッターボタンを押す



動画の撮影が開始されます。

撮影中は「● REC」が点滅し、記録時間と残り記録時間が表示されます。

3 撮影を終了するときは、もう一度シャッターボタンを押す



メモ --

- 撮影中に操作音が記録されることがあります。
- 1 回あたりの撮影可能時間は、ご使用のメモリーカードによって異なります（☞P.152）。また撮影可能時間内でも、撮影が終了する場合があります。
- 1 回の撮影で記録できる動画は、最大 29 分または 4GB までです。
- フラッシュは発光禁止になります。
- シャッターボタンを押した時点で、ピント合わせが行われます。
- 残り記録時間は、動画記録中にメモリーの残容量から再計算されるため、時間の変化が一定でないことがあります。
- 動画モードでは、［撮影設定］メニューで以下の設定ができます。

動画サイズ	記録サイズを［VGA 640］［QVGA 320］から選択します。
フレームレート	1 秒あたりのコマ数を［30 コマ / 秒］［15 コマ / 秒］から選択します。

- 動画モードでは、AE/AF ターゲット移動はできません。
- 十分に残量のある電池または AC アダプター（別売り）のご使用をお勧めします。
- 動画の再生については、P.99 を参照してください。

静止画の画質・サイズを設定する

［撮影設定］メニューの［画質・サイズ］で、静止画の画像サイズ・アスペクト比・画質を設定します。

静止画のファイルの大きさは、画像サイズと画質の組み合わせによって決まります。

設定値	画像サイズ	画質
RAW 4:3	3648 × 2736	RAW
RAW 3:2	3648 × 2432	
RAW 16:9	3648 × 2048	
RAW 1:1	2736 × 2736	
10M 4:3 F 10M 4:3 N［初期設定］	3648 × 2736	Fine Normal
9M 3:2 F 9M 3:2 N	3648 × 2432	Fine Normal
7M 16:9 F 7M 16:9 N	3648 × 2048	Fine Normal
7M 1:1 F 7M 1:1 N	2736 × 2736	Fine Normal
8M 4:3 F	3264 × 2448	Fine
5M 4:3 F	2592 × 1944	
3M 4:3 F	2048 × 1536	
1M 4:3 F	1280 × 960	
VGA 4:3 F	640 × 480	

画質は以下の 3 種類があります。

Normal（N）	画像の圧縮率は高く、ファイルサイズは小さくなります。
Fine（F）	Normal モードより高画質で、ファイルサイズは大きくなります。
RAW	撮影したままの生データを RAW ファイル（DNG ファイル）で保存し、同時に JPEG ファイルも記録します。 DNG ファイルは対応した画像ソフトを使用して、パソコンで表示・加工ができます。 • Windows の場合は、付属の MediaBrowser で加工できます。 • Macintosh の場合は、市販のソフトウェアをご使用ください。



メモ

- アスペクト比が 3:2／1:1／16:9 のときは、画像モニターの上下または左右が黒く表示されます。
- [キーカスタム設定] メニューの [ADJ. レバー設定 1] ～ [ADJ. レバー設定 5] に、[画質] を登録して使用することもできます。初期設定では、[ADJ. レバー設定 3] に画質が登録されています。（☞P.126）
- [キーカスタム設定] メニューの [Fn ボタンペア設定] で [JPEG→RAW] を設定すると、Fn1／Fn2 ボタンの操作だけでファイル形式を切り替えることができます。（☞P.128）



RAW モードでの撮影

- RAW モードでは、一部の機能は使用できません。
- [撮影設定] メニューの [日付入れ撮影] を設定した場合、DNG ファイルに日付は入りません。同時記録される JPEG ファイルに、日付が入ります。
- [撮影設定] メニューの [画像設定] は、同時記録される JPEG ファイルにのみ反映されます。
- [撮影設定] メニューの [連写] を設定した場合、[ノイズリダクション]（☞P.96）の設定によって連続撮影できる枚数が異なります。[OFF] の場合は 5 枚まで、[弱] [強] [MAX] の場合は 4 枚までとなります。

- 同時記録される JPEG ファイルは、[セットアップ］メニューの［RAW 同時記録設定］で画質・サイズを変更できます。

FINE	画質：F、画像サイズ：RAW ファイルと同じサイズで記録します。
NORMAL	画質：N、画像サイズ：RAW ファイルと同じサイズで記録します。
VGA	VGA 4:3 F で記録します。
RAW のみ	JPEG ファイルを同時記録しません。

- カメラで表示･再生されるのは、同時記録された JPEG ファイルです。［RAW 同時記録設定］が［RAW のみ］の場合は、DNG ファイル内の JPEG ファイルが再生されます。

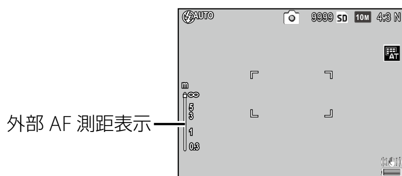
フォーカスを設定する

フォーカスモードを選択する

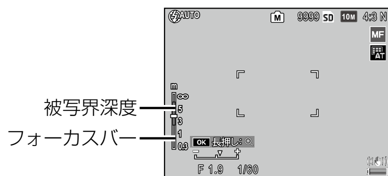
［撮影設定］メニューの［フォーカス］で設定します。

マルチ AF	9 箇所の AF エリアから測距し、最も近い位置にピントを合わせます。中抜けを防止し、ピンボケの少ない撮影ができます。［初期設定］
スポット AF	AF エリアを画像モニター中央の 1 箇所に固定し、ピントを合わせます。
被写体追尾 AF	被写体を追尾してピントを合わせ続けます。 シャッターボタンを半押しすると、画像モニター中央の枠内の被写体が追尾対象として設定され、緑色のターゲットマークが表示されます。追尾対象が見つからない場合は、枠が赤く点滅します。 撮影後、または以下のときに自動追尾が解除されます。 • 追尾対象がフレームから外れたとき • シャッターボタンを離したとき
MF マニュアルフォーカス	手動でピントを合わます。（☞P.70）
S スナップ	近距離にピントを固定します。 スナップ距離は、［撮影設定］メニューの［スナップ時フォーカス距離］で設定します。
∞ ∞（無限遠）	無限遠にピントを固定します。遠くの風景などを撮影するときに使います。

本カメラは、AF 専用の外部 AF センサーが測距を行います（[被写体追尾 AF］を除く)。[セットアップ］メニューの［外部 AF 測距表示］を［ON］に設定すると、外部 AF センサーで測距した距離が表示されます。



[MF］［スナップ］［∞］を選択した場合は、フォーカスバーが表示されます（[外部 AF 測距表示］が［ON］のときは、▼ ボタンを押すと表示されます)。撮影モードが A／M モードのときは、被写界深度が表示されます。



外部 AF 測距表示とフォーカスバーの表示は目安です。

 ***メモ***

- [キーカスタム設定］メニューの［ADJ. レバー設定 1］～［ADJ. レバー設定 5］または［Fn ボタンペア設定］に、[フォーカス］を登録して使用することもできます。(☞P.126、P.128)
- [キーカスタム設定］メニューの［Fn ボタンペア設定］で［AF/MF］［AF/スナップ］［AF/ 被写体追尾］を設定すると、Fn1／Fn2 ボタンの操作だけでフォーカスモードを切り替えることができます。(☞P.128)
- [被写体追尾 AF］では、以下の機能は使用できません。
  - セルフタイマーの［カスタムセルフ］
  - オートブラケット
  - インターバル撮影
  - AF/AE ターゲット移動
  - マクロターゲット移動

- ［撮影設定］メニューの［プレ AF］を［ON］に設定すると、［マルチ AF］［スポット AF］に設定したときにシャッターボタンを半押ししなくてもカメラが自動的にピントを合わせます。この場合、通常のオートフォーカスよりもスキャンする範囲が狭くなり、電池の消耗が早くなります。
- 乾電池で動作しているときは、外部 AF 測距表示は表示されません。
- ［外部 AF 測距表示］を［ON］に設定しているときは、［セットアップ］メニューの［スリープ］［画像モニター節電］を［OFF］に設定してください。
- 外部 AF センサーがオフのときは、［スナップ時フォーカス距離］の［AUTO］は 2.5m になります。

手動でピントを合わせる（MF）

オートフォーカスでピントが合わないときには、手動でピントを合わせます。
マニュアルフォーカスでは、撮影距離を固定して撮影できます。

1 ［撮影設定］メニューの［フォーカス］で［MF］を選択する

画面に［MF］が表示され、フォーカスバーが表示されます。



2 ▲▼ ボタンでピントを合わせる

▲ ボタンで遠距離方向、▼ ボタンで近距離方向に移動します。

MENU/OK ボタンを長押しすると、画面中央部のみ拡大表示されます。再度 MENU/OK ボタンを長押しすると、通常表示に戻ります。



3 撮影する

 *メモ*

- マニュアルフォーカスでは、マクロモードの撮影距離の被写体にもピントが合わせられます。
- MENU/OK ボタン長押しでの拡大表示の倍率は、[撮影設定] メニューの［拡大表示倍率（MF)］で［2 倍］［4 倍］が選択できます。

AE/AF ターゲットを移動する

カメラを動かさずにボタン操作だけで被写体の特定の部分を測光し、フォーカスロックができます。三脚を使った撮影時に便利です。

［撮影設定］メニューの［ターゲット移動設定］で、移動するターゲットを選択します。

AE/AF	スポット AE とスポット AF のターゲットを同じ位置で同時に移動します。
AF	スポット AF のターゲットを移動します。［初期設定］
AE	スポット AE のターゲットを移動します。

1 ADJ. レバーを押す

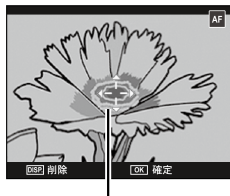
ADJ. モードになります。

2 ADJ. レバーを左右に倒して を選択し、MENU/OK ボタンを押す

ターゲット移動画面が表示されます。

3 ▲▼◀▶ ボタンでターゲットを移動する

DISP. ボタンを押すと、ターゲット移動は解除されます。



ターゲット

4 MENU/OK ボタンを押す

5 撮影する

 *メモ*

- AF ターゲットを移動すると、解除するまで設定した位置でピント合わせが行われます。
- ターゲットを移動した後にフォーカスモードを［MF］に設定すると、ターゲット位置は中央に戻ります。
- [セットアップ] メニューの [Fn ボタンペア設定] を [マクロターゲット］に設定すると、マクロターゲットを移動することができます(☞P.128)。この場合、✿（▼）ボタンを押すとマクロターゲット移動は解除されます。
- AE/AF ターゲット移動とマクロターゲット移動は、同時に使用できません。設定を切り替える場合は、ターゲット移動画面で DISP. ボタンを押してターゲット移動を解除してください。
- ［ADJ. レバー設定 1］～［ADJ. レバー設定 5］に登録されている他の ADJ. モードを使用する場合は、ターゲット移動画面で DISP. ボタンを押してターゲット移動を解除してください。
- フォーカスモードを［被写体追尾 AF］［MF］に設定している場合は、AE/AF ターゲット移動は使用できません。

シャッター一気押しで撮影する（フルプレススナップ）

フルプレススナップとは、フォーカスモードが［マルチ AF］［スポット AF］［被写体追尾 AF］に選択されているときに、シャッターを一気に押して撮影する機能です。［撮影設定］メニューの［スナップ時フォーカス距離］で設定した距離［AUTO］［1m］［1.5m］［2.5m］［5m］［∞］にピントを合わせて撮影します。

［撮影設定］メニューの［フルプレススナップ］で設定します。

OFF	通常の AF 撮影と同じ動作です。
ON	フルプレス時に、［スナップ時フォーカス距離］で設定した距離にピントを合わせて撮影します。
ON ISO AUTO HI	フルプレス時に、［スナップ時フォーカス距離］で設定した距離にピントを合わせ、ISO 感度を［AUTO-HI］（☞P.76）で撮影します。

 *注意* --

- フォーカスモードが［MF］［スナップ］［∞］のときとマクロモードでは、フルプレススナップ撮影はできません。
- フルプレススナップ撮影時は、手ブレに注意してください。

 *メモ* --

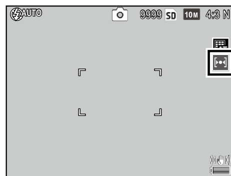
- ［フルプレススナップ］が［ON］の場合でも、シャッターボタンを半押しするとオートフォーカスでピントを合わせます。
- ［スナップ時フォーカス距離］を［AUTO］に設定した場合、外部 AF センサーが測距したフォーカス距離で撮影を行います。外部 AF センサーがオフのときは、2.5m にピントを合わせます。

測光モードを選択する

［撮影設定］メニューの［測光］で設定します。

マルチ	撮影範囲全体を 256 に分割して、総合的に判断します。［初期設定］
中央	中央部分に重点を置きつつ、全体を測光して判断します。中央と周辺の明るさが異なるときに使います。
スポット	中央部分を測光して判断します。中央の明るさに強制的に合わせたいときに使います。逆光やコントラストの差が著しいときなどに役立ちます。

［中央］［スポット］を選択した場合は、画面にマークが表示されます。



 *メモ* --

- ［キーカスタム設定］メニューの［ADJ. レバー設定 1］～［ADJ. レバー設定 5］または［Fn ボタンペア設定］に、［測光］を登録して使用することもできます。初期設定では、［ADJ. レバー設定 5］に測光が登録されています。（☞P.126、P.128）

露出に関する設定

露出を補正する

［撮影設定］メニューの［露出補正］で画像の明るさを調整できます。

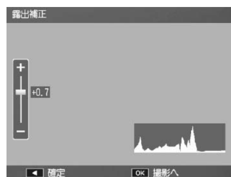
1 ［撮影設定］メニューの［露出補正］を選択し、▶ ボタンを押す

［露出補正］画面が表示されます。

2 ▲▼ ボタンで値を設定する

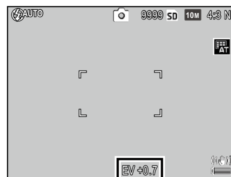
－2.0 ～ +2.0EV の間で設定できます。

この状態で撮影することもできます。



3 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に戻り、設定値が表示されます。



注意 --

- M モード／SCENE モードの［インターバル合成］［動画］では使用できません。

メモ --

- 露出補正は ADJ. レバーや Fn1／Fn2 ボタン、▣/Q ボタンに登録して使用することもできます。初期設定では、▣/Q ボタンに露出補正が登録されています。（☞P.126、P.128、P.130）

ISO 感度を設定する

［撮影設定］メニューの［ISO 感度］で設定します。

AUTO	距離／明るさ／マクロ／画質・サイズによってカメラが自動的に感度を変化させます。
AUTO-HI （高感度設定オート）	［AUTO］よりも感度の上限を高く設定できます。暗い被写体などを撮影した場合、シャッタースピードが［AUTO］より速くなるので、手ブレや被写体振れが起こりにくくなります。 • ［セットアップ］メニューの［ISO AUTO-HI 設定］で、ISO 感度の上限と ISO 感度を切り替えるシャッタースピードを設定できます。
ISO 80 ～ ISO 3200	設定した ISO 感度で撮影します。

 *メモ*

• ［セットアップ］メニューの［ISO 感度ステップ設定］で、ISO 感度の設定ステップを［1 EV］［1/3 EV］から選択できます。設定によって以下の ISO 感度が選択できます。

ISO 感度 ステップ設定	選択できる ISO 感度
1 EV	AUTO／AUTO-HI／ISO 80 ／ISO 100／ISO 200／ISO 400／ISO 800／ISO 1600／ISO 3200
1/3 EV	AUTO／AUTO-HI／ISO 80 ／ISO 100／ISO 125／ISO 160／ISO 200／ISO 250／ISO 320／ISO 400／ISO 500／ISO 640／ISO 800／ISO 1000／ISO 1250／ISO 1600／ISO 2000／ISO 2500／ISO 3200

• ［AUTO］［AUTO-HI］のときは、シャッターボタン半押し時に ISO 感度が表示されます。フラッシュ使用時などは、実際の ISO 感度と異なる場合があります。
• ISO 感度を高くすると、画質が粗くなる場合があります。

- [AUTO] でフラッシュを使用すると、ISO 154 相当の感度になります。フラッシュを使用しない場合の ISO 感度の範囲は次のとおりです。

画質・サイズ	定常感度	最小感度	最大感度
VGA	100	80	283
1M	100	80	238
3M	100	80	176
5M 以上	100	80	154

- ［撮影設定］メニューの［ダイナミックレンジ補正］を設定しているときは、設定できる ISO 感度が制限されます。（☞P.95）
- ［セットアップ］メニューの［ADJ.レバー設定 1］～［ADJ.レバー設定 5］（☞P.126）に［ISO］を登録しておくと、ADJ.レバーの操作で ISO 感度が設定できます。初期設定では、［ADJ.レバー設定 2］に ISO 感度が登録されています。
- [キーカスタム設定] メニューの [ADJ. ISO ダイレクト変更] を [ON] に設定すると、撮影モードで ADJ.レバーを左右に倒すだけで ISO 感度を変更することができます。この場合、P／A モードではシャッターボタン半押し時も ISO 感度が変更できます。

ホワイトバランスを設定する

［撮影設定］メニューの［ホワイトバランス］でホワイトバランスを設定して、白い被写体がどのような光の下でも白く写るように調整を行います。

初期設定では［マルチパターン AUTO］に設定されています。単一色の被写体や、複数の光源下にある被写体を撮影するときなど、ホワイトバランスが思いどおりに表現できない場合には、設定を変更します。

AUTO	自動的に調整します。
マルチパターンAUTO	日向／日陰、フラッシュなど、光源が混在する場合でも、分割した領域ごとの光源に合わせて、カメラが自動的に最適なホワイトバランスを調整します。［初期設定］
屋外	晴天での撮影時に使用します。
曇天	曇天や日影などでの撮影時に使用します。
白熱灯 1／白熱灯 2	白熱灯の下での撮影時に使用します。 ［白熱灯 2］は［白熱灯 1］より赤みを残して撮影します。
蛍光灯	蛍光灯の下での撮影時に使用します。
手動設定	手動設定を行います。（☞P.80）
詳細設定	白熱灯－屋外－曇天に近い設定を含む 16 段階の設定値から選択できます。（☞P.80）

1 ［撮影設定］メニューの［ホワイトバランス］を選択し、▶ボタンを押す

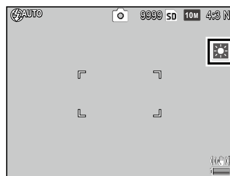
2 ▲▼ボタンで設定を選択する

この状態で撮影することもできます。

［M］［CT］の場合は P.80 を参照してください。

3 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に戻り、画面にマークが表示されます。



 *メモ* --

- ホワイトバランスは ADJ.レバーや Fn1／Fn2 ボタン、▣/Q ボタンに登録して使用することもできます。初期設定では、［ADJ.レバー設定 1］にホワイトバランスが登録されています。（☞P.126、P.128、P.130）

 *注意* --

- 被写体に白色系の部分が少ないと、ホワイトバランスが合わないことがあります。被写体に白色系のものを入れて撮影してください。
- フラッシュを使用して撮影する場合、［AUTO］以外ではホワイトバランスが合わないことがあります。［AUTO］でフラッシュ撮影をしてください。
- 以下の場合は［マルチパターン AUTO］を選択していても［AUTO］で動作します。
  - SCENE モードの［インターバル合成］
  - 連写
  - オートブラケットの［ON ±0.3］［ON ±0.5］

ホワイトバランスを手動設定する

1 ホワイトバランスの［M］を選択する

2 撮影する照明の下で、紙などの白い被写体にカメラを向ける

3 DISP. ボタンを押す

ホワイトバランスが測定され、画面が再表示されます。

4 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に戻ります。



メモ --

- ホワイトバランスを読み取るエリアは、［セットアップ］メニューの［WB 手動設定取込エリア］で［全域］［スポット］から選択できます。
- フラッシュが発光する状態で DISP. ボタンを押すと、フラッシュ発光時のホワイトバランスを測定することができます。

ホワイトバランスを詳細設定する

1 ホワイトバランスの［CT］を選択し、DISP. ボタンを押す

［ホワイトバランス］画面が表示されます。

2 ▲▼ ボタンで値を設定する



3 MENU/OK ボタンを押す

4 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に戻ります。

ホワイトバランスの色調を補正する

［ホワイトバランス］で設定しているホワイトバランスモードの色調を、グリーン／マゼンタ／ブルー／アンバーの色の強さを補正することで微調整します。補正値は、ホワイトバランスモードを変更しても、変更後のホワイトバランスモードに対して同じ値で適用されます。

1 ［撮影設定］メニューの［ホワイトバランス補正］を選択し、▶ ボタンを押す

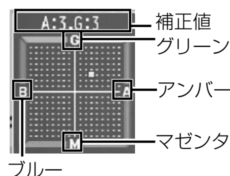
［ホワイトバランス補正］画面が表示されます。

2 ▲▼◀▶ ボタンでポイント位置を調整する

リセットしたい場合は、DISP. ボタンを押します。もう一度 DISP. ボタンを押すと、ホワイトバランス補正がキャンセルされます。

この状態で撮影することもできます。





3 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に戻ります。


メモ --

- ［キーカスタム設定］メニューの［ADJ.レバー設定 1］～［ADJ.レバー設定 5］または［Fn ボタンペア設定］に、［WB 補正］を登録して使用することもできます。（☞P.126、P.128）
- SCENE モードでは、［ダイナミックレンジ］［インターバル合成］［動画］の場合のみ設定できます。
- ［再生設定］メニューの［ホワイトバランス補正］（☞P.111）とは異なる補正値になります。

画質・色を設定する

彩度やコントラストなどを変更してエフェクトをかけた画像が撮影できます。

ビビッド	コントラスト／シャープネス／彩度を［スタンダード］より高くして、硬い感じの画質にします。
スタンダード	通常の画質です。［初期設定］
設定 1／設定 2	［彩度］［コントラスト］［シャープネス］［個別色設定］を設定してオリジナルの画質を設定できます。
白黒	白黒の画像です。 ［コントラスト］［シャープネス］が設定できます。
白黒 (TE)*	白黒画像に色味をつけます。 ［調色］［彩度］［コントラスト］［シャープネス］が設定できます。
ハイコントラスト白黒	［白黒］よりもコントラストを強調して撮影します。超高感度フィルムを使用したり増感現像したようなざらついた印象の画像が撮影できます。 ［コントラスト］［シャープネス］［周辺減光］が設定できます。
クロスプロセス	実際の色とは異なる色合いの画像を撮影します。 ［色調］［コントラスト］［周辺減光］が設定できます。
ポジフィルム調	ポジフィルムで撮影したような彩度の高い画像が撮影できます。 ［彩度］［コントラスト］［シャープネス］［周辺減光］が設定できます。
ブリーチバイパス	彩度を低くし、コントラストを高めにした画像が撮影できます。 ［色調］［コントラスト］［シャープネス］［周辺減光］が設定できます。

＊Toning effect の略

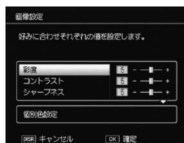
1 ［撮影設定］メニューで［画像設定］を選択し、▶ ボタンを押す

2 ▲▼ ボタンで画像設定を選択する

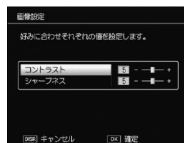
［ビビッド］［スタンダード］を選択した場合は、手順 6 に進みます。

3 ▶ ボタンを押す

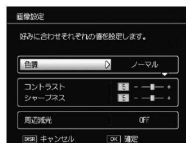
4 ▲▼ ボタンで項目を選択して、◀▶ ボタンで値を設定する



設定 1／設定 2



白黒



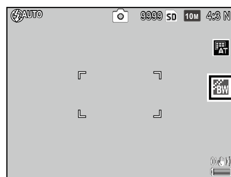
ブリーチバイパス

5 MENU/OK ボタンを押す

設定が完了し、撮影設定メニューに戻ります。

6 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に戻り、画面にマークが表示されます。



1

いろいろな撮影

 **注意**

- RAW ファイルには画像設定は反映されません。［セットアップ］メニューの［RAW 同時記録設定］が［RAW のみ］に設定されている場合は、すべての画像設定が無効になります。
- ［撮影設定］メニューの［画質·サイズ］で RAW を設定している場合、［ハイコントラスト白黒］［クロスプロセス］［ポジフィルム調］［ブリーチバイパス］は無効です。
- ［撮影設定］メニューの［連写］を設定している場合、［ハイコントラスト白黒］は無効です。
- ［ハイコントラスト白黒］［クロスプロセス］［ポジフィルム調］［ブリーチバイパス］に設定したときは、フォーカスモードの［被写体追尾AF］は無効です。
- ［白黒］［白黒 TE］［ハイコントラスト白黒］に設定したときは、オートブラケットの［WB-BKT］は無効です。
- ［ハイコントラスト白黒］に設定したときは、［撮影設定］メニューの［ノイズリダクション］は無効です。

 **メモ**

- ［キーカスタム設定］メニューの［ADJ. レバー設定 1］～［ADJ. レバー設定 5］または［Fn ボタンペア設定］に、［画像設定］を登録して使用することもできます。初期設定では、［ADJ. レバー設定 4］に画像設定が登録されています。（☞P.126）
- ［キーカスタム設定］メニューの［Fn ボタンペア設定］で［カラー→白黒］［カラー→ TE］［カラー→ハイ白黒］［カラー→クロスプロセス］［カラー→ P フィルム調］［カラー→ B バイパス］を設定すると、Fn1／Fn2 ボタンの操作だけで画像設定を切り替えることができます。（☞P.128）

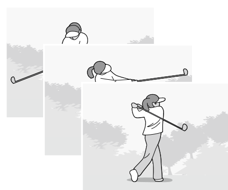
連続して撮影する

連写で撮影する

［撮影設定］メニューの［連写］で設定します。

連写

シャッターボタンを押している間、連続撮影ができます。AF は 1 枚目に固定されます。

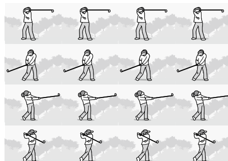


AF 連写

シャッターボタンを押している間、外部 AF センサーを利用してピントを合わせながら連続撮影します。

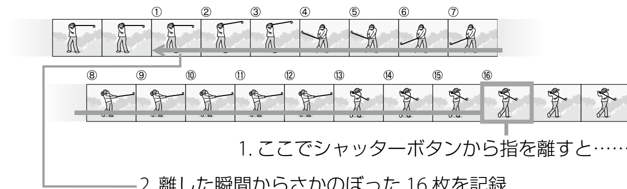
S 連写（ストリーム連写）

シャッターボタンを押しきった瞬間から撮影間隔 1/7.5 秒で 16 枚（約 2 秒間）を連続撮影します。16 枚の静止画を 1 組にして、10M の画像ファイルとして記録します。



M 連写（メモリー逆戻り連写）

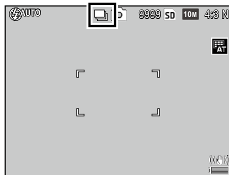
シャッターボタンを押している間、連続撮影を行います。シャッターボタンを離した瞬間からさかのぼった 16 枚（約 2 秒間）の静止画を 1 組にして、10M の画像ファイルとして記録します。



1 いろいろな撮影

連写を設定すると、画面にマークが表示されます。

通常の撮影に戻したいときは、［連写］を［OFF］に設定します。





メモ

- ［撮影設定］メニューの［ホワイトバランス］（☞P.78）が［マルチパターン AUTO］に設定されている場合は、[AUTO] で動作します。
- ［S 連写］［M 連写］のときは、［セットアップ］メニューの［デジタルズーム切替］（☞P.130）を［オートリサイズ］に設定していても、［通常］で動作します。
- ［S 連写］［M 連写］のときは、［撮影設定］メニューの［ISO 感度］（☞P.76）の [ISO 80] ～［ISO 250］は ISO AUTO で動作します。
- ［M 連写］でシャッターボタンを押してから 2 秒以内にシャッターボタンを離した場合は、記録される撮影枚数は 16 枚より少なくなります。
- フラッシュは発光禁止になります。
- 連写時は、フォーカスと露出値が固定されます。
- 連写を使って撮影するときの連続記録可能枚数は、画像サイズによって異なります。
- 連写の最大連続撮影可能枚数は、999 枚です。残り記録枚数が 1000 枚以上ある場合でも、画像モニターには「999」と表示されます。
- ［セットアップ］メニューの［カード連続 NO.］を［ON］に設定している場合（☞P.133）、連写撮影中にファイル番号の下 4 桁が「9999」を超えると、メモリーカード内に別フォルダが作成されて連写が継続されます。
- ［キーカスタム設定］メニューの［ADJ.レバー設定 1］～［ADJ.レバー設定 5］または［Fn ボタンペア設定］に、［連写］を登録して使用することもできます。（☞P.126、P.128）

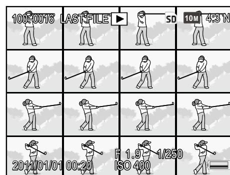
S 連写／M 連写の画像を確認する

［S 連写］［M 連写］で撮影した 16 枚 1 組の画像ファイルを表示しているときに、その中の 1 枚を拡大表示できます。

1 ▶ ボタンを押す

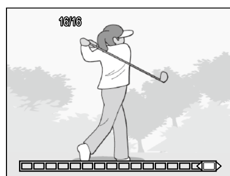
再生モードになり、最後に撮影または再生したファイルが表示されます。

2 S 連写／M 連写の画像を表示する



3 Q ボタンを押す

連写した先頭の 1 コマが拡大表示されます。画像モニターの下部にはコマ位置を示すバーが表示されます。



以下の操作ができます。

◀▶ ボタン	コマ移動
DISP. ボタン	バー表示→グリッドガイド表示→表示なし
MENU/OK ボタン	16 枚表示

設定を変化させて連続撮影する（オートブラケット）

［撮影設定］メニューの［オートブラケット］では、露出値やホワイトバランスなどを変化させて連続して撮影します。

BKT AE ON ±0.3	露出差を –0.3 EV／± 0／+0.3 EV の 3 段階で撮影します。
BKT AE ON ±0.5	露出差を –0.5 EV／± 0／+0.5 EV の 3 段階で撮影します。
BKT WB WB-BKT	設定されているホワイトバランスの値よりも、赤みがかった画像／現在の設定／青みがかった画像の 3 枚を記録します。
BKT IMAGE 画像設定 BKT	画像設定を変更した画像を 3 枚撮影します。2 枚目／3 枚目の画像設定をそれぞれ選択します。
BKT DR DR-BKT	ダイナミックレンジ補正を OFF／弱／強に変更した画像を撮影します。
BKT CONT CONTRAST-BKT	コントラストを変化させた画像を撮影します。

 ***注意*** --

- ［撮影設定］メニューの［連写］を設定している場合は使用できません。
- ［撮影設定］メニューの［画質･サイズ］が RAW のときは、[ON ±0.3]［ON ±0.5］のみ選択できます。
- ［撮影設定］メニューの［画像設定］を［白黒］［白黒 (TE)］［ハイコントラスト白黒］に設定している場合、[WB-BKT] は使用できません。
- フラッシュは発光禁止になります。

露出値を変化させて連続撮影する

1 [撮影設定] メニューの [オートブラケット] で [ON ±0.3] [ON ±0.5] を選択し、▶ ボタンを押す

[AE ブラケット設定] 画面が表示されます。

2 ◀▶ ボタンで 1 ~ 3 枚目を選択し、▲▼ ボタンで露出値を設定する



3 MENU/OK ボタンを押す

設定が完了し、[撮影設定] メニューに戻ります。

 ***注意*** --

- [撮影設定] メニューの [ホワイトバランス] (☞P.78) が [マルチパターン AUTO] に設定されている場合は、[AUTO] で動作します。

 ***メモ*** --

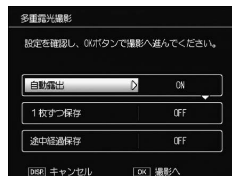
- [キーカスタム設定] メニューの [ADJ. レバー設定 1] ~ [ADJ. レバー設定 5] または [Fn ボタンペア設定] に、[オートブラケット] を登録して使用することもできます。(☞P.126、P.128)

画像を合成しながら撮影する（多重露光撮影）

画像を合成しながら撮影します。最大で 5 枚の画像を合成することができます。

1 ［撮影設定］メニューの［多重露光撮影］を選択し、▶ ボタンを押す

2 ▲▼ ボタンで項目を選択し、［ON］［OFF］を設定する



以下の設定を行います。

自動露出	［OFF］露光量を調整しません。 ［ON］撮影枚数に応じて露光量を調整しながら合成します。
1 枚ずつ保存	［OFF］最終的な合成画像のみ保存します。 ［ON］合成されていない各画像を保存します。
途中経過保存	［OFF］最終的な合成画像のみ保存します。 ［ON］合成ごとに画像を保存します。

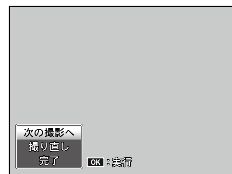
3 MENU/OK ボタンを押す

画面に［多重露光撮影］と表示されます。

4 1 枚目の画像を撮影する

5 次の画像を撮影するときは［次の撮影へ］を選択し、MENU/OK ボタンを押す

撮影をやり直す場合［撮り直し］を選択します。



1
いろいろな撮影

6 次の画像を撮影する

手順 5 ～ 6 を繰り返します。

1 つ前の合成画像に戻るときは［撮り直し］を選択します。多重露光撮影を終了するときは［完了］を選択します。

5 枚の撮影が終わったときまたは［完了］を選択すると、合成された画像が保存されます。

 **注意** ---

- SCENE モードのときと連写が設定されているときは、多重露光撮影はできません。
- 多重露光撮影では、以下の機能は使用できません。
  - 連写
  - デジタルズーム
  - オートブラケット
  - インターバル撮影
- 撮影の途中で画像設定を変更することはできません。

 **メモ** ---

- ［キーカスタム設定］メニューの［Fn ボタンペア設定］に、［多重露光撮影］を登録して使用することもできます。その場合は、Fn1／Fn2 ボタンを押すと、多重露光撮影が開始されます。（☞P.128）

一定間隔で自動撮影する（インターバル撮影）

設定した時間間隔で、自動的に撮影します。
時間間隔は、5 秒～ 1 時間の間で 5 秒単位で設定できます。

1 ［撮影設定］メニューの［インターバル撮影］を選択し、▶ ボタンを押す

［インターバル撮影］画面が表示されます。

2 ◀▶ ボタンで時間／分／秒を選択し、▲▼ ボタンで値を設定する



3 MENU/OK ボタンを押す

画面に［インターバル］と表示されます。

4 シャッターボタンを押して撮影する

設定した間隔で、次々と撮影されます。

5 撮影を終了するときは、MENU/OK ボタンを押す

 ***注意*** --

- 撮影の設定によって、次の撮影が可能になるまでの時間がインターバル撮影の設定時間よりも長くなることがあります。その場合、設定した時間よりも撮影間隔が長くなります。
- SCENE モードでは、インターバル撮影はできません。

 ***メモ*** --

- インターバル撮影は、電源をオフにすると解除されます。
- 十分に残量のある電池または AC アダプター（別売り）のご使用をお勧めします。
- インターバル撮影中でも、シャッターボタンを押すと通常の撮影ができます。
- インターバル撮影を設定すると、連写は［OFF］に切り替わります。
- 十分に空き容量のあるメモリーカードまたは高速メモリカードのご使用をお勧めします。残り記録枚数が 0 になると、インターバル撮影は中止されます。

フラッシュに関する設定

フラッシュの光量を調整する

フラッシュの光量を –2.0 ～ +2.0 EV の間で、1/3 EV 間隔で調整できます。

1 ［撮影設定］メニューの［フラッシュ調光補正］を選択し、▶ボタンを押す

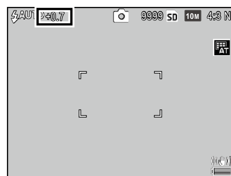
［フラッシュ調光補正］画面が表示されます。

2 ▲▼ ボタンで値を設定する



3 MENU/OK ボタンを押す

設定値が表示されます。



 **注意** --

- フラッシュの撮影距離範囲外（☞P.37）では補正されない場合があります。

 **メモ** --

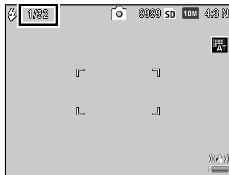
- ［キーカスタム設定］メニューの［ADJ.レバー設定 1］～［ADJ.レバー設定 5］または［Fn ボタンペア設定］に、［調光補正］を登録して使用することもできます。（☞P.126、P.128）

マニュアル発光の発光量を設定する

フラッシュモードを［マニュアル発光］に設定した場合、発光量は自動で調整されません。［撮影設定］メニューの［フラッシュマニュアル発光量］で、内蔵フラッシュの発光量を設定できます。

最大発光量に対して、[FULL] [1/1.4] [1/2] [1/2.8] [1/4] [1/5.6] [1/8]［1/11］［1/16］［1/22］［1/32］［1/64］が選択できます。

フラッシュマニュアル発光量を設定すると、画面に設定値が表示されます。





メモ --

- フラッシュモードが［マニュアル発光］の場合は、［フラッシュマニュアル発光量］の設定値が有効となり、［フラッシュ調光補正］の設定値は無効になります。
- ［フラッシュマニュアル発光量］の設定値と実際の発光量は異なる場合があります。
- ［キーカスタム設定］メニューの［ADJ.レバー設定 1］～［ADJ.レバー設定 5］または［Fn ボタンペア設定］に、［マニュアル発光］を登録して使用することもできます。（☞P.126、P.128）

フラッシュ発光のタイミングを設定する

［撮影設定］メニューの［フラッシュシンクロ設定］で、フラッシュが発光するタイミングを設定できます。

先幕	露光開始直後にフラッシュが発光します。［初期設定］
後幕	露光終了直前にフラッシュが発光します。 先に通常光部分を露光し、露光が終わる直前のタイミングで発光します。動いている被写体を低速のシャッタースピードで撮影するときなどに、光跡や被写体の軌跡をより自然に表現できます。

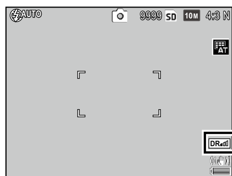
画像を補正して撮影する

ダイナミックレンジを補正する

［撮影設定］メニューの［ダイナミックレンジ補正］で、画像の階調を広げて明るい部分から暗い部分まで表現できるようにします。

［OFF］［弱］［中］［強］が選択できます。

ダイナミックレンジ補正を設定すると、画面にマークが表示されます。



 *注意* ---

- ダイナミックレンジ補正を設定すると、設定できるISO感度が制限されます。

設定	最小感度	最大感度
弱	ISO 125	ISO 2500
中	ISO 160	ISO 1600
強	ISO 200	ISO 1250

- ［強］に設定すると、画像にノイズが発生しやすくなります。
- デジタルズームを使用すると、ダイナミックレンジ補正は無効になります。
- 多重露光撮影では、ダイナミックレンジ補正は使用できません。
- 撮影場所が明るすぎたり暗すぎたりする場合、ダイナミックレンジ補正の効果が出ない場合があります。

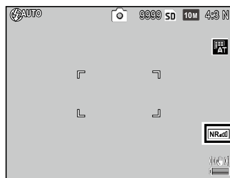
 **メモ** ---

- ダイナミックレンジ補正を利用するときは、測光モード（☞P.74）を［マルチ］に設定することを推奨します。
- ダイナミックレンジ補正は RAW 画像にも反映されます。
- ［キーカスタム設定］メニューの［ADJ. レバー設定 1］～［ADJ. レバー設定 5］または［Fn ボタンペア設定］に、［D レンジ補正］を登録して使用することもできます。（☞P.126、P.128）

ノイズを軽減する

［撮影設定］メニューの［ノイズリダクション］で、静止画撮影時に画像のノイズ軽減処理を行います。［OFF］［弱］［強］［MAX］が選択できます。

ノイズリダクションを設定すると、画面にマークが表示されます。



ノイズリダクションを適用する ISO 感度は、［撮影設定］メニューの［ノイズリダクション ISO 設定］で［すべて］［ISO 201 以上］［ISO 401 以上］［ISO 801 以上］［ISO 1601 以上］から設定します。

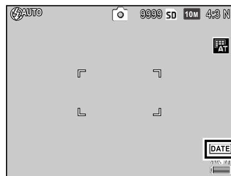
 **メモ** ---

- JPEG ファイルはノイズリダクションの設定に応じた画質になります。RAW ファイルの画質は、ノイズリダクションの設定に影響されません。
- ノイズリダクションの設定によって、画像の記録完了までの時間が異なります。

静止画に日付を入れる

［撮影設定］メニューの［日付入れ撮影］で［日付］［日時］を選択すると、静止画の右下に日付（年／月／日）または日時（年／月／日 時:分）を入れて撮影できます。

日付入れ撮影を有効にすると、画面にマークが表示されます。

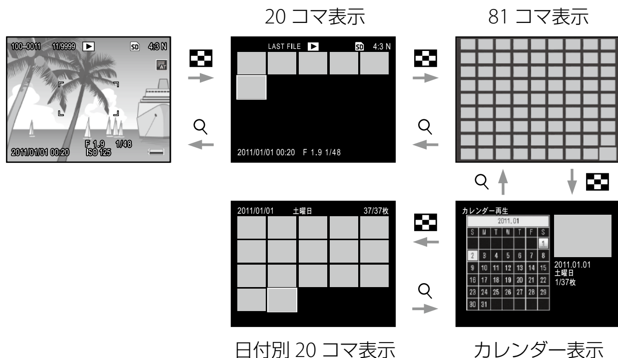



注意 --

- 日付･時刻が設定されていない場合、［日付入れ撮影］はできません。あらかじめ日付・時刻を設定してください。（☞P.29）
- 動画に日付は入れられません。
- RAW モードで撮影した場合は、同時記録される JPEG ファイルにのみ日付が入ります。
- 画像に入れた日付は削除できません。

一覧表示する

再生モードで ⊞/🔍 ボタンを押すと、複数の画像を一覧表示することができます。



以下の操作ができます。

▲▼◀▶ ボタン	画像選択
ADJ. レバー	選択画像を 1 画面表示
DISP. ボタン	1 画像選択画面→ページ送り画面切り替え

スライドショーで表示する

撮影した画像を、順番に表示します。

［再生設定］メニューの［スライドショー］で ▶ ボタンを押すと、スライドショーが開始します。

途中で中止したいときには、カメラのいずれかのボタンを押します。中止するまで、繰り返しスライドショーが表示されます。

 *メモ* --

- 静止画は 3 秒間ずつ表示されます。
- 動画は撮影した内容がすべて表示されてから次の画像が表示されます。

動画を再生する

1 ▶ ボタンを押す

最後に撮影または再生した画像が表示されます。

動画の場合は、最初の 1 フレームが静止画で表示されます。

2 見たい動画を選択する

マークがついているファイルが動画ファイルです。



3 ADJ. レバーを押す

再生が始まります。

画像モニターに、再生経過を示すインジケーターと経過時間が表示されます。



2

いろいろな再生

以下の操作ができます。

一時停止／再生	ADJ. レバーを押す
早送り	再生中に Q ボタンを押し続ける
巻き戻し	再生中に ▦ ボタンを押し続ける
スロー再生	一時停止中に Q ボタンを押し続ける
スロー戻し	一時停止中に ▦ ボタンを押し続ける
次フレーム表示	一時停止中に Q ボタンを押す
前フレーム表示	一時停止中に ▦ ボタンを押す
音量調節	再生中／一時停止中に ▲▼ ボタンを押す

拡大表示する

Q ボタン／アップダウンダイヤル／ ADJ. レバーのいずれかの操作で、静止画を拡大表示できます。ADJ. レバーを押すと［セットアップ］メニューの［ワンプッシュ拡大表示倍率］で設定した倍率（5.7 倍／ 9.8 倍／ 16 倍）に拡大して表示します。

以下の操作ができます。

Q/▦ ボタン	1 段階拡大／縮小します。▲▼◀▶ ボタンで表示箇所を移動できます。
アップダウンダイヤル	右に回すと拡大、左に回すと縮小します。
ADJ. レバー	ADJ. レバーを倒すと、拡大表示したまま前後の画像を表示します。動画／S 連写／M 連写を表示すると等倍に戻ります。
MENU/OK ボタン	静止画を［ワンプッシュ拡大表示倍率］で設定した倍率で拡大します。

 メモ

- 拡大表示の最大倍率は、画像サイズによって異なります。

画像サイズ	最大倍率
10M／9M／7M／8M／5M／3M	16 倍
1M	6.7 倍
VGA／RAW *	3.4 倍

＊[セットアップ] メニューの [RAW 同時記録設定] が [RAW のみ] の場合

- [キーカスタム設定] メニューの [再生モードダイヤル設定] で、再生モード時のアップダウンダイヤルと ADJ.レバーの機能を変更できます。[設定 1] または [設定 2] を選択します。

	アップダウンダイヤル	ADJ. レバー
設定 1 [初期設定]	拡大表示	拡大コマ送り
設定 2	拡大位置上下移動	拡大位置左右移動

ファイルを整理する

削除する

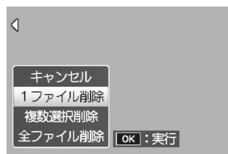
1 ファイルを削除する

1 再生モードで削除したい画像を表示する

2 🗑 ボタンを押す

3 ▲▼ ボタンで［1 ファイル削除］を選択する

◀▶ ボタンでファイルを変更できます。



4 MENU/OK ボタンを押す

削除が完了すると、手順 3 の画面に戻ります。

すべてのファイルを削除する

1 再生モードで 🗑 ボタンを押す

2 ▲▼ ボタンで［全ファイル削除］を選択して MENU/OK ボタンを押す

削除の確認画面が表示されます。

3 ▶ ボタンで［はい］を選択し、MENU/OK ボタンを押す

複数のファイルを一度に削除する

1 再生モードで 🗑 ボタンを押す

20 コマ／81 コマ／カレンダー／日付別 20 コマ表示にしていた場合は、手順 3 に進みます。

2 ［複数選択削除］を選択し、MENU/OK ボタンを押す

3 ［1 枚ずつ指定］［範囲を指定］を選択し、MENU/OK ボタンを押す

4 ▲▼◀▶ ボタンでファイルを選択して MENU/OK ボタンを押す

［範囲を指定］の場合は、始点のファイルを選択します。

ファイルの左上にゴミ箱のマークが表示されます。

ADJ. レバーを押すと、［1 枚ずつ指定］［範囲を指定］が切り替わります。

［1 枚ずつ指定］の場合は、手順 6 に進みます。



5 ▲▼◀▶ ボタンで終点のファイルを選択して MENU/OK ボタンを押す

手順 4 ～ 5 を繰り返して、範囲をすべて指定します。

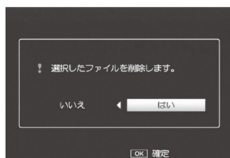
間違えて選択したときは、ADJ. レバーを押して 1 ファイルずつ指定する画面に戻り、ファイルを選択して MENU/OK ボタンを押すと解除できます。



6 🗑 ボタンを押す

7 ◀▶ ボタンで［はい］を選択し、MENU/OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、削除が完了すると、一覧の画面に戻ります。



2
いろいろな再生

プロテクトを設定する

［再生設定］メニューの［プロテクト］では、ファイルを誤って削除しないように保護（プロテクト）できます。

 **注意** --

- ［セットアップ］メニューの［初期化］を行うと、プロテクトされた画像も削除されます。

1 ファイルをプロテクトする

1 再生モードでプロテクトしたい画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

［再生設定］メニューが表示されます。

2 ［プロテクト］を選択し、▶ ボタンを押す

3 ［1 ファイル］を選択する

◀▶ ボタンでファイルを変更できます。

4 MENU/OK ボタンを押す

プロテクトが設定され、画面にマークが表示されます。

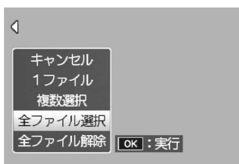
プロテクトした画像に同じ操作を行うと、プロテクトが解除されます。



全ファイルをプロテクト／解除する

1 ［再生設定］メニューで［プロテクト］を選択し、▶ ボタンを押す

2 ［全ファイル選択］［全ファイル解除］を選択して MENU/OK ボタンを押す



複数のファイルを一度にプロテクトする

1 ［再生設定］メニューで［プロテクト］を選択し、▶ボタンを押す

20コマ／81コマ／カレンダー／日付別20コマ表示にしていた場合は、手順3に進みます。

2 ［複数選択］を選択してMENU/OKボタンを押す

3 ［1枚ずつ指定］［範囲を指定］を選択し、MENU/OKボタンを押す

4 ▲▼◀▶ボタンでファイルを選択してMENU/OKボタンを押す

［範囲を指定］の場合は、始点のファイルを選択します。

プロテクトを解除する場合は、もう一度MENU/OKボタンを押します。

ADJ.レバーを押すと、［1枚ずつ指定］［範囲を指定］が切り替わります。

［1枚ずつ指定］の場合は、手順6に進みます。

5 ▲▼◀▶ボタンで終点のファイルを選択してMENU/OKボタンを押す



手順4～5を繰り返して、範囲をすべて指定します。

すでにプロテクトが設定されているファイルを選択すると、プロテクトが解除されます。

6 Fn2ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、設定が完了すると、一覧の画面に戻ります。

内蔵メモリーの画像をカードへコピーする

内蔵メモリーに記録した静止画や動画をメモリーカードへコピーします。

1 メモリーカードをセットする

2 ［再生設定］メニューの［内蔵メモリーからカードへコピー］を選択し、▶ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、コピーが完了すると、再生画面に戻ります。

注意 --

- コピー先のメモリーカードの容量が足りない場合には、容量不足を示すメッセージが表示されます。容量に収まる枚数だけコピーする場合は［はい］、コピーを取り消す場合は［いいえ］を選択してMENU/OKボタンを押します。
- メモリーカードから内蔵メモリーへコピーすることはできません。

補正・加工する

撮影した画像を補正・加工し、新規ファイルとして保存します。

注意 --

- 補正・加工ができるのは、10M 以下の静止画のみです。動画は補正・加工できません。

画像サイズを縮小する

［再生設定］メニューの［画像サイズ変更］では、静止画の画像サイズを縮小し、1M 4:3 F または VGA 4:3 F の画像を新規保存します。アスペクト比が3:2／1:1／16:9で撮影された画像の場合は、上下または左右が黒く表示された画像になります。

注意 --

- RAWモードで撮影した画像は、画像サイズを変更できません。

トリミングする

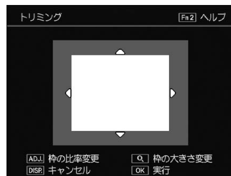
画像の周囲を切り取って保存します。

1 再生モードでトリミングしたい画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

［再生設定］メニューが表示されます。

2 ［トリミング］を選択し、▶ ボタンを押す

3 トリミングする範囲を指定する



以下の操作ができます。

⊞/Q ボタン	トリミングサイズ変更
▲▼◀▶ ボタン	トリミング枠の移動
ADJ. レバー	トリミング枠のアスペクト比を変更（4:3／1:1）
Fn2 ボタン	操作方法説明画面を表示

4 MENU/OK ボタンを押す

トリミングされた画像が新規保存されます。

注意 --

- トリミングできるのは、本カメラで撮影した静止画のみです。
- RAW モードで撮影した画像は、トリミングできません。
- トリミングを繰り返し実行すると、画質が劣化します。

メモ --

- トリミングした画像の圧縮率は、すべて Fine になります。
- 指定できるトリミング枠の大きさは、元画像のサイズによって異なります。
- トリミング後の画像サイズは、元画像のサイズとトリミング枠の大きさによって異なります。

斜めから撮影した画像を補正する

斜め方向から撮影した掲示板や名刺などの四角い被写体を、正面から撮影したような画像に変換します。

1 再生モードで補正したい画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

［再生設定］メニューが表示されます。

2 ［斜め補正］を選択し、▶ ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、補正対象として認識した最大 5 つのエリアがオレンジ色の枠で表示されます。

エリアが検出できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

以降の操作は、SCENE モードの［斜め補正］と同様です。P.63 の手順 2 ～ 3 を参照してください。

注意

- 斜め補正ができるのは、本カメラで撮影した静止画のみです。S 連写／M 連写で撮影した画像は補正できません。
- RAW モードで撮影した画像は、同時記録された JPEG ファイルのみ補正されます。

メモ

- 斜め補正しても、画像サイズは変わりません。
- 画像サイズが大きい場合は、補正処理に時間がかかります。斜め補正の前に画像のサイズを変更（☞P.106）しておくと、処理速度を早くできます。
- SCENE モードの［斜め補正］（☞P.63）では、撮影直後に画像を斜め補正できます。

明度・コントラストを補正する

撮影した静止画の明度やコントラストを補正します。

1 再生モードで補正したい画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

［再生設定］メニューが表示されます。

2 ［レベル補正］を選択し、▶ ボタンを押す

3 ［AUTO］［MANUAL］を選択し、▶ ボタンを押す

左上に元画像、右に補正画像が表示されます。

レベル補正できないファイルを選択すると、エラーメッセージが表示されて［再生設定］メニューに戻ります。

［AUTO］を選択した場合は、手順 6 に進みます。

4 ADJ. レバーでヒストグラムのポイントを切り替える

ヒストグラムの縦軸は画素数、横軸は左からシャドー・中間調・ハイライトを表しています。ADJ. レバーを押すと、左端・中央・右端のポイントを切り替えられます。



ポイント

この画面で Fn2 ボタンを押すと、操作方法の説明画面が表示されます。再度 Fn2 ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

5 ◀▶ ボタンでポイント位置を調整する

6 MENU/OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、補正後の画像が新規保存されます。

 *補正例*

全体的な明るさを調整したい場合：



- 中央のポイントを左に移動すると全体的に明るくなり、右に移動すると全体的に暗くなります。

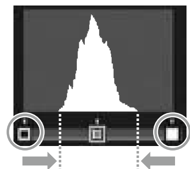
露出オーバーまたは露出アンダーの画像を補正したい場合：



露出オーバーの場合

- 露出オーバーの場合は、左側のポイントを右に移動し、ヒストグラムの山の左端に合わせます。
- 露出アンダーの場合は、右側のポイントを左に移動し、ヒストグラムの山の右端に合わせます。
- この状態で中央のポイントを左右に移動すると、全体的な明るさを調整できます。

コントラストをはっきりさせたい場合：



- ヒストグラムの山が中央寄りに集中しています。左右のポイントを移動してそれぞれヒストグラムの両端に合わせると、明るい部分と暗い部分がはっきりした画像になります。
- この状態で中央のポイントを左右に移動すると、全体的な明るさを調整できます。

 *注意*

- レベル補正ができるのは、本カメラで撮影した静止画のみです。S連写／M連写で撮影した画像は補正できません。
- ［撮影設定］メニューの［画像設定］を［白黒］［白黒 (TE)］に設定して撮影した画像は、補正効果がない場合があります。
- レベル補正を繰り返し実行すると、画質が劣化します。

ホワイトバランスを補正する

静止画の色調を、グリーン／マゼンタ／ブルー／アンバーの色合いに補正して記録できます。

1 再生モードで補正したい画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

［再生設定］メニューが表示されます。

2 ［ホワイトバランス補正］を選択し、▶ ボタンを押す

［ホワイトバランス補正］画面が表示されます。

補正できないファイルを選択すると、エラーメッセージが表示されて［再生設定］メニューに戻ります。

3 ▲▼◀▶ でポイント位置を調整する



リセットしたい場合は、DISP. ボタンを押します。もう一度 DISP. ボタンを押すと、ホワイトバランス補正がキャンセルされます。

この画面で Fn2 ボタンを押すと、操作方法の説明画面が表示されます。再度 Fn2 ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

4 MENU/OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、補正後の画像が新規保存されます。

 ***注意*** ---

- ホワイトバランス補正ができるのは、本カメラで撮影した静止画のみです。S 連写／M 連写で撮影した画像は補正できません。
- ［撮影設定］メニューの［画像設定］を［白黒］［白黒 (TE)］［ハイコントラスト白黒］に設定して撮影した画像は、補正効果がない場合があります。
- ホワイトバランス補正を繰り返し実行すると、画質が劣化します。

AV 機器で再生する

テレビ等の AV 機器に接続して画像を再生することができます。

注意 --

- カメラと AV 機器を接続している間は、カメラの操作音は鳴りません。また AV ケーブル／HDMI ケーブルで接続しているときは、画像モニターは表示されません。
- AV ケーブル／HDMI ケーブルで接続中は、ケーブルを持ったままカメラを動かさないでください。

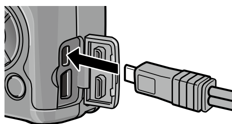
ビデオ端子に接続する

別売りの AV ケーブル（AV-1）を使用して、ビデオ端子を備えた AV 機器に接続します。

1 AV 機器のビデオ入力端子に AV ケーブルを接続する

2 カメラの電源がオフになっていることを確認する

3 端子カバーを開け、USB・AV OUT 兼用端子に AV ケーブルを接続する



4 AV 機器の入力切換で、カメラを接続した端子に設定する

詳しくは AV 機器の説明書を参照してください。

5 カメラの POWER ボタンを押す

メモ --

- 国内の AV 機器のビデオ方式は、NTSC 方式（日本などで使用されている方式）に設定されています。接続する機器が PAL 方式（ヨーロッパなどで使用されている方式）の場合は、［セットアップ］メニューの［ビデオ方式］で PAL 方式に設定してから接続します。ご購入時の設定は、国や地域によって異なります。

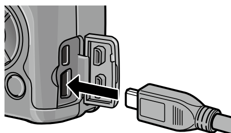
HDMI 端子に接続する

別売りの HDMI ケーブル（HC-1）を使用して、HDMI 端子を備えた AV 機器に接続します。

1 AV 機器の HDMI 端子に HDMI ケーブルを接続する

2 カメラの電源がオフになっていることを確認する

3 端子カバーを開け、HDMI マイクロ出力端子に HDMI ケーブルを接続する



4 AV 機器の入力切換で、カメラを接続した端子に設定する

詳しくは AV 機器の説明書を参照してください。

5 カメラの POWER ボタンを押す

 *メモ* --

- HDMI ケーブルの取り付け／取り外しを行うと、1 コマ表示になります。
- HDMI 出力時の解像度は［AUTO］に設定されています。AV 機器に表示される画像の解像度が低い場合は、［セットアップ］メニューの［HDMI 出力］で設定を変更してください。

DPOFを設定する

メモリーカードに記録した静止画は、プリントサービス取り扱い店やプリンターで印刷ができます。

1 再生モードで設定したい画像を表示してMENU/OKボタンを押す

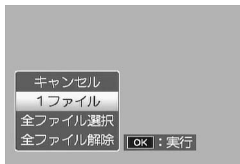
［再生設定］メニューが表示されます。

2 ［DPOF］を選択し、▶ボタンを押す

3 ［1ファイル］［全ファイル選択］を選択する

［1ファイル］の場合は、◀▶ボタンでファイルを選択できます。

［全ファイル解除］を選択すると、全ファイルのDPOF設定を解除できます。



4 MENU/OKボタンを押す

DPOFが設定され、画面にDPOF設定を示すマークが表示されます。

注意 --

- RAWモードで撮影した画像は、同時記録されたJPEGファイルのみDPOFが設定されます。
- 内蔵メモリーに記録されている画像には、DPOFを設定できません。

複数の静止画に DPOF を設定する

複数の画像を指定したり、印刷枚数を指定するときは、一覧表示の状態で設定します。

1 再生モードで ⊞ ボタンを押す

20 コマ表示になります。

2 ［再生設定］メニューで［DPOF］を選択し、▶ ボタンを押す

3 ◀▶ ボタンで設定したい静止画を選択し、▲▼ ボタンで印刷枚数を指定する

DPOF 設定を示すマークが表示されます。

4 MENU/OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、設定が完了すると 20 コマ表示に戻ります。

 *メモ* --

- DPOF 設定を解除するときは、解除したいファイルの印刷枚数を［0］に指定して MENU/OK ボタンを押します。

プリンターに接続して印刷する

カメラとプリンターを USB ケーブルで接続して、カメラ内の静止画を直接プリンターから印刷できます。

 *注意* --

- 動画は印刷できません。
- RAW モードで撮影した画像は、同時記録された JPEG ファイルが印刷されます。

 *メモ* --

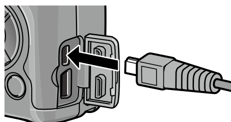
- 本カメラでは、ダイレクトプリントの統一規格である PictBridge（ピクトブリッジ）を採用しています。ダイレクトプリント機能を使うには、プリンターが PictBridge に対応している必要があります。ご使用のプリンターの説明書でご確認ください。
- プリンターによっては、［セットアップ］メニューの［USB 接続］を［PTP］に設定する必要があります。

カメラとプリンターを接続する

カメラとプリンターの接続には、付属の USB ケーブルを使用します。

1 カメラの電源がオフになっていることを確認する

2 端子カバーを開け、USB ケーブルで USB・AV OUT 兼用端子とプリンターを接続する



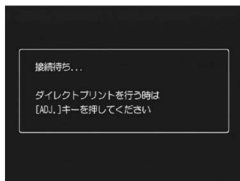
3 ADJ. レバーを押す

4 プリンターの電源をオンにする

カメラの電源が自動的にオンになります。

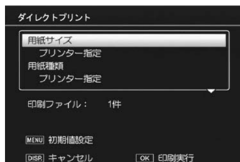
5 ［接続待ち. . .］画面が表示されたら、2 秒以内に ADJ. レバーを押す。

プリンターによっては、2 秒以上経過すると［PC 接続中 ...］と点滅表示され、カメラの操作ができなくなります。この場合は電源をオフにして、手順 1 からやり直してください。



［ダイレクトプリント］画面が表示されます。

［接続中・・・］と表示されている間は、プリンターとの接続が完了していません。



 ***注意*** --

- USB ケーブルで接続中は、ケーブルを持ったままカメラを動かさないでください。
- USB ケーブルを外すときは、印刷終了後にカメラの電源がオフになったことを確認してから外してください。

静止画を印刷する

PictBridge 対応プリンターで静止画を印刷します。

 ***注意*** --

- 印刷が完了するまで USB ケーブルを外さないでください。
- 送信中に［プリンターエラー］のメッセージが表示された場合は、プリンターの状態を確認してください。

1 ファイル／全ファイルを印刷する

1 ［ダイレクトプリント］画面で ◀▶ ボタンを押して印刷したい静止画を表示する

2 ADJ. レバーを押し、［1 ファイル］［全ファイル］を選択する

3 MENU/OK ボタンを押す

ダイレクトプリントのメニューが表示されます。

4 ▲▼ ボタンで項目を選択し、▶ ボタンで詳細項目を表示する

選択できる項目は以下のとおりです。［プリンター指定］を選択すると、プリンター側の設定値（初期値）で印刷されます。



用紙サイズ	用紙のサイズを設定します。
用紙種類	用紙の種類を設定します。
レイアウト	1 枚に印刷するコマ数を設定します。1 枚にレイアウトできるコマ数は、接続するプリンターによって異なります。
日付印字	日付（撮影日）の印字の有無を設定します。日付の書式は、［セットアップ］メニューの日時設定で設定した書式になります。［日付入れ撮影］（☞P.97）を設定したファイルは、印刷時に日付印字を［OFF］にして印刷されます。
ファイル名印字	ファイル名を印刷するかを設定します。
印刷補正	画像データをプリンター側で最適化して印刷するかを設定します。

画像印刷サイズ	印刷する画像のサイズを設定します。
印刷品質	印刷品質を設定します。
帳票印刷 *	帳票印刷を行います。
印刷部数	印刷部数を設定します。
トナーセーブ *	印刷を薄めにして、トナーを節約するかを設定します。
片面／両面 *	両面で印刷するかを設定します。両面印刷をする場合は、各静止画の印刷枚数は 1 枚となります。

＊各項目に対応しているリコープリンターと接続しているときのみ有効です。リコーのプリンターについての最新情報は、弊社ホームページ（http://www.ricoh.co.jp/office/）をご覧ください。

5 詳細項目を設定し、MENU/OK ボタンを押す

ダイレクトプリントのメニューに戻ります。

手順 4 ～ 5 を繰り返して、変更したい項目の値を設定します。

6 MENU/OK ボタンを押す

静止画がプリンターに送られ、［送信中 ...］画面が表示されます。

送信を中断したい場合には、DISP. ボタンを押します。

送信が完了するとプリンターで印刷が開始され、カメラはダイレクトプリント再生モード画面に戻ります。

複数のファイルを印刷する

1 ［ダイレクトプリント］画面で ▦ ボタンを押す

20 コマ表示になります。

2 印刷したい画像を選択して、MENU/OK ボタンを押す

3 ▲▼ ボタンで印刷枚数を指定する

印刷する画像には 🖨 が表示されます。



4 MENU/OK ボタンを押す

ダイレクトプリントのメニューが表示されます。

以降の操作は、「1 ファイル／全ファイルを印刷する」の手順 4 〜 6 と同様です。



帳票印刷

- ［帳票印刷］は、［用紙サイズ］を［A4］に設定し、PictBridge に対応しているリコーのプリンターと接続しているときのみ有効です。
- 選択できるレイアウトは、接続するプリンターによって異なります。レイアウトはプリンターの説明書をご覧ください。

カメラをカスタマイズする

Fn. ボタンや ADJ. レバーの機能を変更してカメラを使いやすくしたり、モードダイヤル MY1／MY2／MY3 に設定を登録することができます。

撮影設定を登録する（マイセッティング）

現在のカメラの設定を「マイセッティング」として登録し、自分好みの設定を簡単に呼び出して撮影できます。

設定は以下の場所に登録できます。

MY1／MY2／MY3	モードダイヤルの MY1／MY2／MY3 に登録します。
マイセッティング BOX	カメラに 12 種類の設定が登録できます。
カード	セットされているメモリーカードに 6 種類の設定が登録できます。

［マイセッティング BOX］［カード］に登録した内容は、［マイセッティング呼び出し］（☞P.122）で［MY1］［MY2］［MY3］に割り付けて使用します。また、登録した設定には名前を付けることができます。（☞P.125）

以下の項目が登録できます。

カメラの設定

- 撮影モード
- A／M モード時の絞り値
- S／M モード時のシャッタースピード
- MF 時のフォーカス位置
- マクロモード
- フラッシュモード
- セルフタイマー
- DISP. ボタンでの撮影画面切り替え
- ［撮影設定］メニュー（［多重露光撮影］［インターバル撮影］［拡大表示倍率（MF）］［撮影設定初期化］［絞り自動シフト］［シャッタースピード自動シフト］［撮影モード切替］以外）*

* ［ホワイトバランス補正］は、［キーカスタム設定］メニューの［ホワイトバランス補正の MY 登録］を［ON］に設定すると、マイセッティングに保存されます。

［キーカスタム設定］メニュー

- Fn ボタンペア設定（［Fn 設定の MY 登録］を［ON］に設定したときのみ）

［セットアップ］メニュー

- ISO 感度ステップ設定
- ISO AUTO-HI 設定
- 外部 AF 測距表示
- 水準器設定
- グリッドガイド表示設定
- 撮影情報表示フレーム
- デジタルズーム切替

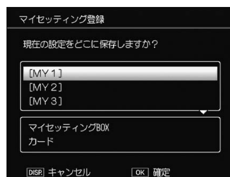
1 カメラの設定を変更する

2 ［キーカスタム設定］メニューの［マイセッティング登録］を選択し、▶ ボタンを押す

［マイセッティング登録］画面が表示されます。

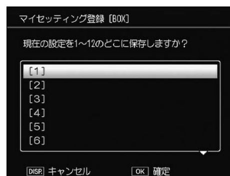
3 登録する場所を選択し、MENU/OK ボタンを押す

［MY1］［MY2］［MY3］を選択すると、それぞれのモードダイヤルに登録されます。



マイセッティング BOX またはカードに保存するときは［マイセッティング BOX］［カード］を選択して ▶ ボタンを押し、登録する番号を選択します。

未登録の場所を選択すると、現在日時の名称で登録されます。



すでに名称がついている場所を選択すると、名称設定の画面が表示されます。［はい］を選択すると、現在の名前のまま設定が登録されます。［いいえ］を選択すると、現在日時 の名称で登録されます。

設定が登録されると、［キーカスタム設定］メニューに戻ります。

マイセッティングの設定を呼び出す

［マイセッティング BOX］［カード］に登録した内容を、モードダイヤル MY1／MY2／MY3 に割り付けます。

1 ［キーカスタム設定］メニューの［マイセッティング呼び出し］を選択し、▶ ボタンを押す

［マイセッティング呼び出し］画面が表示されます。

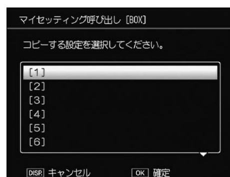
2 ［マイセッティング BOX］または［カード］を選択し、▶ ボタンを押す

3 ▲▼ ボタンで割り付けるダイヤルを選択し、▶ ボタンを押す



4 マイセッティングが登録されているマイセッティング BOX／カードの番号を選択し、MENU/OK ボタンを押す

選択したマイセッティングがモードダイヤルに登録され、［キーカスタム設定］メニューに戻ります。



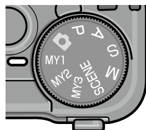
 ***注意*** --

- 他のカメラのマイセッティングを呼び出すことはできません。
- ［カード］に登録した内容は、メモリーカードを初期化すると消去されます。［マイセッティング BOX］に登録した内容は、内蔵メモリーを初期化しても消去されません。

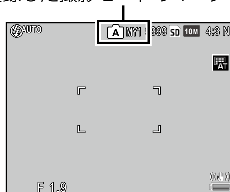
マイセッティングモードで撮影する

1 モードダイヤルを MY1／MY2／MY3 に合わせる

マイセッティングの設定で撮影できるようになります。

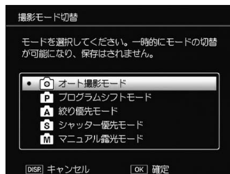


登録した撮影モードのマーク



2 撮影モードを一時的に変更するときは、[撮影設定] メニューの [撮影モード切替] を選択する

登録してある撮影モードが SCENE の場合は、変更できません。



 *メモ* --

- マイセッティングモード時に、[撮影設定] メニューや [セットアップ] メニューの設定を変更することもできます。モードを切り替えるか電源をオフにすると、もとの MY1／MY2／MY3 の設定に戻ります。

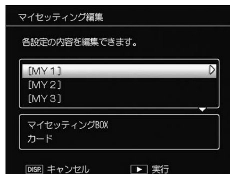
マイセッティングを編集する

マイセッティングの登録内容を編集します。

1 ［キーカスタム設定］メニューの［マイセッティング編集］を選択し、▶ ボタンを押す

［マイセッティング編集］画面が表示されます。

2 編集したいマイセッティングを選択し、▶ ボタンを押す

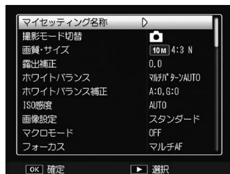


マイセッティング BOX ／カードに保存したマイセッティングを編集する場合は［マイセッティング BOX］［カード］を選択して ▶ ボタンを押し、番号を選択します。

設定項目の一覧が表示されます。

3 ▲▼ ボタンで編集したい項目を選択し、▶ ボタンを押す

▲▼ ボタンで設定を変更します。



4 ◀ ボタンで内容を決定する

手順 3 ～ 4 を繰り返します。

5 MENU/OK ボタンを押す

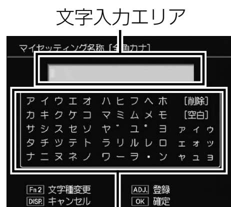
編集内容が保存され、［キーカスタム設定］メニューに戻ります。

マイセッティングの名称を変更する

1 P.124 の手順 3 の画面で［マイセッティング名称］を選択し、▶ ボタンを押す

［マイセッティング名称］画面が表示され、文字入力エリアに現在の名称が表示されます。

新規に名称を指定する場合は、手順 4 に進みます。



2 名称の一部を変更する場合は、◀▶ ボタンを押す

文字入力エリアにカーソルが表示されます。

3 ◀▶ ボタンで編集する位置にカーソルを移動する

4 ▼ ボタンを押す

文字選択エリアにカーソルが移動します。

5 ▲▼◀▶ ボタンで文字を選択し、MENU/OK ボタンで決定する

文字入力エリアのカーソル位置に文字が挿入されます。

文字を削除するときは［削除］、スペースを挿入するときは［空白］を選択します。

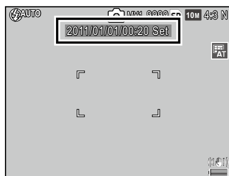
入力できる文字は全角カタカナ／半角英数字で、全角 16 文字（半角 32 文字）までです。Fn2 ボタンで文字の種類が変更できます。

6 ADJ. レバーを押す

名称が登録されます。

 *メモ*

- ［MY1］［MY2］［MY3］の設定を［マイセッティング呼び出し］で割り付けている場合は、マイセッティング BOX／カードの設定を編集すると［MY1］［MY2］［MY3］の設定にも反映されます。
［MY1］［MY2］［MY3］の設定を直接編集した場合は、マイセッティング BOX／カードの設定には反映されません。また、その後マイセッティング BOX／カードの設定を編集しても、［MY1］［MY2］［MY3］の設定には反映されなくなります。
- マイセッティングの名称は、モードダイヤルを MY1／MY2／MY3 に合わせた直後と ▲ ボタンを押したときに表示されます。



- ［キーカスタム設定］メニューの［マイセッティング削除］で、マイセッティングの登録を削除することができます。

ADJ. レバーに機能を登録する

ADJ. レバーに撮影機能を登録し、ADJ. レバーの操作で簡単に呼び出すことができます（ADJ. モード）。

以下の機能が登録できます。

機能		参照先
OFF		－
露出補正		P.75
ホワイトバランス	※［ADJ. レバー設定 1 初期設定］	P.78
WB 補正		P.81
ISO	※［ADJ. レバー設定 2 初期設定］	P.76
画質	※［ADJ. レバー設定 3 初期設定］	P.65
フォーカス		P.68
測光	※［ADJ. レバー設定 5 初期設定］	P.74
画像設定	※［ADJ. レバー設定 4 初期設定］	P.82
連写		P.85
オートブラケット		P.88
調光補正		P.93

機能	参照先
マニュアル発光	P.94
D レンジ補正	P.95

1 [キーカスタム設定] メニューの [ADJ. レバー設定1] ～ [ADJ. レバー設定 5] を選択し、▶ ボタンを押す

2 ▲▼ ボタンで登録する機能を選択し、MENU/OK ボタンを押す

機能が登録されます。

ADJ. モードを利用する

1 撮影モードで ADJ. レバーを押す

ADJ. モードになります。

2 ADJ. レバーを左右に倒すか、◀▶ ボタンで設定したい機能を選択する

[AF/AE ターゲット移動]（固定）と ADJ. レバー設定 1 ～ 5 が切り替わります。



3 ▲▼ ボタンで値を選択する

4 ADJ. レバーまたは MENU/OK ボタンを押す

 *メモ* --

- [キーカスタム設定] メニューの [ADJ シャッターボタン確定] を [ON] に設定すると、シャッターボタン半押しで ADJ. モードの設定を確定できます。
- ADJ. モードにしたときに一番右に表示される「AF/AE ターゲット移動」（☞P.71）は、機能の登録を変更できません。

Fn1／Fn2 ボタンに機能を登録する

Fn1／Fn2 ボタンに機能を登録すると、Fn1／Fn2 ボタンを押すだけで設定を切り替えたり、機能の設定画面を表示することができます。

以下の中から Fn1／Fn2 ボタンそれぞれに機能が割り当てられます。

機能	動作
OFF	Fn1／Fn2 ボタンの操作を無効にします。
AF/MF／AF/ スナップ／AF/ 被写体追尾	フォーカスモードを切り替えます。（☞P.68）
AE ロック	露出値を固定（AE ロック）します。画像モニターには AEL マークが表示されます。
JPEG → RAW	静止画のファイル形式を切り替えます。（☞P.65）［撮影設定］メニューの［画質・サイズ］で設定されているサイズ・アスペクト比と同じサイズ・アスペクト比の RAW 画像が撮影できます。
カラー→白黒／カラー→ TE／カラー→ハイ白黒／カラー→クロスプロセス／カラー→ P フィルム調／カラー→ B バイパス	［撮影設定］メニューの［画像設定］の設定を切り替えます。（☞P.82）
露出補正／ホワイトバランス／WB 補正／ISO／画質／フォーカス／測光／画像設定／連写／オートブラケット［Fn1 ボタン初期設定］／調光補正／マニュアル発光／D レンジ補正	［撮影設定］メニューの各機能の設定画面を表示します。
多重露光	多重露光撮影を行います。（☞P.90）
マクロターゲット	マクロターゲットを移動します。（☞P.35）
セルフタイマー［Fn2 ボタン初期設定］	セルフタイマーで撮影します。（☞P.37）

Fn1／Fn2 ボタンの機能の組み合わせは、4 つまで登録することができます。

1 ［キーカスタム設定］メニューの［Fn ボタンペア設定］を選択し、▶ ボタンを押す

［Fn ボタンペア設定］画面が表示されます。

2 ▲▼ ボタンで Fn ボタンペア [1] ～ [4] を選択し、▶ ボタンを押す



3 ▲▼ ボタンで登録する機能を選択し、MENU/OK ボタンを押す

機能が登録されます。

手順 2 ～ 3 を繰り返します。

4 登録が終了したら DISP. ボタンを押す

5 ［Fn ボタンペア切替］を選択し、使用する Fn ボタンペア［1］～［4］を選択する

 *メモ* --

- 電源をオンにしたときやモードダイヤルを回したとき、▲ ボタンを押したときに、現在の Fn1／Fn2 ボタンの機能が表示されます。このときに ▲ ボタンを押しながらアップダウンダイヤルを回すと、Fn ボタンペア [1] ～ [4] を切り替えることができます（フォーカスモードが［MF］のときは、この操作は無効）。



ズームボタンに機能を登録する

［キーカスタム設定］メニューの［ズームボタン設定］で、撮影モード時の 🔍/⊞ ボタンの機能を設定できます。

設定項目	参照
OFF	—
デジタルズーム	P.128
露出補正［初期設定］	P.75
ホワイトバランス	P.78

オートリサイズズームを使う

［ズームボタン設定］を［デジタルズーム］に設定したときは、［セットアップ］メニューの［デジタルズーム切替］が設定できます。

通常	画像の一部を設定した画像サイズまで拡大して保存します。
オートリサイズ	自動的に画像サイズを変更して記録します。 広い範囲を撮影し、必要な部分だけを既定の画像サイズでトリミングして記録します。画像サイズは小さくなりますが画質が劣化しません。 ［撮影設定］メニューの［画質･サイズ］を［10M 4:3 F］［10M 4:3 N］に設定しているときに使用できます。

［オートリサイズ］に設定したときは、🔍/⊞ ボタンで 1 段階ずつ画像サイズが変更され、画像モニターに表示されます（記録される画像サイズは、オートリサイズズームの倍率によって異なります）。



 **注意** --

- 以下の場合は、オートリサイズズームは無効です。
  - SCENE モード
  - S 連写／M 連写
  - 多重露光撮影

その他の設定を変更する

画像モニターの明るさを調節する

画像モニターの明るさを調整します。

1 ［セットアップ］メニューの［画像モニター輝度調節］を選択し、▶ ボタンを押す

2 ［AUTO］［MANUAL］を選択する

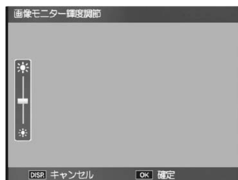
［AUTO］を選択した場合は、［セットアップ］メニューに戻ります。

3 ▶ ボタンを押す

［画像モニター輝度調節］画面が表示されます。

4 ▲▼ ボタンで明るさを調節する

インジケーターの目盛りを下に移動すると暗くなり、上に移動すると明るくなります。



5 MENU/OK ボタンを押す

［セットアップ］メニューに戻ります。

操作音を設定する

［セットアップ］メニューの［操作音］［操作音音量設定］でカメラの操作音の設定ができます。

カメラの操作音は、以下の 5 種類です。

起動音	カメラの電源をオンにしたときに鳴ります。
シャッター音	シャッターボタンを押したときに鳴ります。
フォーカスが合ったとき	シャッターボタンを半押しして、ピントが合ったときに「ピピッ」という音が鳴ります。
警告音	実行できない操作を行ったときに「ピピピピピ」という音が鳴ります。［操作音］の設定にかかわらず鳴ります。
水準器音	［水準器設定］（☞P.38）を［水平＋音］［音のみ］に設定している場合に、撮影モードでカメラが水平状態のときに一定間隔で鳴り続けます。

［操作音］

すべて	すべての操作音を鳴らします。
水準器音	水準器音のみ鳴らします。
シャッター音	シャッター音／警告音／水準器音のみ鳴らします。

［操作音音量設定］

OFF ／■□□（音量小）／■■□（音量中）／■■■（音量大）

ファイル NO. を設定する

撮影した画像には、連番のファイル名が付いて内蔵メモリーやメモリーカードに記録されます。

［セットアップ］メニューの［カード連続 NO.］で、メモリーカードを入れ替えた場合のファイル NO. について設定できます。

ON（連番にする）	ファイル名として、先頭に「R」の付いた 7 桁の通し番号（R0010001.jpg ～ R9999999.jpg）が自動的に付けられます。 メモリーカードを別のカードに替えても、前のカードからの連番でファイル名が付きます。 フォルダ番号が 999 未満の場合は、R9999999 まで記録可能です。フォルダ番号が 999 の場合は、R***9999 を超えるとそれ以上は記録できなくなります。
OFF（連番にしない）	新しいメモリーカードをセットするたびに、RIMG0001.jpg ～ RIMG9999.jpg までのファイル名が付きます。 RIMG9999 を超えると、それ以上は記録できません。

 *メモ* --

- 内蔵メモリーに記録する場合には､常に［カード連続 NO.］が［OFF］の設定でファイル名が付けられます。
- ［セットアップ］メニューの［色空間設定］を［AdobeRGB］に設定している場合は、ファイル名の先頭が「_」（アンダーバー）になります。
- DL-10 を使ってパソコンに転送する（☞P.140）と新しいファイル名で保存されます。また、［カード連続 NO.］を［ON］に設定していても、［OFF］のファイル名で保存されます。

ファームウェアのバージョンを確認する

［セットアップ］メニューの［ファームウェアバージョン確認］で、カメラのファームウェアのバージョンを表示することができます。メモリーカードにファームアップ用のファイルがあるときは、ファームウェアのアップデートができます。

バージョンアップ情報は、弊社ホームページ（http://www.ricoh.co.jp/dc/）を確認してください。

画面の表示は、ご使用のパソコンの OS によって異なります。

Windows をご使用の場合

本カメラの内蔵メモリーには、以下のソフトウェアが収録されています。

DL-10	画像をパソコンに一括取り込みします。
MediaBrowser	撮影した画像を閲覧・管理・編集することができます。

 ***注意*** --

- インストールは管理者権限を持ったユーザーが行ってください。
- DL-10 はネットワーク環境には対応していません。スタンドアローンでご使用ください。

 ***メモ*** --

- MediaBrowser の使い方については、MediaBrowser のヘルプを参照してください。
- MediaBrowser についての最新の情報は、株式会社ピクセラのホームページ（http://www.pixela.co.jp/oem/mediabrowser/j/）を参照してください。

ソフトウェアの動作環境

内蔵のソフトウェアを使うためには、以下の環境が必要です。
ご使用のパソコンをご確認ください。

対応 OS	Windows XP Home Edition Service Pack 3（日本語版）／Professional Service Pack 3（日本語版） Windows Vista Service Pack 2（日本語版） Windows 7 32bit 版 / 64bit 版（日本語版）
CPU	Pentium® Ⅳ：1.6GHz 以上 Pentium® M：1.4GHz 以上 Core™ 2 Duo：1.5GHz 以上
メモリー	Windows XP：512MB 以上 Windows Vista ／ Windows 7：1GB 以上
インストール時の HDD 空き容量	300MB 以上
ディスプレイ解像度	1024 × 768 ドット以上
ディスプレイ表示色	65000 色以上
USB ポート	上記パソコン本体で使用可能な USB ポート

 ***注意*** ---

- Windows XP／Windows Vista の 64bit 版には対応していません。
- OS をアップグレードしたパソコンの場合、正常に USB 機能が動作しないことがあるため、サポート対象外となります。
- OS のシステム環境の変化やサービスパックなどのバージョンによっては、正しく動作しないことがあります。
- 拡張機能（PCI バスなど）を利用して増設した USB ポートへの接続はサポートしていません。
- HUB などの他の USB 機器との組み合わせで使用した場合、正しく動作しないことがあります。
- 動画などの大きなファイルを扱う場合は、より大きなメモリー環境で利用することをお勧めします。

ソフトウェアのインストール

付属のソフトウェアをパソコンにインストールします。

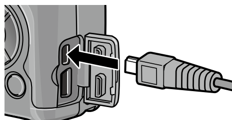
注意 --

- ［セットアップ］メニューの［USB 接続］が［マスストレージ］に設定されていることを確認してください。

1 カメラの電源をオフにし、メモリーカードを取り出す

メモリーカードが入っているとインストールができません。

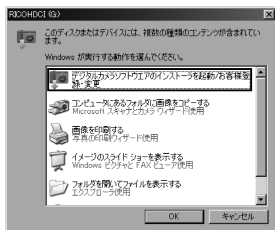
2 端子カバーを開け、USB ケーブルで USB・AV OUT 兼用端子とパソコンを接続する



カメラの電源が自動的にオンになります。

［RICOHDCI（E:)］（E はドライブ名）画面が表示されます。

3 ［デジタルカメラ ソフトウェアのインストーラを起動］をクリックし、［OK］ボタンをクリックする



［デジタルカメラ ソフトウェア インストーラー］画面が表示されます。

Windws 7 の場合

［フォルダを開いてファイルを表示］をクリックし、表示されたファイル一覧から「AUTORUN.EXE」をダブルクリックします。

パソコンで画像の一括取り込みや編集を行うときに必要なソフトウェアを一括でインストールできます。

お客様情報の登録・変更を行うホームページが表示されます。



4 ［ソフトウェアのインストール］をクリックする

Windows XP の場合

しばらくすると［設定言語の選択］画面が表示されます。

Windows Vista／Windows 7 の場合

ユーザーアカウント制御の確認画面が表示されたら、コンピュータへのアクセス要求の［許可］（Wondows 7 は［はい］）を選択してください。タスクバーにアイコンが表示された場合は、クリックして画面を表示します。しばらくすると［設定言語の選択］画面が表示されます。

5 言語を選択し、画面に従ってインストールをする

続けて MediaBrowser のインストーラが起動します。インストールする場合は使用許諾に同意し、画面の指示に従ってインストールを続けてください。

6 DL-10 の［ブロックを解除する］ボタンをクリックする

Windows 7 の場合は［アクセスを許可する］ボタンをクリックします。

7 再起動を促すメッセージが表示されたら、［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択して［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。

再起動後に Windows セキュリティの重要な警告画面が表示されます。

 *注意* --

- USB ケーブルで接続中は、ケーブルを持ったままカメラを動かさないでください。
- カメラの電源がオンの状態で USB ケーブルを外さないでください。
- 付属の USB ケーブル以外のケーブルを接続しないでください。
- DC Software がインストールされている状態で DC Software 2 をインストールすると、スタートアップフォルダには DC Software 2 の DL-10 が登録されます。また、DC Software と DC Software 2 がインストールされた状態で DC Software 2 をアンインストールすると、スタートアップフォルダの DL-10 が削除される場合があります。

ソフトウェアのマニュアルを見る

カメラの内蔵メモリーには、画像をパソコンに取り込む方法を説明した『使用説明書（ソフトウェア編）』の PDF ファイルが収録されています。使用説明書は、パソコンにコピーして参照してください。

1 カメラがパソコンに接続された状態で［マイコンピュータ］を開く

カメラがドライブとして表示されます。

2 ドライブの中の［MANUAL］フォルダを開く

各国のマニュアルの PDF が収録されています。

3 「MAN_JP.PDF」をパソコンのハードディスクにコピーする

 *メモ* --

- PDF を表示するためには、Adobe Reader または Acrobat Reader が必要です。ソフトウェアがパソコンにインストールされていない場合は、Adobe Reader のホームページからインストールを行ってください。
  カメラから DL-10 ソフトウェアをインストールしている場合は、［スタート］→［DC Software 2］→［Adobe Reader ダウンロード］の順にクリックすると、ダウンロードのホームページが表示されます。
- Adobe Reader については、Adobe Reader のヘルプを参照してください。

画像をパソコンに取り込む

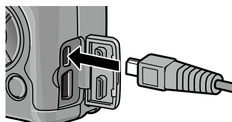
お使いのパソコンに、撮影した画像を転送します。

画像をパソコンに取り込むには、画像取り込みソフトウェア DL-10 を使用する方法と、使用しない方法があります。

注意 --

- メモリーカードに保存されている画像を取り込む場合は、パソコンと接続する前にカメラにメモリーカードをセットしておいてください。
- ［セットアップ］メニューの［USB 接続］が［マスストレージ］に設定されていることを確認してください。

1 カメラの電源をオフにし、端子カバーを開けて USB ケーブルで USB・AV OUT 兼用端子とパソコンを接続する



カメラの電源が自動的にオンになります。

2 画像をパソコンに取り込む

DL-10 がインストールされている場合：

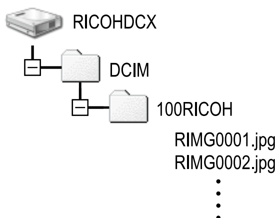
DL-10 が自動的に起動して画像の転送が開始されます。

DL-10 は［マイドキュメント］フォルダの中に自動的に［Digital Camera］フォルダを作成し、取り込んだ画像を撮影日ごとのフォルダに保存します。詳しくは『使用説明書（ソフトウェア編）』（PDF ファイル）を参照してください。

DL-10 がインストールされていない場合：

表示されたドライブから、任意の場所にファイルをコピーします。

［デジタルカメラ ソフトウェア インストーラー］画面が表示されたときは、［×］をクリックしてください。



Windows XP での表示例

3 転送が終了したら、カメラの電源をオフにする

4 USB ケーブルを取り外す

注意 --

- 画像の取り込み中は、電源をオフにしたり USB ケーブルを抜いたりしないでください。

Macintosh をご使用の場合

本カメラは、Mac OS X 10.4 ～ 10.6.7 に対応しています。Macintosh では、『使用説明書（ソフトウェア編）』を使用することができます。

メモ --

- 『使用説明書（ソフトウェア編）』は、PDF ファイルです。カメラの内蔵メモリーからパソコンのハードディスクにコピーして見ることができます。コピーの方法は Windows の場合と同様です。（☞P.139）

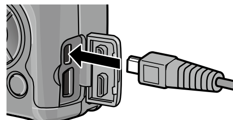
画像をパソコンに取り込む

お使いのパソコンに、撮影した画像を転送します。

注意 --

- メモリーカードに保存されている画像を取り込む場合は、パソコンと接続する前にカメラにメモリーカードをセットしておいてください。
- ［セットアップ］メニューの［USB 接続］が［マスストレージ］に設定されていることを確認してください。

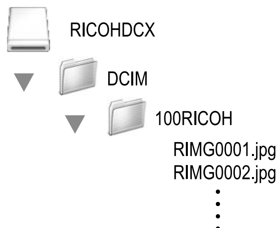
1 カメラの電源をオフにし、端子カバーを開けて USB ケーブルで USB・AV OUT 兼用端子とパソコンを接続する



カメラの電源が自動的にオンになります。

2 画像をパソコンに取り込む

表示されたドライブから、任意の場所にファイルをコピーします。



3 転送が終了したら、カメラとパソコンの接続を解除する

表示されたドライブまたはボリュームのアイコンを「ゴミ箱」アイコンにドラッグアンドドロップしてから USB ケーブルを取り外してください。

 **注意** ---

- 画像の取り込み中は電源をオフにしたり USB ケーブルを抜いたりしないでください。
- 接続を解除しないで USB ケーブルを外すと、デバイスの取り外しの警告画面が表示される場合があります。必ず接続を解除してから USB ケーブルを取り外してください。
- Macintosh に接続すると、メモリーカードに「FINDER.DAT」「.DS_Store」が書き込まれる場合があり、カメラでは［表示できないファイルです。］と表示されます。このファイルは、消去しても問題ありません。

お困りのときは

エラーメッセージ

画像モニターにエラーメッセージが表示されたときは、以下の方法で対処してください。

エラーメッセージ	原因と対応方法	参照先
カードを入れてください。	カードがセットされていません。カードをセットしてください。	P.25
セットアップメニューから日付を設定してください。	日付が設定されていません。日付を設定してください。	P.29
FILE NUMBER OVER	ファイル番号の制限を超えています。他のカードをご使用ください。	P.133
表示できないファイルです。	カメラでは表示できないファイルです。パソコンなどでファイルを確認し、ファイルを削除してください。	ー
容量不足です。コピーしますか。	カードの容量が不足しているため、すべてのファイルをコピーできません。他のカードをご使用ください。	P.106
プロテクトされています。	プロテクトされたファイルを削除しようとしています。	P.104
カードが書き込み禁止です。	カードが「LOCK」されています。ロックを解除してください。	ー
プリント設定できないファイルです。	プリント設定できないファイル（動画など）です。	ー
容量不足です。	ファイルを記録できません。ファイルを削除するか、新しいカードを使用してください。	P.102
	画像のプリント指定枚数が制限を超えています。画像を選択し、枚数を 0 にしてください。	ー
内蔵メモリーを初期化してください。	内蔵メモリーを初期化する必要があります。[セットアップ] メニューの [初期化 [内蔵メモリー]] を実行してください。	ー
カードを初期化してください。	カードが初期化されていません。本カメラでカードを初期化してください。	P.27
使用できないカードです。	再度初期化し直してください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、カードの異常が考えられます。そのカードを使用しないでください。	P.27
メモリー書き込み中	ファイルをメモリーに書き込んでいます。書き込みが終わるまでお待ちください。	ー
ファイルがありません。	再生できるファイルがありません。	ー
記録できません。	記録可能枚数が 0 になりました。他のカードや内蔵メモリーに切り替えてください。	ー

カメラ本体のトラブル

電源

症状	原因	処置	参照先
電源が入らない。	電池がセットされていない。または消耗している。	バッテリーを正しくセットする。または充電する。必要に応じてACアダプターを使う。乾電池使用時は新品電池に交換する。	P.23 P.157
	使用できない電池を使用している。	専用バッテリー、または使用可能な乾電池を使う。	P.24
	ACアダプターが正しく接続されていない。	正しく接続し直す。	P.157
	電池の方向が違う。	正しくセットする。	P.26
電源が途中で切れる。	何の操作もしないで放置したので、オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.28
	電池が消耗している。	バッテリーを充電するか、ACアダプターを使う。乾電池使用時は新品電池に交換する。	P.23 P.157
	使用できない電池を使用している。	専用バッテリー、または使用可能な乾電池を使う。	P.24
電源がオフにならない。	カメラの誤作動。	電池をセットし直す。ACアダプター使用時には接続し直す。	P.26 P.157
十分に残量のある電池なのに、残量が少ない電池マークが表示される。または電源がオフになる。	使用できない電池を使用している。	専用バッテリー、または使用可能な乾電池を使う。	P.24
バッテリーを充電できない。	バッテリーの寿命。	新しいバッテリーに交換する。	–
電池の消耗が早い。	温度が極端に低いところや高いところで使用している。	–	–
	暗い屋内などの撮影で、フラッシュ発光回数が多い。	–	–

撮影

症状	原因	処置	参照先
シャッターボタンを押しても撮影できない。	電池が消耗している。	バッテリーを充電するか、AC アダプターを使う。乾電池使用時は新品電池に交換する。	P.23 P.157
	電源が入っていない。または撮影モードになっていない。	POWER ボタンを押して、電源をオンにする。または ▶ ボタンを押して撮影モードにする。	P.27
	メモリーカードが初期化されていない。	初期化する。	P.27
	メモリーカードに空き容量がない。	不要なファイルを削除するか、新しいカードをセットする。	P.102
	メモリーカードの寿命。	新しいカードをセットする。	−
	フラッシュが充電中。	オートフォーカス／フラッシュランプの点滅が終了するまで待つ。	−
	メモリーカードが「LOCK」されている。	書き込み禁止を解除する。	−
	メモリーカードの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布で拭き取る。	−
撮影画像を確認できない。	画像確認時間が短い。	画像確認時間を長くする。	P.33
画像モニターに映らない。	画像モニターが暗い。	画像モニターの明るさを調整する。	P.131
	画像モニターがオフになっている。	DISP. ボタンを押して、画像モニターをオンにする。	P.21
	AV ケーブル／ HDMI ケーブルを接続した状態になっている。	AV ケーブル／HDMI ケーブルを取り外す。	−
オートフォーカスなのにピントが合わない。	レンズが汚れている。	乾いた柔らかい布できれいに拭き取る。	−
	被写体が撮影範囲枠の中央にない。	フォーカスロックで撮影する。	−
	ピントの合いにくい被写体である。	フォーカスロック、またはマニュアルフォーカスで撮影する。	P.70
	被写体との距離が近すぎる。	マクロモードで撮影する。または、被写体から離れて撮影する。	P.35
手ブレになる。	シャッターボタンを押したときに、カメラが動いた。	両肘を身体につけて構える。三脚を使用する。	−
	薄暗い場所での撮影時には、シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすくなる。	フラッシュを使用する。 ISO 感度を上げる。	P.36 P.76

症状	原因	処置	参照先
フラッシュが発光しない。 フラッシュの充電ができない。	フラッシュがポップアップしていない。	⚡OPEN スイッチを下側にスライドさせて、フラッシュをポップアップさせる。	P.36
	フラッシュカバーが完全に上がっていない。	フラッシュカバーを手で押さえたり、覆ったりしないように注意する。	P.36
	フラッシュが発光禁止になる以下の機能を選択している。 ・SCENE モードのダイナミックレンジ／インターバル合成／動画 ・連写 ・オートブラケット	フラッシュを発光して撮影したい場合は、設定やモードを変更する。	P.36 P.58 P.85 P.88
	フラッシュが発光禁止になっている。	フラッシュをポップアップさせる。フラッシュモードを変更する。	P.36
	電池が消耗している。	バッテリーを充電するか、AC アダプターを使う。乾電池使用時は新品電池に交換する。	P.23 P.157
フラッシュが発光したのに画像が暗い。	被写体までの距離が約 3.0m 以上離れている。	被写体に近づいて撮影する。	P.37
	黒っぽい被写体である。	フラッシュの光量を調節する。	P.93
	フラッシュの光量が適切でない。	フラッシュの光量を調節する。	P.93
	フラッシュカバーが完全に上がっていない。	フラッシュカバーを手で押さえたり、覆ったりしないように注意する。	P.36
画像が明るすぎる。	フラッシュの光量が適切でない。	フラッシュの光量を調整する。 被写体から少し離れて撮影する。 被写体に照明などを当ててフラッシュを発光しないで撮影する。	P.93
	画像モニターの明るさが適切でない。	画像モニターの明るさを調整する。	P.131
画像が暗すぎる。	暗いところを発光禁止で撮影している。	フラッシュをポップアップさせる。フラッシュモードを変更する。	P.36
	画像モニターの明るさが適切でない。	画像モニターの明るさを調整する。	P.131
画像が自然な色合いにならない。	オートホワイトバランスの調整しにくい状況で撮影している。	被写体に白色系のものを入れて撮影する。またはホワイトバランスモードを［AUTO］以外にする。	P.78

症状	原因	処置	参照先
AF 動作中、画像モニターの明るさが変化する。	オートフォーカス範囲と周囲の明るさが異なるとき、または暗いところで使用している。	故障ではありません。	―
縦に尾を引いた画像になる。	明るい被写体を写している。	スミア現象といい、故障ではありません。	―
インジケーターが表示されない。	［水準器設定］を［OFF］［音のみ］に設定している。	［水準器設定］を表示する設定に変更する。	P.38
	画面表示がマーク表示/ヒストグラム表示以外になっている。	DISP. ボタンを押して、マーク表示/ヒストグラム表示に切り替える。	P.21
	カメラが上下逆になっている。	カメラを正しく構える。	―
インジケーターの目盛りが中央を指している、または水準器音が鳴っている状態で撮影したのに、画像が傾いている。	乗り物に乗っているなど、動いている状態で撮影している。	停止している状態で撮影する。	―
	被写体自体が傾いている。	被写体を確認する。	―

再生／削除

症状	原因	処置	参照先
日付などの記録情報が表示されない。	画面表示が、表示なしになっている。	DISP. ボタンを押して表示を切り替える。	P.22
再生できない。または再生画面が出ない。	AV ケーブル／HDMI ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルを正しく接続し直す。	P.112
	［ビデオ方式］の設定が間違っている。	正しい方式を設定する。	P.112
メモリーカードが再生できない。または再生画面が出ない。	本カメラで初期化していないメモリーカードを再生した。	本カメラで初期化し、記録したカードをセットする。	―
	正常に記録されていないメモリーカードを再生した。	正常に記録されているカードをセットする。	―
	メモリーカードの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布で拭き取る。	―
	使用中のメモリーカードに異常がある。	記録済みの別のカードを再生する。異常がなければカメラは正常です。カードの異常が考えられるため、そのカードを使用しないでください。	―

症状	原因	処置	参照先
画面が消えた。	電池が消耗している。	バッテリーを充電するか、AC アダプターを使う。乾電池使用時は新品電池に交換する。	P.23 P.157
	何の操作もしないで放置したので、オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.28
ファイルを削除できない。	プロテクトが設定されている。	プロテクトを解除する。	P.104
	メモリーカードが「LOCK」されている。	書き込み禁止を解除する。	―
メモリーカードを初期化できない。	メモリーカードが「LOCK」されている。	書き込み禁止を解除する。	―

その他

症状	原因	処置	参照先
メモリーカードが入らない。	挿入方向が違う。	正しくセットする。	P.25
カメラのボタンを操作しても作動しない。	電池が消耗している。	バッテリーを充電するか、AC アダプターを使う。乾電池使用時は新品電池に交換する。	P.23 P.157
	カメラの誤作動。	POWER ボタンを押して、いったん電源をオフにし、再度 POWER ボタンを押して、電源をオンにする。	P.27
		電池をセットし直す。AC アダプター使用時には接続し直す。	P.25 P.157
日付が正しくない。	正しい日付・時刻が設定されていない。	正しい日付・時刻を設定する。	P.29
設定した日付が消えてしまった。	電池を抜いてしまった。	電池を取り出した状態が約 1 週間以上続くと、日付がリセットされるので、設定し直す。	P.29
テレビに映らない。	［ビデオ方式］の設定が間違っている。	正しい方式を設定する。	P.112
	AV ケーブル／HDMI ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルを正しく接続し直す。	P.112
	AV 機器の入力切換の設定が間違っている。	AV 機器の入力切換が正しいか確認する。	―

主な仕様

カメラ本体

カメラ部有効画素数		約 1000 万画素
撮像素子		1/1.7 型 CCD（総画素数約 1040 万画素）
レンズ	焦点距離	6.0mm（35mm 換算値 28 mm）
	F 値	F 1.9 ～ F 9 （オート撮影モードで F 8.0 ～ F 11 表示のとき、絞りと ND フィルターを併用して露出制御）
	撮影距離範囲	約 30cm ～∞（レンズ先端から）
		約 1.0cm ～∞（マクロ撮影時、レンズ先端から）
	レンズ構成	6 群 8 枚（非球面レンズ 2 面 2 枚）
ズーム倍率		デジタルズーム 4.0 倍、オートリサイズズーム約 5.7 倍（画像は VGA）
フォーカスモード		マルチ AF（CCD 方式）／スポット AF（CCD 方式）／被写体追尾 AF ／マニュアルフォーカス／スナップ／∞（フォーカスロック、AF 補助光あり）
ブレ補正機能		イメージセンサーシフト方式ブレ補正機能
シャッタースピード	静止画	バルブ／タイム／180 秒／120 秒／60 秒／30 秒／15 秒／13 秒／10 秒／8 秒／6 秒／5 秒／4 秒／3.2 秒／2.5 秒／2 秒／1.6 秒／1.3 秒／1 ～ 1/2000 秒（撮影モード、フラッシュモードによりシャッタースピードの上限と下限が変わります。）
	動画	1/30 ～ 1/2000 秒
露出制御	測光モード	マルチ（256 分割）／中央重点測光／スポット測光（TTL-CCD 測光式、AE ロック可能）
	露出制御モード	プログラム AE、絞り優先 AE、シャッター優先 AE、マニュアル露出
	露出補正	マニュアル補正（+2.0 ～ -2.0EV 1/3EV ステップ）、オートブラケット機能（–0.5EV、± 0、+0.5EV ／ –0.3EV、± 0、+0.3EV）
ISO 感度（標準出力感度）		AUTO ／ AUTO-HI ／ ISO 80 ／ ISO 100 ／ ISO 125 ／ ISO 160 ／ ISO 200 ／ ISO 250 ／ ISO 320 ／ ISO 400 ／ ISO 500 ／ ISO 640 ／ ISO 800 ／ ISO 1000 ／ ISO 1250 ／ ISO 1600 ／ ISO 2000 ／ ISO 2500 ／ ISO 3200
ホワイトバランスモード		AUTO ／マルチパターン AUTO ／屋外／曇天／白熱灯 1 ／白熱灯 2 ／蛍光灯／手動設定／詳細設定、ホワイトバランスブラケット機能
フラッシュ	フラッシュモード	強制発光／ AUTO ／赤目軽減／スローシンクロ／マニュアル発光／発光禁止
	ガイドナンバー	5.4（ISO 100 換算）
	調光範囲	約 20cm ～ 3.0m（ISO AUTO）
	調光補正	± 2.0EV（1/3EV ステップ）
	充電時間	リチャージャブルバッテリー使用時：約 5 秒、単 4 形アルカリ乾電池使用時：約 8 秒

6

付録

画像モニター		3.0 型 透過型液晶、約 123 万ドット（640 × 4 × 480 = 1,228,800）
撮影モード		オート撮影モード／プログラムシフトモード／絞り優先モード／シャッター優先モード／マニュアル露光モード／シーンモード（ダイナミックレンジ／インターバル合成／斜め補正／動画）／マイセッティングモード
画質 *1		F(Fine) ／N(Normal) ／RAW（DNG ファイル形式）*2
記録画素数	静止画	3648 × 2736／3648 × 2432／2736 × 2736／3648 × 2048／3264 × 2448／2592 × 1944／2048 × 1536／1280 × 960／640 × 480
	動画	640 × 480／320 × 240
記録媒体		SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、マルチメディアカード、Eye-Fi カード（X2 シリーズ）、内蔵メモリー（約 40MB）
記録データ容量	3648 × 2736	N：約 2193KB／画面、F：約 3728KB／画面、RAW：約 14.6MB／画面
	3648 × 2432	N：約 1954KB／画面、F：約 3319KB／画面、RAW：約 13.0MB／画面
	3648 × 2048	N：約 1654KB／画面、F：約 2803KB／画面、RAW：約 11.0MB／画面
	2736 × 2736	N：約 1657KB／画面、F：約 2808KB／画面、RAW：約 11.0MB／画面
	3264 × 2448	F：約 3014KB／画面
	2592 × 1944	F：約 2311KB／画面
	2048 × 1536	F：約 1498KB／画面
	1280 × 960	F：約 836KB／画面
	640 × 480	F：約 221KB／画面
画像ファイル形式	静止画	JPEG（Exif ver. 2.21）*3、RAW（DNG）
	動画	AVI（Open DML Motion JPEG フォーマット準拠）
	圧縮方式	JPEG ベースライン方式準拠（静止画、動画）
その他主要撮影機能		連写／AF 連写／S 連写／M 連写、セルフタイマー（作動時間:約 2 秒／カスタムセルフ）、インターバルタイマー（撮影間隔：5 秒～ 1 時間、5 秒単位）*4、ホワイトバランスブラケット、画像設定ブラケット、ダイナミックレンジブラケット、コントラストブラケット、色空間設定、AE/AF ターゲット移動、手ブレ補正、ダイナミックレンジ補正、多重露光撮影、ノイズリダクション、ヒストグラム表示、グリッドガイド表示、被写界深度表示、電子水準器、ホットシュー
その他主要再生機能		縦横自動回転再生、一覧表示、拡大表示（拡大倍率最大 16 倍）、スライドショー、画像サイズ変更、斜め補正、レベル補正、ホワイトバランス補正、トリミング、DPOF 設定
外部インターフェース		USB 2.0（High-Speed USB）、マスストレージ *5、オーディオ OUT 1.0Vp-p（75 Ω）、HDMI マイクロ出力端子（Type D）
ビデオ信号方式		NTSC、PAL 切替え

電源	リチャージャブルバッテリー（リチウムイオン電池）DB-65（3.7V）× 1 本
	単 4 形アルカリ乾電池、単 4 形ニッケル水素電池
	AC アダプター（AC-4c　オプション）：3.8V
電池寿命 *6	CIPA 規格準拠　DB-65 使用時：約 390 枚、単 4 形アルカリ乾電池使用時：約 30 枚 *7
外形・寸法	108.6mm（幅）× 59.8mm（高さ）× 25.2mm（奥行き）（突起部含まず）
質量	本体約 190g（バッテリー／メモリーカード／ストラップを除く） 付属品約 30g（バッテリー／ストラップ）
三脚ネジ穴形状	1/4–20UNC
デート保持時間	約 1 週間
使用温度範囲	0℃～ 40℃
使用湿度範囲	85% 以下
保存温度範囲	–20℃～ 60℃

*1　画像サイズにより、設定できる画質が異なります。
*2　RAW と同サイズの F／N または VGA モードの JPEG と同時記録。DNG ファイル形式は RAW 画像ファイル形式の 1 つで、アドビシステムズ社が提唱する標準ファイル形式です。
*3　DCF 準拠、DPOF 対応。DCF は JEITA で標準化された「Design rule for Camera File system」の略称です（機器間の完全な互換性を保証するものではありません）。
*4　フラッシュ OFF 時。
*5　マスストレージは、Windows XP／Windows Vista／Windows 7、Mac OS X 10.1.2 ～ 10.6.7、64bit に対応しています。
*6　撮影可能枚数は CIPA 規格に準じた測定条件によるもので、使用条件により大きく異なります。
*7　パナソニック株式会社製の単 4 形アルカリ乾電池を使用。

充電器 BJ-6

電源	AC110V ～ 240V（50/60Hz）0.052A
出力電圧	DC 4.2 V 800 mA
使用温度	10 ℃～ 40 ℃
外形寸法	53mm x 79.5mm x 24mm
質量	約 52g

電池 DB-65

公称電圧	3.6V
定格容量	1250mAh（Min. 値）、1275mAh（Typ. 値）
使用温度	0℃～ 40℃
本体外形寸法	35.3 × 40.3 × 9.4mm
質量	約 27g

記録可能枚数

内蔵メモリー／メモリーカードの容量別、画質・サイズ別の記録可能枚数の目安は、以下のとおりです。

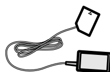
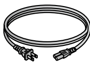
モード	画質・サイズ	内蔵	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
静止画	RAW 4:3	2	50	103	203	415	831	1668
	10M 4:3 F	10	240	487	957	1957	3922	7867
	10M 4:3 N	17	411	830	1631	3333	6678	13396
	RAW 3:2	2	57	116	228	467	935	1877
	9M 3:2 F	11	271	548	1077	2202	4412	8851
	9M 3:2 N	19	461	931	1828	3737	7487	15020
	RAW 16:9	2	67	137	270	553	1108	2222
	7M 16:9 F	13	321	653	1284	2624	5257	10546
	7M 16:9 N	23	544	1097	2155	4405	8824	17702
	RAW 1:1	2	67	137	270	551	1105	2217
	7M 1:1 F	13	319	647	1270	2596	5202	10435
	7M 1:1 N	23	544	1097	2155	4405	8824	17702
	8M 4:3 F	12	297	602	1183	2418	4845	9718
	5M 4:3 F	15	370	749	1471	3008	6026	12089
	3M 4:3 F	24	570	1159	2277	4654	9324	18704
	1M 4:3 F	43	1041	2118	4160	8505	17039	34181
	VGA 4:3 F	158	3776	7681	15082	30828	61759	123888
動画	VGA 640 15 コマ / 秒	43 秒	17 分 4 秒	34 分 9 秒	67 分 3 秒	137 分 3 秒	274 分 33 秒	550 分 45 秒
	VGA 640 30 コマ / 秒	22 秒	8 分 54 秒	17 分 58 秒	35 分 17 秒	72 分 8 秒	144 分 30 秒	289 分 52 秒
	QVGA 320 15 コマ / 秒	1 分 38 秒	38 分 45 秒	78 分 48 秒	154 分 44 秒	316 分 16 秒	633 分 35 秒	1270 分 57 秒
	QVGA 320 30 コマ / 秒	54 秒	21 分 26 秒	42 分 41 秒	83 分 49 秒	171 分 19 秒	343 分 11 秒	688 分 26 秒

 *メモ* --

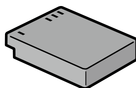
- 動画の記録可能時間は、合計の記録可能時間目安です。1 回の撮影で記録可能な動画は、最大 29 分または最大 4GB までです。
- 画像モニターに表示される残り記録枚数は、実際に撮影できる枚数と異なる場合があります。
- 静止画の記録可能枚数や動画の記録時間は、記録先の容量や撮影条件などによって異なる場合があります。
- 長時間撮影される場合は、高速メモリーカードのご使用をお勧めします。

別売り品

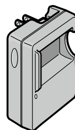
GR DIGITAL IV では、以下の別売り品が使用できます。

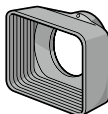
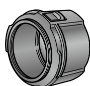
AC アダプター(AC-4c)
国や地域によっては、使用できない場合があります。



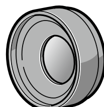
リチャージャブルバッテリー(DB-65)



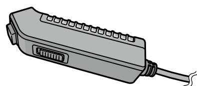
バッテリーチャージャー(BJ-6)

フード&アダプター(GH-2)
フードと φ 43mm 汎用フィルターなどを装着する際のアダプターとのセットです。

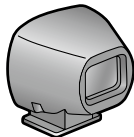
ワイドコンバージョンレンズ(GW-2)
広角で撮影したいときに使用します。倍率 0.75 倍のワイドコンバージョンレンズです。21mm 相当(35mm 判カメラ換算)での撮影が可能です。フード&アダプターと併用して使用します(ケース付)。



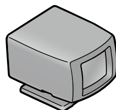
ケーブルスイッチ(CA-2)
USB・AV OUT 兼用端子に接続して、カメラのシャッターボタンを遠隔操作できます。



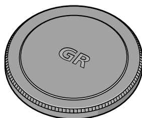
外部 TTL フラッシュ(GF-1)
ホットシューに取り付ける TTL 自動調光フラッシュです。(☞P.158)



外部ファインダー(GV-1)
ホットシューに取り付ける光学ファインダーです。21mm 相当と 28mm 相当(35mm 判カメラ換算)用のフレームがついています(ケース付)。

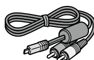


外部ミニファインダー(GV-2)
ホットシューに取り付ける小型の光学ファインダーです。28mm 相当(35mm 判カメラ換算)用のフレームがついています(縦横比 1:1 撮影用マーク付)(ケース付)。



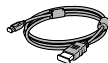
メタルレンズキャップ（GL-1）

レンズを保護するとともに、誤って電源がオンにならないようにします（GL-1 を装着したままソフトケースに収納することはできません）。



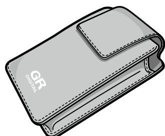
AV ケーブル（AV-1）

テレビなどのビデオ入力端子と接続するときに使用します。

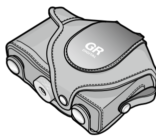


HDMI ケーブル（HC-1）

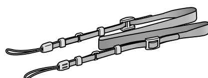
HDMI 対応のテレビと接続するときに使用します。



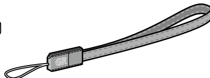
ソフトケース（GC-3）



ソフトケース（GC-4）（GV-2 対応）



ネックストラップ（GS-1 ／ ST-2）



ハンドストラップ（GS-2）

 *メモ* --

- 別売り品の使用方法は、製品に付属の使用説明書を参照してください。
- ワイドコンバージョンレンズ／フードを使用している場合、内蔵フラッシュは使用できません。
- GR DIGITAL／GR DIGITAL II のオプションの GH-1／GW-1／GT-1 は使用できません。
- 別売り品の最新情報については、弊社ホームページ（http://www.ricoh.co.jp/dc）をご覧ください。

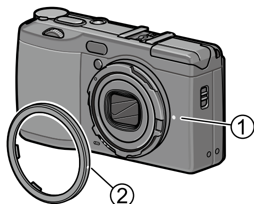


リングキャップの取り付け・取り外し

- コンバージョンレンズ／フード&アダプター／メタルレンズキャップを使用するときは、リングキャップを取り外します。

取り外し方

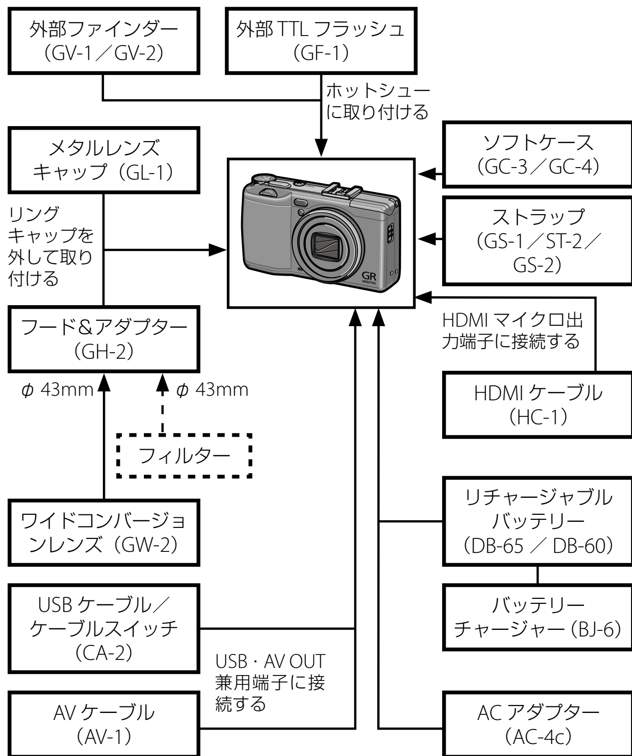
- カメラの電源がオフの状態で、リングキャップを反時計回りに回して取り外します。



取り付け方

- カメラの電源がオフの状態で、カメラ本体の目印①にリングキャップの目印②を合わせ、「カチッ」と音がする位置まで時計方向に回します。

システム構成図



別売品　　汎用品

6

付録

AC アダプターを使う

長時間使用したり、パソコンと接続する場合には、AC アダプター（AC-4c）を使用することをお勧めします。

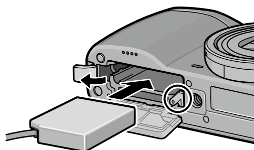
AC アダプターをセットする場合は、カメラの電源がオフになっていることを確認してください。

1 カメラ底面の解除レバーを「OPEN」側にスライドさせ、バッテリー／カードカバーを開ける

バッテリーが入っていた場合は取り出してください。

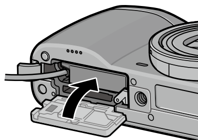
2 AC アダプター用バッテリーを挿入する

セットされると、図のツメでロックされます。



3 電源（DC 入力）ケーブルカバーを開け、ケーブルを外に出す

4 バッテリー／カードカバーを閉じ、解除レバーを「OPEN」と反対側にスライドさせてロックする



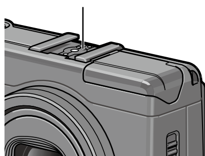
5 電源プラグをコンセントに差し込む

注意 --

- 電源プラグや AC コードは、しっかりと差し込んでください。
- カメラをご使用にならないときには、AC アダプターをカメラや電源コンセントから抜いてください。
- カメラの使用中に ACアダプターを取り外したり、電源プラグがコンセントから抜けたりすると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプターをご使用の場合、画像モニターに が表示されることがありますが、故障ではありません。そのまま引き続きご使用ください。
- ACアダプターの使用中は、AC アダプターのケーブルを持ったままカメラを動かさないでください。
- 国や地域によっては、使用できない場合があります。

外部フラッシュを使う

本カメラのホットシューに外部 TTL フラッシュ（GF-1）を接続し、TTL 自動調光フラッシュとして使用できます。



1 フラッシュカバーを閉じる

2 ホットシューに装着されているホットシューカバーを取り外す

3 カメラと外部フラッシュの電源がオフの状態で、外部フラッシュをホットシューに取り付ける

4 外部フラッシュとカメラの電源をオンにする

 *メモ* --

- 外部フラッシュが認識されないときは、外部フラッシュとカメラの電源をオフにして、外部フラッシュを接続し直してください。
- フラッシュモードは ⚡ ボタンで切り替えます。マニュアル発光は、GF-1 側で操作してください。フラッシュの発光量は［撮影設定］メニューの［フラッシュマニュアル発光量］で設定できます。（☞P.94）
- SCENE モードの［ダイナミックレンジ］［インターバル合成］／インターバル撮影では、外部フラッシュは発光しません。

GF-1 以外の外部フラッシュを使用する場合

1 外部フラッシュをホットシューに取り付ける

2 カメラの電源を入れ、モードダイヤルを A／M に合わせて絞り値を設定する

3 カメラの ISO 感度を［AUTO］［AUTO-HI］以外に設定する

4 外部フラッシュの電源を入れ、外部フラッシュを自動（オート）に設定し、絞り値と ISO 感度をカメラに合わせる

 ***注意*** --

- 外部フラッシュをカメラから取り外すときは、外部フラッシュの電源を切ってから行ってください。
- GF-1 以外の市販フラッシュをご使用になる場合は、信号端子は X 接点のみで極性が +、電圧が 20V 以下であることを確認してください。
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュをポップアップしないでください。傷や故障の恐れがあります。
- フラッシュの設定にかかわらず、ホットシューの X 接点にフラッシュ発光信号が出力されます。外部フラッシュのフラッシュ発光停止は、外部フラッシュ側のスイッチで発光停止操作を行ってください。
- 外部フラッシュの絞り値と ISO 感度をカメラと同じ条件にしても、適正露出にならない場合があります。そのときは外部フラッシュ側の絞り値や ISO 感度を変更してください。
- 撮影レンズの画角をカバーする照射角を持つ外部フラッシュを使用してください。
- 内蔵フラッシュの光量だけでは不足する距離（遠距離側）のときに外部フラッシュを使用してください。近距離側では露出オーバーになることがあります。

海外でお使いのときは

AC アダプター（AC-4c）／バッテリーチャージャー（BJ-6）について

交流 100 ～ 240V、50Hz/60Hz の地域でご使用になれます。

使用する国の電源コンセントに合った形状の変換アダプターを、あらかじめご用意ください。

電子式変圧器は使用しないでください。故障の原因となる恐れがあります。

保証について

本カメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

現地のテレビで再生する場合

映像入力端子付きのテレビやモニターで再生できます。別売りの AV ケーブルをご使用ください。

本カメラでは、テレビ方式は NTSC と PAL に対応しています。現地のテレビ環境にあわせて、カメラのビデオ方式を切り替えてご使用ください。

海外へお出かけの際は、事前にビデオ方式をご確認ください。

使用上のご注意

カメラ本体

- 本カメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。
- 海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
- カメラを落としたり、衝撃を与えないよう十分に注意してください。
- カメラを持ち運ぶときは、本体に衝撃を与えないようにしてください。特にレンズや画像モニターをぶつけないよう十分に注意してください。
- フラッシュを連続して発光させると発光部が熱くなりますので、必要以上に連続してフラッシュを発光させないでください。
- 火傷や発火の原因になりますので、フラッシュ発光部に触れたり、ものを密着させたままフラッシュを発光しないでください。
- 視力障害の原因にもなりますので、目の近くでフラッシュを発光させないでください（特に乳幼児）。
- 事故を起こす原因にもなりますので、運転者などに向かってフラッシュを発光しないでください。
- 電池をご使用の場合、カメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さないでください。
- 画像モニターに太陽の光やライトが当たると、白っぽくなり見えにくくなることがあります。
- 画像モニターには、一部に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
- 画像モニターを強く押さないでください。
- 温度変化の激しいところでは、カメラ内部で水滴が生じる結露という現象が発生し、ガラス面がくもったり、作動不良などを起こすことがあります。このようなときは、一度カメラをビニール袋かバッグに入れ、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから取り出すようにしてください。
- 故障の原因になりますので、マイク、スピーカーの穴に針などを通さないでください。
- カメラを濡らさないでください。また、濡れた手でカメラを操作しないでください。故障や感電の原因となります。
- 大事な記録（結婚式や海外旅行等）を撮影されるときには、前もってテスト撮影をしてカメラの調子をご確認くださるとともに、使用説明書や予備のバッテリーの携帯などをお勧めいたします。

 *結露の発生しやすい状態*

- 急激な温度差のあるところに移動したとき
- 湿気の多いとき
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷房が直接あたるとき

充電器 BJ-6

- 弊社専用リチウムイオンバッテリー DB-65／DB-60 以外の電池は、ご使用にならないでください。
- 弊社専用電源コードは、当製品以外に転用しないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 極端に暑いところや寒いところ、振動の激しいところでは使用しないでください。
- 直射日光の当たるところや、高温になるところで使用しないでください。
- 充電終了後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのままにしておくと火災の原因になることがあります。
- 充電式電池の接続部や接点部に他の金属が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- BJ-6 の使用温度範囲は 10℃～ 40℃です。10℃以下でご使用になると、充電が長時間になる場合があります。

 *注意*

- 指定以外の電池を使用した場合、破裂のおそれがあります。
- 使用済の電池は電気店またはスーパーなどに設置されているリサイクルボックスに入れてください。

6 付録

電池 DB-65

- この電池はリチウムイオンタイプです。
- 出荷時にはフル充電されていませんので、ご使用になる前に必ず充電してください。
- 火災および火傷の危険がありますので、バッテリーを開けたり、潰したりしないでください。また、60℃を超えて加熱したり、焼却したりしないでください。
- 寒いところでは、電池の特性上、十分に充電されている電池を使用していても、使用時間が短くなります。電池をポケットに入れるなどして暖かくしておいたり、予備の電池を用意するなどしてください。
- 使用しないときは必ず電池をカメラや、充電器から取り外してください。つけたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使用できなくなるおそれがあります。なお、カメラから電池を取り出して 1 週間経過すると、設定した日付・時刻がリセットされます。ご使用の際には、再度、設定しなおしてください。

- 長期間保存する場合は、年に 1 回、15 分程度充電した後、保存してください。
- 涼しいところで保存してください。周囲の温度が 15℃～ 25℃の乾燥したところをお勧めします。極端に暑いところや寒いところは避けてください。
- 充電が完了した電池をすぐに再充電しないでください。
- 充電は周囲の温度が 10℃～ 40℃の温度範囲で行ってください。高温で充電すると電池を劣化させるおそれがあります。また、低温で充電すると、十分な充電ができません。
- 十分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなったときは、電池の寿命と思われますので、新しい電池をお求めください。交換電池は、必ず弊社推奨の電池をお使いください。
- 充電時間は BJ-6 使用時、約 2.5 時間（25℃）です。

お手入れと使用／保管場所について

お手入れ

- レンズに指紋や汚れがつくと、画質が悪くなることがありますので、ご注意ください。
- レンズにゴミや汚れがついたときは、直接手を触れず市販のブロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 海辺や薬品を使う場所で使用したあとは、特に入念にふいてください。
- 万一カメラの具合が悪いときは、リコー修理受付センターにご相談ください。
- このカメラには高電圧回路があります。危険ですから絶対にご自分で分解しないでください。
- シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 画像モニターの表面は、傷つきやすいので、かたい物でこすったりしないでください。
- 画像モニターの表面は、液晶ディスプレイの表面清掃用に市販されているクリーナー（有機溶剤の含まれていないもの）を、柔らかい布に少量含ませて軽くふき取ってください。

使用／保管場所について

- 以下のような場所での使用および保管は、カメラの故障の原因になりますので避けてください。
  高温多湿、または湿度、温度変化の激しい場所
  砂、ほこり、ちりの多い場所
  振動の激しいところ
  防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品などに長時間接触するところ
  強い磁場の発生するところ（モニター、トランス、磁石のそばなど）
- 長時間本カメラをご使用にならないときは、電池を取り出して保管してください。

お手入れ時のご注意

- 必ず電源をオフにしてください。
- 電池や AC アダプターを取り外して、お手入れしてください。

アフターサービスについて

1. 本カメラが万一故障した場合は、保証書に記載された保証期間内で無料修理いたしますので、当社修理受付窓口かお買い上げの販売店にお申し出ください。なお、修理にご持参いただくに際しての諸費用はお客様にご負担願います。
2. つぎの場合は上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。
   ① 使用説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障
   ② 使用説明書に記載されている当社指定の修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除などによる故障
   ③ 火災、天災、地変、落雷、異常電圧などによる故障
   ④ 浸（冠）水、塩害、液体 (雨水、ジュース、酒類など）かぶり、落下、衝撃、砂（泥）入り、圧力などによる自然故障以外の故障
   ⑤ 保管上の不備（使用説明書に記載）、電池などの液漏など、カビ発生、手入れの不備などによる故障
   ⑥ 保証書の添付のない場合
   ⑦ 販売店名、ご購入年月日などの記載がない場合、あるいはこれらを訂正された場合
3. 保証書に記載された保証期間経過後は、本カメラに関する修理は有償修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましては、お客様のご負担とさせていただきます。
4. 保証期間内であっても、本カメラについて各部点検、精密検査などを特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。
5. 保証の対象となる部分は本体のみでケース、ストラップなどの付属品類および本カメラに付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象となりません。
6. メモリーカードおよび内蔵メモリー内のデータについて一切の保証はできませんので、修理にお出しになる場合には、データのバックアップをお取りください。
7. 無償修理期間中であるか否かにかかわらず、本カメラの使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、回復費用、第三者請求、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害をはじめとするあらゆる損害について当社は責任を負いません。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only in Japan.)
   国外に持ち出して修理が必要になった場合は、日本にお持ち帰りの上、修理の手続きをお願いします。
9. 販売店が独自に設けている延長保証は、本カメラの保証規定には適用されません。
10. 本カメラの補修用性能部品（機能、性能を維持するために不可欠な部品）は、5 年を目安に保有しております。
11. 浸（冠）水、砂（泥）入り、強度の衝撃、落下などで損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるものなどは修理できない場合もあります。ご了承ください。
12. 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合がございます。

修理にお出しになる前

- バッテリーの消耗のチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいたします。
- ホームページに最新の情報が掲載されていますのであわせてご確認ください。ホームページのアドレスは、使用説明書の巻末に記載されています。

修理にお出しになる際

- 故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
- 修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。

索引

英数字

AC アダプター 157
ADJ. ISO ダイレクト変更 77
ADJ. シャッターボタン確定 127
ADJ. モード 127
ADJ. レバー 17
ADJ. レバー設定 126
Adobe Reader 139
AE/AF ターゲット 71
AF 補助光 15
AF 連写 85
AVI ファイル 64
AV ケーブル 112
DISP. ボタン 21
DL-10 135.140
DNG ファイル 66
DPOF 114
Eye-Fi カード 26
Eye-Fi 通信 20
Fine モード 66
Fn1／Fn2 ボタン 128
Fn ボタンペア設定 129
HDMI 出力 113
HDMI マイクロ出力端子 15
ISO 感度 76
Language/ 言語 29
Macintosh 141
MediaBrowser 135
MENU/OK ボタン 50
MF 70
MY1／MY2／MY3 120
M モードダイヤル設定 57
M モードワンプッシュ動作 57
M 連写 85
Normal モード 66
PDF 139
PictBridge 115
POWER（電源）ボタン 27
PTP 115
RAW モード 66
SCENE モード 58
SD メモリーカード 25
S 連写 85
TE 82
USB ケーブル 116.137.141
USB 接続 115.137
WB 手動設定取込エリア 80
Windows 135

あ

アオリ 38
赤目軽減 36
アスペクト比 65
アップダウンダイヤル 17
アフターサービス 165
アルカリ乾電池 24
一覧表示 98
色空間設定 49
印刷 115
インストール 137
インターバル合成 58.61
インターバル撮影 91
エラーメッセージ 143
オート撮影モード 32
オートパワーオフ 28
オートフォーカス／フラッシュランプ 32.36
オートブラケット 88
オートリサイズズーム 130
お手入れ 164
オプション 153

か

カード 120
カード連続 NO. 133
解除レバー 25
外部 AF センサー 15
外部 AF 測距表示 69
外部ファインダー 153
外部フラッシュ 158
拡大表示 100
拡大表示倍率（MF） 71
各部の名称 14

加工 106
画質・サイズ 65
カスタマイズ 120
カスタムセルフ 38
画像確認時間 33
画像サイズ変更 106
画像設定 82
画像設定ブラケット 88
画像モニター 18
画像モニターオフ 21
画像モニター輝度調節 131
画像モニター節電 28
カレンダー表示 98
乾電池 24
キーカスタム設定メニュー 46
キーカスタム設定初期化 47
強制発光 36
記録可能枚数 24.152
グリッドガイド表示 21
クロスプロセス 82
ケーブルスイッチ 153
言語 29
コントラスト 82.109
コントラストブラケット 88

さ

再生 98
再生順序設定 41
再生設定メニュー 45
再生モード 28.41
再生モードダイヤル設定 101
彩度 82
削除 102
撮影情報表示フレーム 22
撮影設定初期化 51
撮影設定メニュー 42
撮影日時 41
撮影モード切替 123
三脚ネジ穴 15
シーンモード選択メニュー 45
システム構成 156
絞り自動シフト 56
絞り優先モード 54
シャッター優先モード 54
充電 23
仕様 149
詳細情報表示 22
使用説明書 7
情報表示モード 22
初期化 27
初期値 42
白黒 82
白とび警告表示 23
水準器設定 40
水準器（アオリ方向）キャリブレーション 40
水素電池 24
ズームボタン設定 34.130
ストラップ取り付け部 15
ストリーム連写 85
スナップ 68
スナップ時フォーカス距離 73
スピーカー 15
スポット AF 68
スライドショー 99
スリープ 28
スローシンクロ 36
接写 35
セットアップメニュー 48
セルフタイマー 37
操作音 132
測光 74
ソフトウェア 135
ソフトケース 154

た

ターゲット 71
ダイナミックレンジ 58.60
ダイナミックレンジ拡大効果 60
ダイナミックレンジブラケット 88
ダイナミックレンジ補正 95
タイム 57
ダイレクトプリント 115
多重露光撮影 90
縦横自動回転再生 41
端子カバー 112.116

帳票印刷 119
追尾 AF 68
デジタルズーム 34
デジタルズーム切替 130
手ブレ補正 33
テレビ 112
電源 27
電源（DC 入力）ケーブルカバー 15.157
電源ボタンランプ 28
電池 23
電池残量 20
動画 58.64
動画サイズ 64
動作環境 136
トリミング 107

な

内蔵メモリー 27.106.152
斜め補正 58.63.108
日時設定 29
ニッケル水素電池 24
ネックストラップ 154
ノイズリダクション 96

は

ハイコントラスト白黒 82
ハイライト表示 22
発光禁止 36
バッテリー 23.25
バッテリー／カードカバー 25
バッテリーチャージャー 153
バルブ 57
被写界深度 69
被写体追尾 AF 68
ヒストグラム 21.109
日付入れ撮影 97
日付別表示 98
ビデオ方式 112
ビビッド 82
ファームウェアバージョン確認 134
ファイル NO 133
ファイル番号 41
フード＆アダプター 153
フォーカス 68
フォーカスバー 69
フォーマット 27
＋通常撮影 60
フラッシュ 36
フラッシュシンクロ設定 95
フラッシュ調光補正 93
フラッシュマニュアル発光量 94
ブリーチバイパス 82
プリンター 115
フルプレススナップ 73
プレ AF 70
フレームレート 64
プログラムシフトモード 54
プロテクト 104
別売り品 153
保管 164
保護 104
ポジフィルム調 82
保証 160
補正 106
ホットシュー 158
ホワイトバランス 78
ホワイトバランスブラケット 88
ホワイトバランス補正 81.111

ま

マーク表示 21.22
マイク 15
マイセッティング 120
マイセッティング削除 126
マイセッティング編集 124
マイセッティング名称 125
マイセッティングモード（MY1／MY2／MY3） 123
マイセッティング呼び出し 122
マクロ 35
マスストレージ 137
マニュアル発光 36.94
マニュアルフォーカス 68
マニュアルホワイトバランス 80
マニュアル露光モード 54

マルチ AF 68
無限遠 68
無線 LAN 26
明度 109
メニュー 42
メニューカーソル位置保持 51
メモリーカード 25
メモリー逆戻り連写 85
モードダイヤル 16

ら

リチャージャブルバッテリー 23.25.153
リングキャップ 155
レベル補正 109
連写 85
露出ブラケット 88
露出補正 75
ロックボタン 16

わ

ワイドコンバージョンレンズ 153
ワンプッシュ拡大表示倍率 100

リコーフォトギャラリー RING CUBE

RING CUBE は、いつでも、気軽に、より多くのみなさんに参加していただくためのフォトギャラリーです。

8F ギャラリースペースでは、プロ・アマを問わず多彩なジャンルの写真展を開催しています。

9F には歴代のリコーカメラや新製品を展示しているほか、ワークショップスペースにて各種セミナーを実施しています。お気軽にご利用ください。

http://ringcube.jp/

東京都中央区銀座 5-7-2
三愛ドリームセンター　8F/ 9F (受付 9F)
開館時間：11:00 ～ 20:00　(火曜日休館)

リコーデジタルカメラ活用サイト PHOTO STYLE

リコーデジタルカメラ活用サイト PHOTO STYLE では、写真とカメラをもっと好きになっていただくためのコンテンツを提供しています。

デジタルカメラの基礎知識
デジタルカメラの仕組みや機能をわかりやすく解説

フォトテクニック
撮影に役立つテクニックをテーマ別にご紹介

フォトグラファーズギャラリー
プロの写真家の作品を WEB ギャラリーでご紹介

リコーフォトコンテスト
様々な視点で捉えた、魅力的な作品が世界中から集結

以下の URL にアクセスして、写真の世界をもっと広げてください。
http://www.ricoh.co.jp/dc/photostyle/
＊更新情報は毎月、メールニュースでお知らせいたします。

保証規定

1. 本製品が万一故障した場合はご購入日から満 1 年間無料修理いたしますので、お買い上げ店か当社修理受付窓口にお申し出ください。なお、お買い上げ店または当社修理受付窓口にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。
2. 以下の場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。
   (1) 使用上の誤り（使用説明書以外の誤操作など）により生じた故障
   (2) 当社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除などによる故障
   (3) 火災、天災、地変、落雷、異常電圧などによる故障
   (4) 浸（冠）水、塩害、液体 (雨水、ジュース、酒類など）かぶり、落下、衝撃、砂（泥）入り、圧力などによる自然故障以外の故障
   (5) 保管上の不備（使用説明書に記載）や、電池などの液漏等、カビ発生、手入れの不備などによる故障
   (6) 裏面の保証書（以下、本保証書と記す）の添付のない場合
   (7) 販売店名、ご購入年月日などの記載がない場合、あるいはこれらを訂正された場合
3. 保証の対象となる部分は本体のみでストラップなどの付属品類及び本カメラに付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象とはなりません。
4. 本カメラの故障に起因する付随的損害（記録・再生に要した諸費用及び、記録・再生により得べかりし利益の損失など）については補償しかねます。
5. 無償修理期間中であるか否かにかかわらず、本カメラの使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、回復費用、第三者請求、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害をはじめとするあらゆる損害について当社は責任を負いません。
6. 保証期間内であっても、本カメラについて各部点検、精密検査などを特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。
7. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only in Japan)
   国外に持ち出して修理が必要になった場合は、日本にお持ち帰りの上、修理の手続きをお願いします。
8. 本保証書は再発行いたしません。

ご注意

＊当製品の修理に関するお問い合わせは、販売店又は当社修理受付窓口までご連絡ください。
＊本保証書をお受け取りの際は、販売店名及び購入年月日等が記入されているかどうかをご確認ください。もし、記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げ店へお申し出ください。
＊部品の保有期間等アフターサービスに関する事項については、「アフターサービスについて」をご覧ください。
＊保証期間経過後の修理等についてのお問い合わせは、当社修理受付窓口をご利用ください。
＊修理箇所によっては修理に日数がかかる場合がございます。
＊販売店が独自に設けている延長保証は、当保証規定には適用されません。
＊本保証書は上記の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お願い

1. 「リコー修理受付センター」ならびに「カメラサービスセンター」では、デジタルカメラの故障に関する事項、修理期間等のお問い合わせに限らせていただきます。
2. 修理以外の、製品に関する機能・性能、使用方法のお問合せは、「リコーお客様相談センター」までお願い申し上げます。
3. 修理に関する詳細につきましては、本使用書の「保証規定」ならびに、「アフターサービスについて」をご一読いただきますようお願いします。
4. 「リコー修理受付センター」ならびに各「リコーカメラサービスセンター」への修理のお申し込みは、日本国内のみ有効です。

「環境対応」から「環境保全」、そして「環境経営」へ。

リコーは地球環境に配慮した活動も積極的に推進し、かけがえのない地球の一市民として、環境保全活動も経営の重要課題として積極的に推進しています。



デジタルカメラについても環境負荷削減を目指し、「消費電力削減」、製品に含有される「環境影響化学物質削減」などに取り組んでいます。

ホームページによる情報提供

■ **製品情報**
http://www.ricoh.co.jp/dc/

■ **Photo Style（活用＆コミュニティ）**
http://www.ricoh.co.jp/dc/photostyle/

■ **サポート総合案内**
http://www.ricoh.co.jp/dc/support/

■ **修理総合案内（修理料金概算などの修理全般の情報）**
http://www.ricoh.co.jp/dc/support/repair/

お困りのときは

使用説明書の「お困りのときは」をご覧ください。問題が解決しないときには、下記にてご確認ください。

■ **よくあるご質問（FAQ）**
製品の操作・活用について　http://www.ricoh.co.jp/dc/support/faq/
故障かなと思ったら　http://www.ricoh.co.jp/dc/support/repair/faqs/

■ **リコーお客様相談センター**
ホームページ受付　http://www.ricoh.co.jp/dc/support/contact/
電話 0120-000475　FAX 0120-479417
受付時間：9:00 ～ 18:00（土曜、日曜、祝祭日、弊社休業日を除く）
※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

■ **「MediaBrowser」について**
株式会社ピクセラ
フリーダイヤル：0120-727-231
電話：06-6633-2990（携帯・PHS 等フリーダイヤルが利用できない方用）
受付時間：月曜日～日曜日 10:00 ～ 18:00
（年末年始、祝祭日、株式会社ピクセラ指定休日は除く）

修理受付

■ **ホームページ／電話による修理受付**（梱包材と宅配伝票をお送りして修理品をお引き受けします）

リコー修理受付センター（リコーテクノシステムズ株式会社）
< ホームページ受付 > http://www.ricoh.co.jp/dc/support/repair/mail.html
< 電話受付 > 0120-053956　受付時間 9:00 ～ 17:00
（土曜、日曜、祝祭日、年末年始、夏期休暇はお休みさせていただきます）
※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

■ **持ち込みによる修理受付**（土曜、日曜、祝祭日、年末年始、夏期休暇はお休みさせていただきます）

リコー銀座カメラサービスセンター
〒 104-0061　東京都中央区銀座 6-14-7 第 3 リコービル 1 階
受付時間 9:30 ～ 17:00　電話 03-3543-4187

リコー大阪カメラサービスセンター
〒 564-0053　大阪府吹田市江の木町 34-5 リコービル 7 階
受付時間 9:30 ～ 17:00　電話 06-6338-9092

株式会社リコー
〒 104-8222
東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル
2011 年 8 月



JA Printed in China


L764 0871